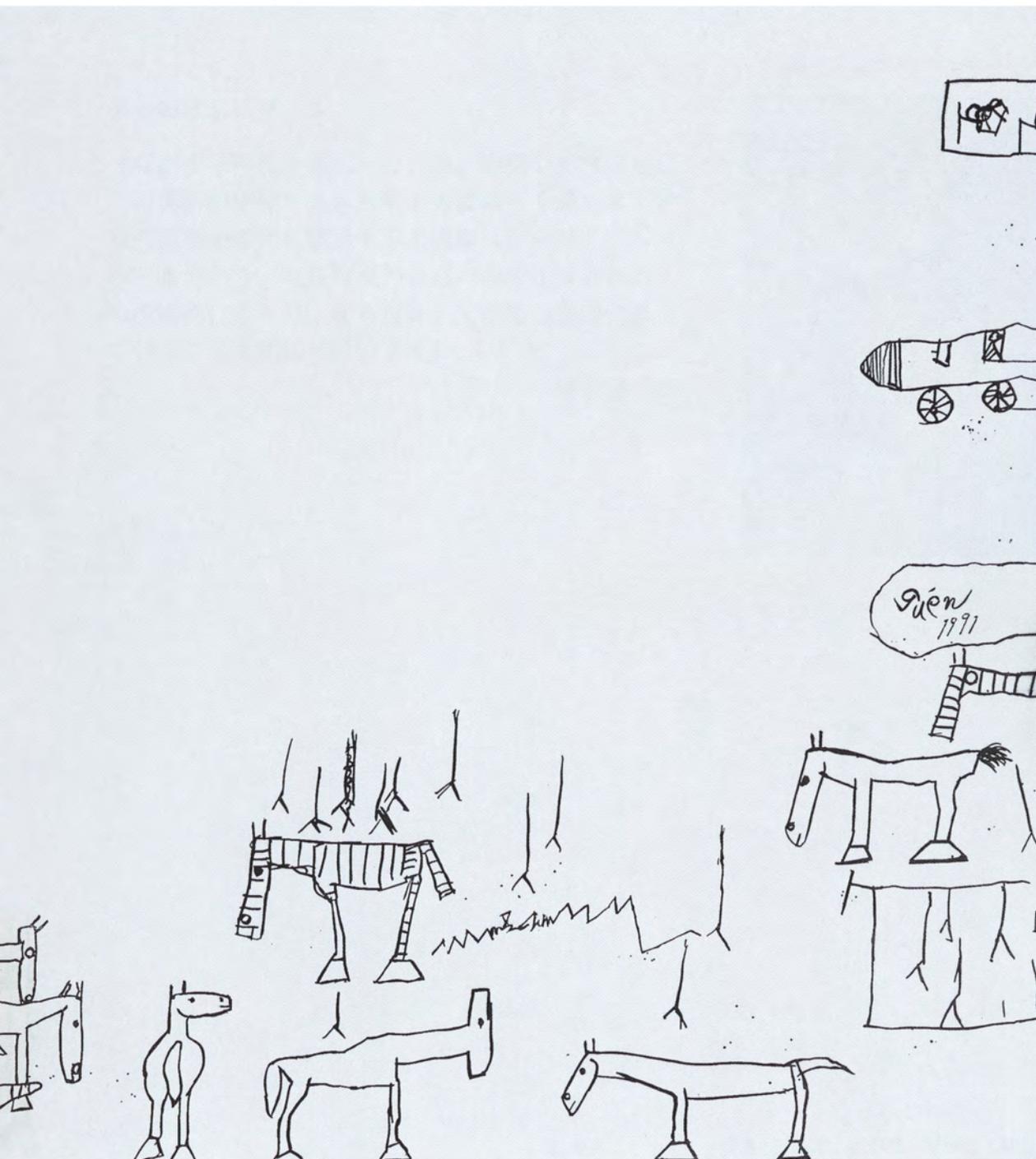


丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 年報2011-2014



表紙 壁画『創造の広場』1991年 猪熊弦一郎 撮影 フォトス 高橋 章



縦 1150cm

横 2157cm

材質 大理石（ギリシア産）

御影石（岐阜・美濃産）

『壁画の主題になっている馬は、人間をはじめとする生き物の代表として描いたものです。壁画のあるゲートプラザには、壁画のほかに彫刻類もあり、この広場に立ったとき、空間の広さと美しさを感じ、それぞれの人に新たな創造の意欲がわき出るような広場にしたいかったです』

猪熊弦一郎

美術館設立に寄せて

『私が少年時代を過ごした、思い出深い丸亀の地にこの美術館が建てられた事を大変嬉しく思います。現代美術を専門に展示する美術館は、全国的にもユニークであり、丸亀市民の皆様の力で建設されたこの美術館によって、まち全体が文化的な環境になって行くことを期待しています』

猪熊弦一郎



© Francis Haar

凡例

カタログを刊行していない展覧会については、作品リストを掲載した。
作品リストを掲載していない展覧会については、「刊行物一覧」(91頁～)にあるカタログを参照のこと。
猪熊弦一郎の作品所蔵者は、特に記していない場合は当館である。

目次

I	沿革	1
II	展覧会事業	
	i 展覧会一覧(2011-2014)	2
	ii 特別展	
	2011年度	
	112 杉本博司 アートの起源 歴史	4
	113 杉本博司 アートの起源 宗教	9
	114 猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉-紙に描いた作品から	11
	115 塩田千春 私たちの行方	12
	2012年度	
	116 ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー	14
	117 物物	16
	118 石内都 絹の夢	17
	119 猪熊弦一郎展 変化と不変	20
	2013年度	
	120 猪熊弦一郎展 壁画の仕事	23
	121 MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトポエム	25
	122 大竹伸朗展 ニューニュー	27
	123 猪熊弦一郎展 新しい美-抽象の探求	29
	124 猪熊弦一郎展 丸亀とともに-香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に	31
	125 あそびのつくりかた	34
	2014年度	
	126 拡張するファッション	35
	127 猪熊弦一郎展 形がいっぱい	37
	128 鈴木理策写真展 意識の流れ	38
	iii 常設展「猪熊弦一郎展」	
	2011年度	
	異質なものの同士のバランス	40
	色面による分割	41
	初期から晩年まで	42
	ニューヨーク時代の作風の変遷	43
	2012年度	
	カンヴァスに飛ぶ	44
	人を描く	45
	絵と生きる-画業70年の軌跡	46
	2013年度	
	東京から巴里へ	47
	創意工夫の手あと	48
	うつくしい からだ	49
	整然たる都市-にぎやかな自然	50
	2014年度	
	のびのびと描く	51
	純粋な芸術を求めて	52
	未知へ向かう喜び	53
III	教育普及事業	
	i ワークショップ	54
	ii スクールプログラム	
	1 学校団体での来館	67
	2 鑑賞教育について考える会	72
	3 鑑賞教材貸出	73
	4 教員向け研修会	74
	5 博物館実習	75
	6 職場体験	75
	7 ミモカキッズパスポート	76
	iii 地域連携事業	
	1 丸亀どこでもMIMOCA	80
	2 いのくまバス	80
	iv イベント	81
	v 刊行物一覧	91
	vi 美術図書室利用状況	97
	vii MIMOCA FRIEND(ミモカフレンド)	99
IV	美術作品整理・管理	100
V	その他事業	
	i ミュージアムショップ	108
	ii カフェ	111
VI	入館者状況	113
VII	組織図	117
VIII	施設概要	121
IX	利用案内	122

I

沿革

- 1987年(昭和62年)10月 丸亀市が市制90周年事業として猪熊弦一郎美術館の建設を発表
- 1988年(昭和63年)1月 美術館建設懇談会設置
7月 美術館建設懇談会、市長に意見書提出
8月 美術館建設基本構想策定
9月 美術館基本設計委託 丸亀駅前地下駐車場建設工事着工
11月 美術館準備室設置
- 1989年(平成元年)2月 美術館基本設計完了
3月 美術館実施設計委託
5月 美術館基本設計変更案決定
9月 美術館実施設計完了
11月 美術館建設工事着工
12月 美術館建設工事起工式
猪熊弦一郎から丸亀市へ<夜><猫に寄せる歌><Two Shores A>等、第1回分として作品1000点を寄贈
- 1990年(平成2年)3月 丸亀駅前地下駐車場建設工事竣工
- 1991年(平成3年)3月 JR丸亀駅南口広場の整備工事完成
定礎式と壁画「創造の広場」除幕式
猪熊弦一郎に名誉市民証授与される(丸亀市第1号)
6月 美術館建設工事竣工
9月 丸亀市美術館条例制定
10月 美術館の愛称が「MIMOCA」に決定
11月 落成式 一般公開(23日)
- 1992年(平成4年)3月 入館者5万人達成(28日)
5月 猪熊弦一郎から丸亀市長とのかねてからの約束に基づき所有する作品等を市に寄贈する主旨の文書提出
10月 入館者10万人達成(9日)
12月 第26回サイン・デザイン賞受賞
- 1993年(平成5年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団設立
5月 猪熊弦一郎、東京にて死去(17日、満90歳)
9月 第34回建築業協会賞受賞
- 1994年(平成6年)5月 第7回村野藤吾賞受賞
8月 入館者30万人達成(4日)
- 1995年(平成7年)4月 MIMOCA FRIEND(ミモカフレンド)発足
- 1996年(平成8年)4月 第5回公共建築賞(主催:社団法人・公共建築協会)、特別賞受賞(3日)
5月 休館日改定(月曜日休館を廃止し、元旦より開館へ)
料金体系改定(大学生料金を一般料金と分離し、高校生以下無料に)
開館時間変更(午前10時から午後6時まで)
入館者50万人達成(15日)
9月 ホームページ開設(5日)
- 1997年(平成9年)7月 美術館南北の市道の愛称を「美術館通り」、「いのくま通り」と設定
- 1998年(平成10年)11月 建設省設立50周年記念「公共建築百選」に選出
- 2000年(平成12年)9月 入館者100万人達成 (26日)
- 2001年(平成13年)11月 香川県教育文化功労者受賞(1日)
開館10周年を迎える(23日)
- 2003年(平成15年)11月 生誕100周年記念猪熊弦一郎回顧展開催(23日)
- 2006年(平成18年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が、当館の指定管理者となる(契約期間2年)
- 2008年(平成20年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が、当館の指定管理者となる(契約期間1年)
- 2009年(平成21年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が、当館の指定管理者となる(契約期間4年)
- 2011年(平成23年)2月 公益財団法人ミモカ美術振興財団が発足(1日)
9月 入館者200万人達成(10日)
11月 開館20周年を迎える(23日)
- 2013年(平成25年)4月 公益財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる(契約期間5年)

II

展覧会事業

i

展覧会一覧 (2011-2014)

特別展

	No	展覧会名	会期
	111	杉本博司 アートの起源 建築(年報2009-2010参照)	2011年3月6日～5月15日
2011年度	112	杉本博司 アートの起源 歴史	2011年5月29日～8月21日
	113	杉本博司 アートの起源 宗教	2011年8月28日～11月6日
	114	猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉-紙に描いた作品から	2012年2月4日～3月4日
	115	塩田千春 私たちの行方	2012年3月18日～7月1日
2012年度	116	ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー	2012年7月15日～9月23日
	117	物物	2012年7月15日～9月23日
	118	石内都 絹の夢	2012年10月7日～2013年1月6日
	119	猪熊弦一郎展 変化と不変	2013年1月13日～4月4日
2013年度	120	猪熊弦一郎展 壁画の仕事	2013年4月13日～6月23日
	121	MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトボエム	2013年4月13日～6月30日
	122	大竹伸朗展 ニューニュー	2013年7月13日～11月4日
	123	猪熊弦一郎展 新しい美-抽象の探求	2013年11月16日～2014年2月16日
	124	猪熊弦一郎展 丸亀とともに-香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に	2013年11月16日～2014年2月16日
	125	あそびのつくりかた	2014年3月1日～6月1日
2014年度	126	拡張するファッション	2014年6月14日～9月23日
	127	猪熊弦一郎展 形がいっぱい	2014年10月4日～2015年1月18日
	128	鈴木理策写真展 意識の流れ	2015年2月1日～5月31日

常設展 「猪熊弦一郎展」

	テ ー マ	会 期
	身体の表現 (年報2009-2010参照)	2011年3月6日～5月15日
2011年度	異質なものの同士のバランス 色面による分割 初期から晩年まで ニューヨーク時代の作風の変遷	2011年5月29日～8月21日 2011年8月28日～11月6日 2012年2月4日～3月4日 2012年3月18日～7月1日
2012年度	カンヴァスに飛ぶ 人を描く 絵と生きるー画業70年の軌跡	2012年7月15日～9月23日 2012年10月7日～2013年1月6日 2013年1月13日～4月4日
2013年度	東京から巴里へ 創意工夫の手あと うつくしい からだ 整然たる都市ーにぎやかな自然	2013年4月13日～6月30日 2013年7月13日～11月4日 2013年11月16日～2014年2月16日 2014年3月1日～6月1日
2014年度	のびのびと描く 純粋な芸術を求めて 未知へ向かう喜び	2014年6月14日～9月23日 2014年10月4日～2015年1月25日 2015年2月1日～5月31日

II

展覧会事業

ii

特別展

112 杉本博司 アートの起源 | 歴史

- 会 期 2011年5月29日(日)～8月21日(日)
会 場 1階エントランス、2階展示室B、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成 財団法人三菱UFJ信託地域文化財団
協 力 公益財団法人小田原文化財団、ギャラリー小柳
出品協力 IZU PHOTO MUSEUM、公益財団法人京都服飾文化研究財団



杉本博司 アートの起源 | 歴史
Hiroshi Sugimoto | ORIGINS OF ART | History

2011年5月29日(日)～8月21日(日)
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
Mitsubishi UFJ Trust for Cultural Foundation
IZU PHOTO MUSEUM
GALLERY KOYANAGI
Sugimoto Museum of Art
Mitsubishi UFJ Trust for Cultural Foundation
IZU PHOTO MUSEUM
GALLERY KOYANAGI
Sugimoto Museum of Art

「科学」、「建築」に続いて「杉本博司 アートの起源」展の第3回展となる本展は、写真を中心にさまざまな表現に取り組む杉本博司(1948-)の活動を、「歴史」をテーマに紹介した。まずは、エントランス、2階展示室にて杉本の代表作である、蠟人形を撮影した<肖像写真>が観覧者を出迎えた。3階展示室では社会との関わりのなかで変化してきた衣服のうち、20世紀の洋服を撮影した<スタイライズド スカルプチャー>シリーズを展示して近代とは何であったかを問いかけ、ネガ・ポジ方式を発明したウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボットが残した紙ネガを杉本自身がプリントした《光学的素描》では、写真の始原に迫った。さらに博物館のジオラマを撮った《ファースト ビジターズガイド》は、杉本による解説文を添えて展示したが、文章の妙も相まって、つくりものを撮っているながら、あたかも歴史の現場に居合わせ事実を伝えているかのようで、未来も含む歴史が杉本によって創造されているように感じられ、来館者の好評を博した。

圧倒的な現実感を持つ写真が提示する歴史を追ううちに、見る人は歴史と写真の関わりについて思いを巡らせ、さらに歴史とは何か、人類の発展にいかにか寄与したかについても考えることができる展示となった。



© Hiroshi Sugimoto/Courtesy of the artist

制作物 解説パンフレット、会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット

入場者数 **13,866** 人

関連企画

対談:深井晃子×matohu/matohuミニ ファッションショー

7月23日(土) 19時20分～21時30分
会 場 3階展示室C
講 師 深井晃子(公益財団法人京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター)、matohu(デザイナー)
料 金 2,000円(観覧料含む)、年間パスポート*所持者・大学生以下・ミモカフレンド会員1,500円
参加者数 109人

キュレーターズ・トーク

5月29日(日)、6月5日(日)、11日(土)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、7月3日(日)、9日(土)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)、8月7日(日)、13日(土)、14日(日)、21日(日)
各日14時～15時
参加者数 394人(16日間合計)

*「杉本博司 アートの起源」会期中(2010年11月21日～2011年11月6日)、何回でも使用できる年間パスポートを2,500円で販売した

地域連携プログラム

コーポレーション・デイ

概要 地元企業に協賛を募り、その協賛金を観覧料にあて、地域住民の来館を促すよう観覧無料日を設定した。

参加者数 3,108人(3日間合計)

6月11日(土)
協賛企業 おみやげSHOP ミュー、株式会社ベネッセホールディングス、社会福祉法人 椿友会 紅山荘

7月9日(土)
協賛企業 株式会社ベネッセホールディングス、日本通運株式会社香川支店 高松引越美術品センター

8月13日(土)
協賛企業 株式会社ダイエイハウス、子供絵画造形教室アリエK、日本通運株式会社香川支店 高松引越美術品センター、hair space Jaxson

アートの起源 サポーター

概要 展覧会を応援いただくサポーターを募集した。一人につき10枚の「千客万雷カード」(展覧会紹介カード、観覧料割引特典付き)をお渡しし、友人・知人に配布してもらい、周知にご協力いただいた。

募集期間 2010年10月1日(金)～「杉本博司 アートの起源」会期中随時(継続的に実施)

応募資格 どなたでも応募可

参加者数 31人(累計631人)

特典 1. 会員証として杉本博司作品《放電場 128》をあしらったサポーター限定バッジの贈呈
2. 観覧料20%引
3. 展覧会カタログ10%引
4. 千客万雷カード持参の方が来館されると、1枚につき1口として、「杉本博司 アートの起源」関連景品が当たる「サポーター大抽選会」に自動的に応募。

アートの起源 丸亀市民特別サポーター

概要 展覧会を地域住民とともに盛り上げていこうという試み。丸亀市の人口11万人にちなみ、110人を募集した。一人につき100枚の「千客万雷カード」(展覧会紹介カード、観覧料割引特典付き)をお渡しした。110人が100人を展覧会に誘えば、人口の10分の1の11,000人が来館することになるというもの。

募集期間 2010年10月1日(金)～「杉本博司 アートの起源」会期中随時(継続的に実施)

応募資格 丸亀市内在住・通勤・通学の方(ミモカフレンド会員に限り丸亀市外在住でも応募可)

募集人数 110人 参加者数:1人(累計97人)

特典 1. 会員証として杉本博司作品《放電場 128》をあしらったサポーター限定バッジの贈呈
2. 観覧料20%引
3. 展覧会カタログ20%引
4. プレビューイベントまたは内覧会にご招待(同伴者1人)
5. 千客万雷カードを配布した100人全員が来館されると、もれなく杉本博司サイン入り展覧会カタログを贈呈
6. 千客万雷カード持参の方が来館されると、1枚につき1口として、「杉本博司 アートの起源」関連景品が当たる「サポーター大抽選会」に自動的に応募。

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横×奥行cm)	所蔵
1	護王神社アプロリアエイトプロポーション 彫形	2003	ミクストメディア	本体:94.0×101.0×214.0 台座:高さ103.0	新素材研究所
2	昭和天皇	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
3	春日社鹿御神体			34.0×42.0×29.5	個人蔵
	鹿:平安時代 五髻文殊菩薩像:鎌倉時代 羅漢盤:鎌倉時代 櫛と鞍、角:2010 須田悦弘作 鹿:木彫彩色 五髻文殊菩薩像:板絵に彩色 羅漢盤:根来塗盤、法華寺伝来、徳治2年(1307)、原三溪旧蔵 櫛と鞍、角:木彫彩色				
4	国敗れて山河あり	2011	ミクストメディア	サイズ可変	個人蔵
4-1	華厳滝図	1977/複製 2005	リトグラフ	99.5×82.0	個人蔵
4-2	明治37・8年 従軍記章(日露戦争)				個人蔵
4-3	明治43年 韓国併合記念章				個人蔵
4-4	大正3・4年 従軍記章(青島出兵)				個人蔵
4-5	大正4年 大禮記念章(大正天皇即位)				個人蔵
4-6	大正3年乃至9年 戦役従軍記章(シベリア出兵)				個人蔵
4-7	昭和3年 昭和大禮記念章(昭和天皇即位)				個人蔵
4-8	昭和6年乃至9年 満州事変従軍記章				個人蔵
4-9	昭和7年 大満州国建国功労章				個人蔵
4-10	昭和12年 支那事変従軍記念章				個人蔵
4-11	昭和14年 国境事変従軍記念章(ノモンハン事件)				個人蔵
4-12	昭和15年 紀元二千六百年祝典記念章				個人蔵
4-13	金鷄勲章 功五級				個人蔵
4-14	金鷄勲章 功六級				個人蔵
4-15	金鷄勲章 功七級				個人蔵
4-16	勲八等 寶冠章				個人蔵
4-17	勲五等 瑞宝章				個人蔵
4-18	勲六等 旭日章				個人蔵
4-19	日本赤十字社 金色多功章				個人蔵
4-20	日本赤十字社 銀色多功章				個人蔵
4-21	日本赤十字社 特別社員章				個人蔵
4-22	紫綬褒章				個人蔵
5	最後の晩餐	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	118.1×706.1	個人蔵
6	ナポレオン・ボナパルト	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
7	エリザベス女王2世	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
8	ヴィクトリア女王	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
9	エリザベス女王1世	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
10	チャールズ1世	1999	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	個人蔵
11	キリスト磔刑像	13世紀	金銅鍍金	15.5	個人蔵
12	スーツ、チョーカー〔クリスチャン・ディオール(ジョン・ガリアーノ)〕	1997秋冬	クレイのケル・ツイードのジャケットとスカート。 ジャケットの裾にハット、ロング・スカートはトレーナーをひく。チョーカーは銀色の輪が35段つがる。		公益財団法人京都服飾文化研究財団
13	スタイライズド スカルプチャー [イヴ・サンローラン 1965]	008 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 表装所蔵:公益財団法人京都服飾文化研究財団
14	スタイライズド スカルプチャー [マウリツィオ・ガラランテ 1992]	009 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 表装所蔵:公益財団法人京都服飾文化研究財団
15	スタイライズド スカルプチャー [ジョン・ガリアーノ 1997]	011 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 表装所蔵:公益財団法人京都服飾文化研究財団
16	スタイライズド スカルプチャー [レイ・カワクボ 1994]	020 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 表装所蔵:公益財団法人京都服飾文化研究財団
17	スタイライズド スカルプチャー [マドレーヌ・ヴィオネ 1925年頃]	023 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 表装所蔵:公益財団法人京都服飾文化研究財団

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横×奥行きcm)	所蔵
18	スタイアライズド スカルプチャー [ガブリエル・シャネル 1926]	025 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
19	スタイアライズド スカルプチャー [エルザ・スキヤパレリ 1947年頃]	054 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
20	スタイアライズド スカルプチャー [アリックス・グレ 1941-50]	055 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
21	スタイアライズド スカルプチャー [ヨウジ・ヤマモト 1991]	067 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
22	スタイアライズド スカルプチャー [アンドレ・クレージュ 1969]	087 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
23	スタイアライズド スカルプチャー [イッセイ・ミヤケ 1991]	110 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
24	スタイアライズド スカルプチャー [クリストバル・バレンシアガ 1948]	117 2007	ゼラチン・シルバー・プリント	149.2×119.4	Courtesy of Gallery Koyanagi 衣装所蔵・公益財団法人京都服飾文化研究財団
25	ファースト ビジターズガイド	2003	ジオラマシリーズ12点の写真で構成		個人蔵
25-1	カンブリア紀	1992/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-2	ペルミア紀	1992/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-3	ゴリラ	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-4	初期類人猿	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-5	ホモ・エルガスター	1997/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-6	ネアンデルタール	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-7	クロマニヨン	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-8	スバルタカス	1992/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-9	ロイヤル・ファミリー	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-10	アインシュタイン	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-11	原爆の図	1999/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
25-12	日本の鳥	1994/箱 2003	ゼラチン・シルバー・プリント、桐箱	12.5×32.5×25.5	
26	光子的素描 001 屋根の輪郭線、レイ コックアビー、1839年11月16日	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
27	光子的素描 002 植物標本、1835年頃	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
28	光子的素描 003 葉と花の茎、2008 1834-1839年頃	2008	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
29	光子的素描 004 オシダ(バージョン1)、2008 1839年3月6日もしくはそれ以前	2008	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
30	光子的素描 005 ルイーザ・ガルウェイと ホレーシア・フィールディング、レイコック・ア ビー、1842年8月29日	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
31	光子的素描 006 チャールズ・ポーター の肖像、1842年4月7日	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
32	光子的素描 008 レース、1839年頃	2008	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
33	光子的素描 011 ラオコーンの彫像、2009 1845年11月26日頃	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
34	光子的素描 013 植物標本、おそらく ローズマリー、1835年頃	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
35	光子的素描 014 小さい陶器の花皿、2009 1840年10月19日	2009	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM
36	光子的素描 015 タルボト家の住み込 み家庭教師、アマナ・ベティ女史と考えら れる人物、1840-1841年頃	2008	調色銀塩写真	93.7×74.9	IZU PHOTO MUSEUM

113

杉本博司 アートの起源 | 宗教

会 期 2011年8月28日(日)～11月6日(日)
会 場 1階エントランス、2階展示室B、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成 財団法人アサヒビール芸術文化財団、財団法人自治総合センター
協 力 公益財団法人小田原文化財団、ギャラリー小柳

「科学」からはじまり「建築」「歴史」を経て開催された本展は、杉本博司の活動から「宗教」をテーマとして抽出した。展示は杉本が手がけた初めての建築作品《護王神社》の模型から始まる。続いて1階エントランス及び2階展示室では、平安時代に制作され現在は杉本の所蔵する《十一面観音立像》の周囲を、代表作である《海景》シリーズ8点を取り囲むように展示された。それはあたかも観音が補陀落山から海を見渡しているような情景であった。またこの《海景》は、人類に大いなる恵みと災いを与え続けてきた海に対する畏怖の念が、宗教的な観念へと結びついた過程を想起させる。3階展示室では、三十三間堂の千体千手観音立像を建立当時と同じ光の条件で撮影した写真作品《仏の海》や、仏教の世界観を表す五輪塔をモチーフに、この形態を光学ガラスで成型し、「水」を表す球体の中に杉本の代表作である《海景》シリーズのフィルムを封印した新作《海景五輪塔》などを展示するとともに、14世紀のイタリアでつくられたキリスト胸像と組み合わせて展示空間を構成した。

本展では「宗教」という視点から杉本芸術の真髄を展観しつつ、さらに東西の宗教芸術と組み合わせることで、「宗教」と「アート」がいかに生まれ、どのような関係のもとで歩んできたのかを考える契機となる構成となった。

制作物 解説パンフレット、会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット



杉本博司 アートの起源 | 宗教
Hiroshi Sugimoto ORIGINE OF ART | Religion

2011年8月28日(日)～11月6日(日)
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



© Hiroshi Sugimoto/Courtesy of the artist

入場者数 **10,657** 人

関連企画

首藤康之 ダンス・パフォーマンス [KANNON] アフタートーク 杉本博司 × 首藤康之

8月28日(日)19時30分～21時
 会場 3階展示室C
 主催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
 公益財団法人ミモカ美術振興財団
 企画制作 公益財団法人小田原文化財団
 協力 ギャラリー小柳、SAYATEI
 出演 首藤康之(バレエダンサー)
 料金 4,000円(観覧料含む)、年間パス
 ポート*所持者・高校生以下・ミ
 モカフレンド会員3,500円
 参加者数 153人

キュレーターズ・トーク

8月28日(日)、9月4日(日)、10日(土)、11日
 (日)、18日(日)、25日(日)、10月2日(日)、8日
 (土)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)、
 11月6日(日)
 各日14時～15時
 参加者数 412人(13日間合計)

地域連携プログラム

アートの起源 丸亀市民特別サポーター

*概要については6頁参照
 募集人数 110人 参加者数 13人(累計110人)

アートの起源 サポーター

*概要については6頁参照
 参加者数 25人(累計656人)

コーポレーション・デイ

*概要については6頁参照
 観覧者 2,339人(2日間合計)
 9月10日(土)
 協賛企業 永楽亭、ハウス美装工業株式会
 社、藤田摂建築設計事務所、
 Hair&Make Barbican
 10月8日(土)
 協賛企業 絵本と木のおもちゃの店 ウー
 フ、平和写真印刷株式会社

*「杉本博司 アートの起源」会期中(2010年11月21日～
 2011年11月6日)、何回でも使用できる年間パスポートを
 2,500円で販売した

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横×奥行cm)	所蔵
1	護国神社アプロプリエイトプロポーション 雛形	2003	ミクストメディア	本体:94.0×101.0×214.0 台座:高さ103.0	新素材研究所
2	十一面観音立像	平安時代(10-11世紀)	木造	像高:107.5	個人蔵
3	カリブ海、ジャマイカ	1980	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 301 119.4×149.2	個人蔵
4	スベリオール湖、カスケード川	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 425 119.4×149.2	個人蔵
5	ティレニア海、コンカ	1994	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 405 119.4×149.2	個人蔵
6	エーゲ海、ピリオン	1990	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 349 119.4×149.2	個人蔵
7	リグリア海、サヴィオレ	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 390 119.4×149.2	個人蔵
8	ボーデン湖、エトヴィル	1993	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 389 119.4×149.2	個人蔵
9	黒海、オズルース	1991	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 366 119.4×149.2	個人蔵
10	スベリオール湖、カスケード川	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	ネガ# 429 119.4×149.2	個人蔵
11	大鬼廻(三) ジョン・フィスク・アレン(イタリヤ)	1854/輪装 2008	クロモリトグラフィ	38.5×53.5	公益財団法人小田原文化財団
12	三十三間堂 蓮華王院 中尊	1995/輪装 2005	リトグラフィ	71.0×92.0	公益財団法人小田原文化財団
13	大鬼廻(四) ジョン・フィスク・アレン(イタリヤ)	1854/輪装 2008	クロモリトグラフィ	38.5×53.5	公益財団法人小田原文化財団
14	キリスト胸像	14世紀	木彫、イタリア・トスカナ地方	頭部:19.0×16.0×24.0 台座:15.7×18.0×16.3	公益財団法人小田原文化財団
16-26	仏の海	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	119.4×149.2	個人蔵
15,27-38	海景五輪塔	2011	白黒フィルム、光学ガラス	7.6×7.6 高さ:15.0	個人蔵
(15)	ミシガン湖、ギルズロック	1995	ネガ# 430		
(27)	ティレニア海、コンカ	1994	ネガ# 405		
(28)	アドリア海、ガルガーノ	1990	ネガ# 342		
(29)	ボーデン湖、エトヴィル	1993	ネガ# 389		
(30)	ティレニア海、プライアーノ	1994	ネガ# 409		
(31)	地中海、カシス	1989	ネガ# 321		
(32)	日本海、礼文島	1996	ネガ# 460		
(33)	スベリオール湖、カスケード川	1995	ネガ# 429		
(34)	南太平洋、ワイハウ	1990	ネガ# 327		
(35)	相模湾、熱海	1997	ネガ# 502		
(36)	ティレニア海、ボジターノ	1990	ネガ# 339		
(37)	地中海、クレタ	1990	ネガ# 347		
(38)	北太平洋、大黒崎	2002	ネガ# 510		

114

猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉—紙に描いた作品から

会 期 2012年2月4日(土)～3月4日(日)

会 場 1階エントランス、3階展示室C

主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

当館所蔵の2万点を超える猪熊弦一郎(1902～93)作品のうち、そのほとんどを占める紙作品に注目し、展観した。

紙は、絵を描く支持体として、カンヴァスに比べると概して身近であると言える。持ち運びや作画の準備が手軽なため、思いつきを描きとめたり、新しいアイデアを次々試みたり、また、画面が小さいので短時間で完成させることもできる。素描や下絵として、同じモチーフや構図が繰り返し描かれることもある。これらには、画家の当初のイメージや制作の過程、テクニックや独自性の獲得の痕跡があらわれており、構えない率直な表現を見ることができ

る。本展では、初公開作品を多数含み、本格的な画紙からメモ用紙にいたるまで、技法も鉛筆、木炭、水彩、アクリルと多岐にわたり、初期から晩年までの大きささまざまな紙に描かれた猪熊の作品を紹介した。晩年の3年半に描いたおよそ1100枚の小さなカード状の作品は、7×5mの木枠の中にぎっしりと貼りつめ、1枚の大きな作品に見立てて展示した。加えて資料展示として、猪熊のスケッチブック193冊をテーブルの上に積み重ね、次々に描き続けた画家の精力的な制作活動を物量として体感できるような展示も試みた。

制作物 子ども向けリーフレット

関連企画

キュレーターズ・トーク

2月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、
3月4日(日)

各日14時～15時

参加者数 95人(5日間合計)



出品作品

紙作品1,248点及び資料展示としてスケッチブック193冊

出品作品内訳

デッサン、習作/1199点

- ・1929-30年/妻をモデルにしたデッサン/16点(木炭1点、鉛筆15点)
 - ・1930年代頃/裸婦デッサン/10点(すべてインク)
 - ・1938-40年/渡仏時代のデッサン/40点(インク21点、鉛筆16点、水彩2点、パステル1点)
 - ・1941-45年/戦時中のデッサン/9点(パステル3点、水彩2点、インク4点)
 - ・1990-93年/晩年、ハガキ大の紙に描いた作品/木枠内に1097点、1階エントランスに9点、展示室入り口に猪熊の言葉と共に1点(技法はさまざま)
 - ・技法別に展示(年代はさまざま)/17点(墨2点、水彩4点、パステル4点、クレパス1点、コンテ2点、木炭4点)
- ニューヨーク時代以降のアクリルやコラージュによる紙作品/49点
資料展示(スケッチブックを山積み)193冊

入場者数 3,396人

115 塩田千春 私たちの行方

会 期 2012年3月18日(日)～7月1日(日)
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 賛 株式会社資生堂

ドイツ、ベルリンを拠点に活動する作家、塩田千春(1972-)の新作および近作を紹介した。塩田はそれまで物や場所に込められた人々の記憶、不在ゆえに強く感じる存在の感覚、日常を送るなかで生まれる不安や恐れといった感情を作品へと展開してきた。自らの内面から生じるこれらの感覚を突き詰めた結果、制作される作品は、作家個人の思いを超えて見る者を強く揺さぶる。

本展では、瀬戸内という当館の立地条件に触発されて制作した、舟を使った新作のインスタレーションやベルリンや丸亀の子どもたちに行ったインタビューをもとに制作した映像作品、およびドローイングを発表。塩田が新しく取り組んでいた「壁」や「自己の在り方」をテーマにした作品には、日本を離れドイツに住む塩田の経験から、国家や宗教といった個人が属する枠組みは他者や自分自身を理解する助けになると同時に、その人が何者であるかを知るうえで妨げとなるのではないか、私たちはそうした超えられない壁を内在しているのではないか、との考えが反映されている。さらに自分はどこから来たのか、今どのように存在しているのか、どこへ向かおうとしているのかを問いかけた。



撮影：Sunhi Mang

刊行物 カタログ

制作物 子ども向けリーフレット、鑑賞お勧めガイド(教員向け)、特別キット「あっとさっと」(子ども向けワークシート)

入場者数 **11,539**人

関連企画

— オープニング・コンサート —

3月18日(日)10時～10時40分
会 場 3階展示室C
出 演 中條はるる(香川県立坂出高等学校音楽科2年)
料 金 無料(ただし観覧券が必要)
参加者数 76人

— アーティスト・トーク —

3月18日(日)14時～15時
会 場 2階ミュージアムホール
講 師 塩田千春
料 金 無料
参加者数 190人

— イェレミアス・シュヴァルツァー リコーダーリサイタル —

5月26日(土)19時30分～
会 場 3階展示室C
出 演 イェレミアス・シュヴァルツァー
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財
団、Goethe-Institut(ドイツ文化
センター)
料 金 一般3,000円(観覧料および1ド
リンク付)、高校生以下1,000円
(ドリンクは別途)
参加者数 71人

— キュレーターズ・トーク —

3月25日(日)、4月1日(日)、8日(日)、15日(日)、
22日(日)、29日(日・祝)、5月6日(日)、13日(日)、
20日(日)、27日(日)、6月3日(日)、10日(日)、
17日(日)、24日(日)、7月1日(日)
参加者数 269人(15日間合計)

116 ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー

- 会 期 2012年7月15日(日)～9月23日(日)
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、朝日新聞社
協 賛 株式会社大伸社
協 力 エプソン販売株式会社、ギャラリー360°
巡 回 先 2011年1月8日(土)～3月21日(月) 金沢21世紀美術館
2011年4月9日(土)～6月26日(日) 東京オペラシティ アート
ギャラリー



現代の日本を代表する写真家の一人、ホンマタカシ(1962-)の個展。ホンマは、広告写真から写真集、展覧会での作品発表まで、ジャンルにとらわれず幅広い分野で活動、俯瞰的に写真に向き合うスタンスが個性となっている。そのホンマが美術館で行う初の個展として開催前から話題となった。

本展では、写真のドキュメンタリー性を揺るがすようなコンセプトの作品シリーズを複数出品、「写真とは何か」が問いかけられ、現代写真表現の豊かさ、可能性が提示された。東京での展示から1年を経た巡回展となったため、2011年3月に起こった東日本大震災を受けて制作された新シリーズ〈その森の子供〉が出品作に加えられた。また、展示方法も大きく変わって、シリーズ毎に見せるのではなく、シリーズを解体し個々の写真を等価にした上で、全てが撮影年順に並べられた。

本展では、ホンマが地域と協働し、美術館外にも数箇所のサテライト会場を設けて作品を展示した。会場は、うどん店、カフェ、丸亀城など多岐に渡り、全部まわるとちょっとした丸亀観光になるようコースが設定された。

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット



撮影：高橋マナミ

入場者数 16,584人

関連企画

— サテライトマルガメ —

7月14日(土)～9月23日(日)

会 場 丸亀城天守
展示作品 《丸亀の子供》2012 [新作]

会 場 丸亀市立資料館
展示作品 《東京郊外》ポスター作品

会 場 ヘア&メイク パービカン
展示作品 《Why Photography ?》2012 [新作]

会 場 うどん つづみ
展示作品 《中平ポートレート》2011 [新作]

会 場 café la taupe(カフェ・ラ・トープ)
展示作品 《Breithorn》2006

会 場 うどん 浜っこ
展示作品 《NEW WAVES》2007

会 場 カフェレスト MIMOCA
展 覧 会 猫と女
概 要 菊地敦己、ホンマタカシのキュレーションにより、羽金知美・塩川いづみ・猪熊弦一郎の作品を展示した。

協 力 サリー・スコット(株式会社ニュー Yorker)

— オープニング・イベント 対談:ホンマタカシ × 市川実日子 —

7月15日(日)14時～

会 場 2階ミュージアムホール
講 師 ホンマタカシ、市川実日子(俳優)
料 金 無料
参加者数 289人(うち美術図書室での映像
中継視聴者95人)

— 「氷のさくらや」特別出店 —

7月15日(日)12時～17時

会 場 1階ゲートプラザ
主 催 ホンマタカシ写真事務所
料 金 1杯400円
販 売 数 143杯

— クロージング・イベント 写真家と音楽家。写真と音楽。 —

9月22日(土・祝)18時30分～

会 場 2階ミュージアムホール
出 演 阿部海太郎、吉田千佳子(ピアノ)
料 金 一般3,500円(観覧料及び1ドリンク付)、高校生以下1,000円(ドリンクは別途)
参加者数 150人

— 夜間開館 —

9月22日(土・祝)19時～22時

料 金 通常の観覧料と同じ
参加者数 86人

— キュレーターズ・トーク —

7月22日(日)、29日(日)、8月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、9月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)
各日14時～15時

参加者数 257人(10日間合計)

117 物物

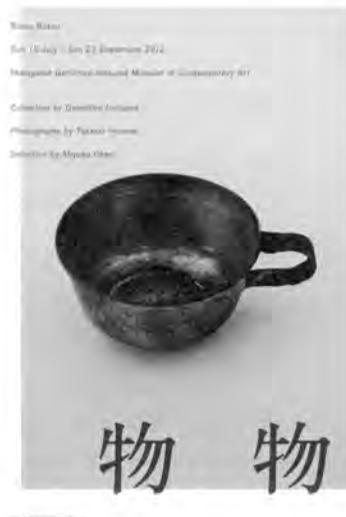
会 期 2012年7月15日(日)～9月23日(日)
会 場 2階展示室A
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 本尾久子、菊地敦己

著書『画家のおもちゃ箱』（文化出版局 1984）でも知られるように、猪熊は、自身のアーティストとしてのテイストに触れる物をいつも身近に置き、暮らしや仕事の糧としていた。海外で出会った物も多く、貴重な物もいくつか含まれるが、高価なアンティークも、生活雑貨も、道で拾った何かの欠片も、猪熊にとっては区別なくその一つ一つが「良き友」であった。これらは現在「猪熊コレクション」として、当館に収蔵されている。

本展は、これら猪熊の収集物を紹介するもので、スタイリストの岡尾美代子が猪熊コレクションのなかから気になる物104点を選び出し、猪熊の家具を用いてディスプレイを行った。また、岡尾が選んだ物をホンマタカシが撮影、うち数点の写真を大きく引き延ばし実物と共に展示した。新たな視点で紹介された「物物」は、個々にその魅力を発揮すると同時に、持ち主である猪熊の、今に先駆けたセンスと生き方を浮き彫りにした。

ホンマの写真は撮影時に交わしたホンマと岡尾の会話と共に書籍『物物』（BOOKPEAK 2012）に収められ、展覧会にあわせて発行された。また本展は「ホンマタカシニュー・ドキュメンタリー」展との同時開催として行った。

制作物 子ども向けリーフレット



撮影：高橋 マナミ

入場者数 16,584人

118 石内都 絹の夢

- 会 期 2012年10月7日(日)～2013年1月6日(日) [年末休館:12月25日～31日]
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成 芸術文化振興基金、公益財団法人アサヒグループ芸術文化財団、
財団法人自治総合センター
協 賛 株式会社資生堂、株式会社ニコン、株式会社カシマ、近藤酒造株式会社
協 力 桐生織塾、後藤織物、株式会社桐生タイムス社、碓氷製糸農業共同
組合、植物染織工房横山、株式会社エークロッシング

写真家、石内都（1947-）の新作展を開催した。石内は
広島の被爆資料のワンピースなどを撮った「ひろしま」を
制作する過程で多くの絹織物に接したことにより、絹への
関心を引き起こされた。さらに6歳までを過ごした群馬県
桐生市が織物の産地であることから、2010年より絹を題材
として銘仙や繭、織物工場、製糸工場などの撮影を始める。
桐生にまつわる絹として、絹の着物のなかでははず抜けて
安価で流行物でさえあり、名を残すこともない一般の女性
が身にまとった銘仙が被写体の中心となっている。明治・
大正・昭和にかけて流行し、絹を着る喜びに満ち、生き生
きとファッションを楽しむ当時の女性たちを垣間見せるよ
うな銘仙、そして日本を支えてきた生糸産業の現況を踏ま
え、石内の目は様々な過去と現実を織り込みながら、なお
美しく色あせずに現存する近代日本の夢の跡形として絹を
捉えた。撮りおろし新作の「絹の夢」は、石内の個人史と
近現代史が交差した新たな展開となった。「ひろしま」よ
り日本初展示となる作品を含め、新作46点と映像作品を展
示した。

制作物 解説パンフレット、会場図・作品リスト、
子ども向けリーフレット

石内都 絹の夢

Ishiuchi Miyako
SILKEN DREAMS

2012/10/7(日) → 2013/1/6(日)



丸亀市猪熊弦一郎現代美術館



撮影：蔵真墨

入場者数 **11,080** 人

関連企画

対談：石内都 × 黒川創「繭／絹／織ー日本近現代史を語る」

10月7日(日)14時～

会 場 2階ミュージアムホール
講 師 石内都、黒川創(作家)
料 金 無料
参加者数 114人

和服の日

2013年1月1日(火・祝)～6日(日)

概 要 和服で来館された方は観覧無料
とした。
参加者数 123人

作家によるギャラリー・トーク、サイン会

12月1日(土)14時～

会 場 3階展示室C
講 師 石内都
料 金 無料(ただし観覧券が必要)
参加者数 67人

対談：石内都 × 光田由里

2013年1月6日(日)14時～

会 場 2階ミュージアムホール
講 師 石内都、光田由里(美術評論家)
料 金 無料
参加者数 111人

ドキュメンタリー映画『ひろしま 石内都・
遺されたものたち』先行上映会+トークショウ

12月2日(日)15時～

会 場 2階ミュージアムホール
講 師 石内都、リンダ・ホーランド
(映画監督)
料 金 1,000円
参加者数 76人

キュレーターズ・トーク

10月14日(日)、21日(日)、28日(日)、11月4日(日)、
11日(日)、18日(日)、25日(日)、12月2日(日)、9
日(日)、16日(日)、23日(日・祝)
各日14時～

参加者数 137人(11日間合計)

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	#1 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
2	#4 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
3	#6 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,510×1,000
4	#9 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
5	#10 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
6	#11 半併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
7	#13 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,510×1,000
8	#14 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,870×1,210
9	#15 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	740×1,110
10	#16 牡丹の帯 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
11	#20 半併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
12	#21 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,510×1,000
13	#24 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
14	#25 半併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
15	#27 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	740×1,110
16	#28 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
17	#30 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
18	#34 工房横山 秩父 2011	2012	タイプCプリント	460×315
19	#35 繭 秩父 2011	2012	タイプCプリント	460×315
20	#37 碓氷製糸 安中 2011	2012	タイプCプリント	315×460
21	#38 桐生が岡遊園地 桐生 2011	2012	タイプCプリント	230×335
22	#41 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
23	#47 桐生が岡遊園地 桐生 2011	2012	タイプCプリント	230×335
24	#48 繭 安中 2011	2012	タイプCプリント	460×315
25	#50 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	740×1,110
26	#51 半併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,510×1,000
27	#57 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
28	#58 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
29	#61 少年航空隊用ベスト 桐生 2009	2012	タイプCプリント	460×315
30	ひろしま #96 松本ミヨ子 広島 2011	2012	タイプCプリント	335×230
31	ひろしま #93 広島 2011	2012	タイプCプリント	335×230
32	ひろしま #92 広島 2011	2012	タイプCプリント	335×230
33	#68 解し緋銘仙 秩父 2011	2012	タイプCプリント	315×460
34	#72 生糸 安中 2011	2012	タイプCプリント	460×315
35	#74 アンティークストックキング 上田 2011	2012	タイプCプリント	460×315
36	#75 碓氷製糸 安中 2011	2012	タイプCプリント	740×1,110
37	#76 碓氷製糸 安中 2011	2012	タイプCプリント	460×315
38	#78 碓氷製糸 安中 2011	2012	タイプCプリント	315×460
39	#84 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
40	#88 併用緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,110×740
41	#90 後藤織物 桐生 2011	2012	タイプCプリント	460×315
42	#97 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	740×1,110
43	#98 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	タイプCプリント	1,870×1,210
44	#99 後藤織物 桐生 2011	2012	タイプCプリント	460×315
45	#101 後藤織物 桐生 2011	2012	タイプCプリント	315×460
46	#102 渡良瀬川 桐生 2011	2012	タイプCプリント	230×335
47	From Cocoons	2012	DVD(15分16秒)	可変

※すべて作家蔵

119 猪熊弦一郎展 変化と不変

会 期 2013年1月13日(日)～4月4日(木)
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
特別協力 香川県立ミュージアム

猪熊は、70年の画業のなかで幾度か作風を大きく変化させた。初期の写実的な人物像、戦後の幾何学的な抽象画、晩年の顔の連作と、年代を追って作品を並べると、まるで複数の画家の作品を見ているかのようにバラエティに富むが、一方で、全く違うイメージのなかに、モチーフ、構図、色のバランスなど、共通する部分が見受けられる。

本展は、新しい美の表現を求めることで作風が変化し続けた猪熊芸術において、変わることのなかった「猪熊らしさ」に注目した。作風は異なるが、共通の特徴を持つ作品を隣り合わせて展観することで、変化と不変の両面からその魅力を紹介した。

また、香川県立ミュージアムが所蔵する100点超の猪熊作品より秀作30点を借用し、当館所蔵品とあわせて展示した。両美術館のタイプの違う収蔵品が一同に会することによって、展示内容が充実し、猪熊芸術の全貌を一望出来る貴重な機会となった。なお本展では会期を前後期に分け、4点を展示替えした。

制作物 子ども向けリーフレット



関連企画

キュレーターズ・トーク

1月13日(日)、20日(日)、27日(日)、2月3日(日)、
10日(日)、17日(日)、24日(日)、3月3日(日)、10日
(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)

各日14時～15時

参加者数 189人(12日間合計)

入場者数 **5,912人**

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵	備考
1	黒い裸子と馬	1991	アクリル・カンヴァス	111.5×96.0		
2	絵の中に住む絵	1980	アクリル・カンヴァス	200.0×250.0	香川県立ミュージアム	
3	風景第二作	1925	油彩・カンヴァス	53.3×65.2		
4	葉をもつ女	1939	油彩・カンヴァス	81.0×59.0	香川県立ミュージアム	
5	ゴングラチュレーション・カラーズ	1982	アクリル・カンヴァス	116.7×90.8	香川県立ミュージアム	
6	バレリーナ21世紀に贈るメッセージ1	1988	アクリル・カンヴァス	163.3×133.2	香川県立ミュージアム	
7	マドモアゼルM	1940	油彩・カンヴァス	81.2×65.4		
8	バレリーナの夢想	1950	油彩・カンヴァス	131.0×162.0		
9	遊泳する窓	1984	アクリル・カンヴァス	194.0×290.6		
10	海と女	1935	油彩・カンヴァス	180.1×288.7		
11	二人の裸婦と猫	1953	油彩・カンヴァス	65.0×80.5	香川県立ミュージアム	
12	六つの顔	1950	油彩・カンヴァス	92.0×117.5	香川県立ミュージアム	
13	鳥たちの朝	1990	アクリル・カンヴァス	152.0×182.0	香川県立ミュージアム	
14	コンポジション	1930	油彩・カンヴァス	181.7×257.0		
15	着衣 バレリーナ	1946	油彩・カンヴァス	72.0×60.0		
16	絵の中の絵	1980	アクリル・カンヴァス	137.0×122.0	香川県立ミュージアム	
17	違った形象の集落(習作)	1981	アクリル・紙	40.5×30.5(マット内寸)		
18	違った形象の集落	1981	アクリル・カンヴァス	127.0×96.5	香川県立ミュージアム	
19	スペース都市(習作)	1981	アクリル・紙	44.0×35.5(マット内寸)		
20	スペース都市A	1982	アクリル・カンヴァス	152.5×122.0	香川県立ミュージアム	
21	キオスク(下絵)	1938頃	インク・紙	20.4×14.0		
22	キオスク(下絵)	1938頃	バステル・紙	34.5×25.5		
23	キオスク No. I	1939	油彩・カンヴァス	80.0×53.5	香川県立ミュージアム	
24	道	1964	油彩・カンヴァス	157.8×91.5		
25	風景PB	1974	アクリル・カンヴァス	162.5×130.5	香川県立ミュージアム	
26	動物達の遊園地	1986	アクリル・カンヴァス	101.0×122.0	香川県立ミュージアム	
27	ロボット小休止	1980	アクリル・カンヴァス	127.4×96.5	香川県立ミュージアム	
28	裸婦2	1990	アクリル・カンヴァス	136.0×121.5		
29	丸・三角・四角・集れ	1980	アクリル・カンヴァス	111.5×96.5	香川県立ミュージアム	
30	二人の子供	1950	油彩・カンヴァス	73.0×61.0		
31	座せる二人	1951	油彩・カンヴァス	91.8×65.1		
32	猫と子供	1951	油彩・カンヴァス	92.0×65.5		
33	裸婦と猫	1949	油彩・カンヴァス	72.6×61.0		
34	ジプシーの子供達	1938	油彩・カンヴァス	61.2×38.1		
35	自動車の中の家族	1938	油彩・カンヴァス	73.0×60.0		
36	グリーン・ハイウェイNo. 3	1968	アクリル・カンヴァス	202.4×176.9	香川県立ミュージアム	
37	銀河への門No. 1	1986	アクリル・カンヴァス	122.0×91.0	香川県立ミュージアム	
38	金の丸と不思議な鳥	1979	アクリル・カンヴァス	110.5×95.5	香川県立ミュージアム	
39	顔17	1988	アクリル・カンヴァス	127.0×96.5		
40	四つの隣人	1978	アクリル・カンヴァス	111.0×96.0	香川県立ミュージアム	
41	花嫁のスケジュール	1979	アクリル・カンヴァス	180.0×105.2		
42	地図でない地図F	1978	アクリル・カンヴァス	111.5×96.5	香川県立ミュージアム	
43	極	1958	油彩・カンヴァス	205.0×180.5	香川県立ミュージアム	*前
44	都市発芽	1985	アクリル・カンヴァス	111.0×96.0		*前
45	マネキンと鳥	1990	アクリル・カンヴァス	136.0×121.2		*前
46	MIZU	1962	油彩・カンヴァス	152.5×127.3		*後
47	御神楽	1961	油彩・カンヴァス	203.2×178.0	香川県立ミュージアム	*後
48	Landscape QR	1966	油彩・カンヴァス	126.8×127.1		*後

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵	備考
49	角と世界と丸	1979	アクリル・カンヴァス	110.4×95.3	香川県立ミュージアム	
50	三つの書体	1979	アクリル・カンヴァス	110.3×95.5(額内寸)		
51	動物の対話	1984	アクリル・カンヴァス	122.0×100.0	香川県立ミュージアム	
52	ダヴと街	1985	アクリル・カンヴァス	126.0×96.0	香川県立ミュージアム	
53	アリゾナ急行	1980	アクリル・カンヴァス	111.5×96.5	香川県立ミュージアム	
54	裸婦の言葉	1979	アクリル・カンヴァス	110.5×95.5	香川県立ミュージアム	
55	星座フェスティバル	1987	アクリル・カンヴァス	127.0×96.0	香川県立ミュージアム	
56	太陽の環境	1960	油彩・カンヴァス	177.8×203.2	香川県立ミュージアム	*前
57	白い孔	1960	油彩・カンヴァス	173.8×201.0		*後
58	裸子1島5ランドスケープ	1991	アクリル・カンヴァス	135.0×122.0	香川県立ミュージアム	
59	顔80	1989	アクリル・カンヴァス	194.0×194.0		

前期と後期で一部展示作品を変えた。

*前 前期 [2013年1月13日(日)～2月22日(金)] のみ展示

*後 後期 [2013年2月23日(土)～4月4日(木)] のみ展示

120 猪熊弦一郎展 壁画の仕事

会 期 2013年4月13日(土)～6月23日(日)
会 場 3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

2011年夏、京都鴨川沿いの建物解体現場で猪熊の壁画《都市流動》(1969)が発見された。建物は吉村順三設計の旧ホテルフジタ京都。1970年の開業当初にラウンジに設置されていた壁画は、1982年の改装でその前に立てられた新たな壁により隠されてしまい、存在が忘れられた。建物解体のニュースが流れ、一本の匿名電話によって間一髪で解体現場から救い出された後、丸亀市へ寄贈されて当館で修復がなされた。

本展では修復後の壁画を初公開。クロムメッキ板を10枚連ねた高さ約3m、幅約15mの大きな面には数千個の穴が開いており、裏に10色のアクリル板がつけられている。背後から光を当てると点線によるカラフルな幾何学模様が浮かび上がるという仕組みで、デザインをはじめ、使用した素材や技術も、猪熊の画業のなかでは他に類を見ない。バラエティに富む猪熊表現に、また新しいタイプのものが加わった。

本展では猪熊が手がけた他の壁画も写真パネル等で紹介、人々の暮らしを美しく彩りたいと多数のパブリックアートを制作した猪熊の一面を展観した。

制作物 子ども向けリーフレット

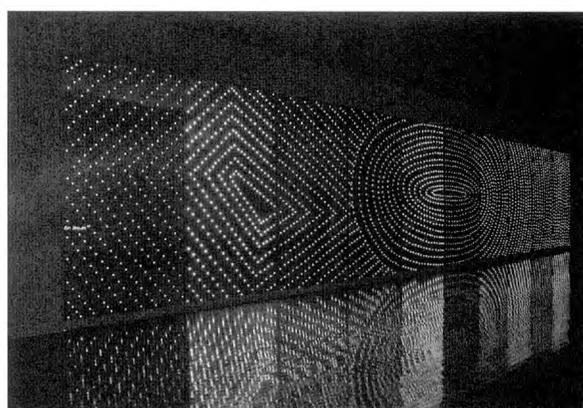
関連企画

キュレーターズ・トーク

4月14日(日)、21日(日)、28日(日)、5月5日(日・祝)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、6月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)

各日14時30分～15時

参加者数 239人(11日間合計)



入場者数 **8,513**人

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1-1	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館建設時におけるゲートプラザスケッチ			
1-2	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館建設時におけるゲートプラザスケッチ			
1-3	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館ゲートプラザ壁画原案			
2-1	「都市流動」旧ホテルフジタ京都1階ラウンジ壁画	1969	クロムメッキ・スチール	290.0×1470.0
2-2	「都市流動」修復前の本体裏に接着されていた合板とアクリル板部分			
2-3	「都市流動」原案			
2-4	「都市流動」ひな形			
2-5	「都市流動」サイン原画			
2-6	「都市流動」旧ホテルフジタ京都1階ラウンジの写真			
3-1	「デモクラシー」慶應義塾大学西校舎学生食堂壁画(写真パネル展示)	1949	エナメルペイント、油絵具・板	437.0×651.0(2面)
3-2	「デモクラシー」原画			
4-1	「自由」JR上野駅中央コンコース壁画(写真パネル展示)	1951	エナメル、油絵具・板	600.0×2720.0
4-2	「自由」原画			
4-3	「自由」が印刷された記念切符			
5	「和敬清寂」香川県庁舎東館1階ロビー陶画(写真パネル展示)	1958	陶板	東面 530.0×590.0(2面)、 南面 530.0×500.0(2面)、 西面 530.0×590.0(2面)、 北面 530.0×500.0(2面)
6-1	「愉快的散歩」旧朝日生命新宿本社ビル1階ガラスモザイク壁画(写真パネル展示)	1964	ガラスモザイク	260.0×517.0
6-2	「愉快的散歩」解体後の壁画部分			
7-1	「律動」帝国劇場ロビーステンドグラス(写真パネル展示)	1966	ステンドグラス	240.0×550.0(6面)
7-2	「律動」実物大模型の前の谷口吉郎と猪熊弦一郎の写真			
8-1	「黎明」名鉄バスターミナルビルエントランスレリーフ(写真パネル展示)	1967	スチール、鉛	434.0×330.0
8-2	「黎明」印刷物掲載ページ切抜き			
9-1	「都市・窓」東京會館本館1階ロビーモザイク壁画(写真パネル展示)	1971	プラスチックモザイク	233.0×641.0(2面)
9-2	「都市・窓」原画			
9-3	「都市・窓」モザイク細部スケッチ			
9-4	「都市・窓」原画を前に語り合うイサム・ノグチと猪熊弦一郎の写真			
10	「金環」東京會館本館1階ロビー電灯装飾(写真パネル展示)	1971	真鍮塗装、成型合板	13個
11	「風車と太陽」香川県立丸亀高等学校図書館壁画(写真パネル展示)	1987	陶板	220.0×1260.0
12-1	「21世紀に贈るメッセージ」香川県民ホール本館エントランスホール壁画(写真パネル展示)	1988	陶板	640.0×2860.0
12-2	「21世紀に贈るメッセージ」試作のための陶画			
12-3	「21世紀に贈るメッセージ」焼成前にリタッチする猪熊弦一郎の写真			
13	「創造の街」東京地下鉄半蔵門線三越前駅ホーム壁画(写真パネル展示)	1989	インキ・アルミニウム	159.0×200.0、 175.0×200.0 (2面を一組として36組)
14	「極点」日本アイ・ピー・エム株式会社幕張事業所6階アトリウム壁画(写真パネル展示)	1991	インキ・アルミニウム	1640.0×820.0(4面)
15-1	丸亀市立中央図書館コントロールセンター壁画(シルクスクリーン版下展示)	1991	シルクスクリーン・スチール	230.0×1457.5
15-2	丸亀市立中央図書館コントロールセンター壁画原案			
15-3	丸亀市立中央図書館コントロールセンターシルクスクリーン製作中の写真			
16-1	「ロボット誕生」川崎市役所第3庁舎1階市民ホール壁画(写真パネル展示)	1993	陶板	1080.0×940.0
16-2	《ロボット・顔・犬》(「ロボット誕生」の元になった1992年作カンヴァス作品)			
16-3	「ロボット誕生」部分原画			

121

MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトポエム

- 会 期 2013年4月13日(土)～6月30日(日)
会 場 1階エントランス、2階展示室B
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
共 催 読売新聞社、美術館連絡協議会
助 成 グレイトブリテン・ササカワ財団
協 賛 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン
協 力 プリティッシュ・カウンシル

新進気鋭の若手作家を紹介するシリーズ「MIMOCA'S EYE」。第3回目となる本展は、1976年にニュージーランドに生まれ、現在はロンドンを拠点に活動する女性作家フランシス・アップリチャードの日本初個展として開催。アップリチャードは、粘土でつくられたカラフルな人体彫刻を中心にインスタレーションを展開。2009年にはヴェネツィア・ビエンナーレのニュージーランド館代表に選ばれるなど、国際的に高い注目を集めている。初期の主な作品は、リサイクルショップで手に入れた日用品や骨董品に手を加え、自作の彫刻等を組み合わせて制作。身の回りにあるものを古代の宗教儀礼を彷彿とさせるオブジェに変容させるなど、古さを感じさせながらも未来的であり、知っているようで見慣れない不思議な既視感が特徴的である。「もの」に与えられた意味や文化的コンテクストを恣意的にずらし、ユーモアを交えて表現することで、常に読み違いをしながら歴史がつくられ、文化が表象されてきたということ問いかけているようでもある。わたしたちの既存の認識や異なる文化への理解を新たな視点でとらえ直そうとする作品群は、その裏に潜む無数の解釈や世界の広さを提示するものとなった。

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット



撮影：木奥恵三

入場者数 **9,006** 人

関連企画

— オープニング・イベント ポテポエムパーティ —

4月13日(土)19時～20時

会 場 3階カフェレスト MIMOCA

料 金 無料

参加者数 63人

— 夜間開館 —

4月13日(土)、20日(土)

各日18時～21時

料 金 通常の観覧料と同じ

参加者数 4月13日(土)78人

20日(土)23人

— アーティスト・トーク —

4月14日(日)14時～15時30分

会 場 2階ミュージアムホール

講 師 フランシス・アップリチャード

聞き手 国枝かつら(本展担当学芸員)

逐次通訳 中川千帆(奈良女子大学文学部

言語文化学科准教授)

料 金 無料

参加者数 78人

— キュレーターズ・トーク —

4月21日(日)、28日(日)、5月5日(日・祝)、12日(日)、

19日(日)、26日(日)、6月2日(日)、9日(日)、16日

(日)、23日(日)、30日(日)

各日14時～14時30分

参加者数 264人(11日間合計)

122 大竹伸朗展 ニューニュー

会 期 2013年7月13日(土)～11月4日(月・祝)
 会 場 1階エントランス、3階展示室C
 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
 助 成 芸術文化振興基金、公益財団法人花王芸術・科学財団、
 財団法人自治総合センター
 協 力 Take Ninagawa

大竹伸朗(1955-)は、1980年代初頭に鮮烈なデビューを飾って以来、絵画を中心に音、写真・映像、印刷などの表現を取り込みつつ、旺盛かつ多彩な活動を展開してきた。また、異分野のアーティストとのコラボレーションでも知られており、彼の影響力は現代美術の世界にとどまらず、デザイン、文学、音楽などあらゆるジャンルに及んでいる。

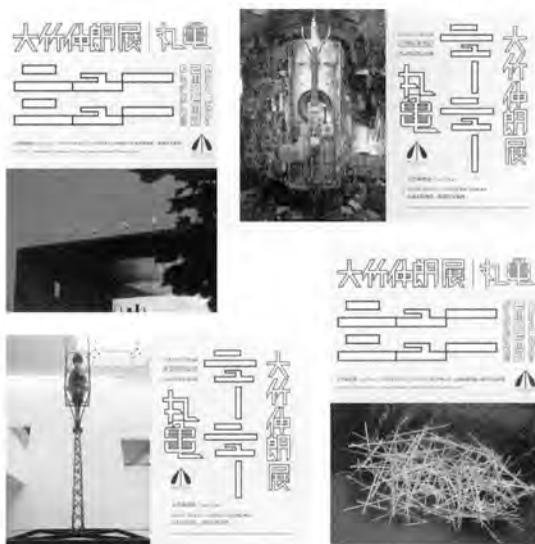
本展は、四国・宇和島への移住から25年を経て新しい局面を迎えつつあった「大竹伸朗の現在」に焦点を絞った、大規模な新作展となった。2012年のDOCUMENTA(13)の出品作品としてドイツ、カッセルの森に展示され、当館の展示室へと場所を移して新たに設置された《モンシェリー：スクラップ小屋としての自画像》をはじめ、高さ6mに達する大型の平面作品《時憶／ゾーン》や、3層吹き抜けのエントランスに設置する巨大なインスタレーション《時憶／美唄》など、当館の建築や展示空間を最大限に活かして制作された最新作、また、グワッシュを用いた新たなシリーズ〈境界色〉など、まさに「ニューニュー」というタイトルにふさわしく、2010年代以降に制作された新作及び国内未発表の作品を中心に構成した。

比類のない熱量をもって常に前進し続けるアーティスト、大竹伸朗の「今」に立ち会い、次なる展開への予兆を感じる絶好の機会となった。

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット、スタンプラリー台紙兼各施設案内



撮影：山本真人



入場者数 24,757人

関連企画

— 作品展示のためのボランティア・プログラム —

6月26日(水)～7月2日(火) 9時30分～16時
会場 1階エントランス、3階展示室C
概要 新作のインスタレーション作品の展示設営を体験していただくプログラムを実施し、参加者の美術館や展覧会への関心を深め、鑑賞だけではなく展覧会づくりへの主体的な参画を企図した。
参加者数 のべ24人

— [ニューニュー][憶速][女根/めこん]スタンプラリー —

7月13日(土)～11月4日(月・祝)
(3会場すべてご覧いただける期間は7月20日～9月1日)
会場 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、高松市美術館(展覧会【憶速】開催)、女木小学校(瀬戸内国際芸術祭出品作《女根/めこん》展示施設)
概要 当館での展覧会を含め、同時期に香川県内の3つの会場で大竹伸朗のプロジェクトが行われた。連動して企画されたこのプロジェクトの広報的な訴求力を高めるため、各会場に設置されたスタンプをすべて集めると「ニューシャネル」特製缶バッジがもらえるスタンプラリーを開催した。
缶バッジ配布数 779個(3会場全体では約2100個を配布)

— アーティスト・トーク —

7月20日(土) 18時30分～20時
会場 2階ミュージアムホール
講師 大竹伸朗
料金 無料(ただし観覧券が必要)
参加者数 231人(うち美術図書室での映像中継視聴者数34人)

— アフターパーティー —

7月20日(土) 20時15分～22時
場所 3階カフェレスト MIMOCA
料金 1,000円(1ドリンク付)
参加者数 133人

— 夜間開館 夜MIMOCA —

7月13日(土)、20日(土)、27日(土)、8月10日(土)、8月24日(土)、9月14日(土)、28日(土)、10月12日(土)、26日(土)
各日18時～21時
料金 通常の観覧料と同じ
参加者数 409人(9日間合計)

— From Ohtake Shinro Library 大竹伸朗の書庫より —

10月5日(土)～11月4日(月・祝)
会場 2階美術図書室
企画協力 アイデア(誠文堂新光社)
協力 The Tokyo Art Book Fair 2013、Take Ninagawa
概要 「The Tokyo Art Book Fair 2013」で好評を博した大竹伸朗の蔵書展示を当館美術図書室にて実施した。雑誌『アイデア』360号の特集「ファウンド・プリント:大竹伸朗の書庫より」にて掲載された膨大なコレクションからセレクトした書籍を展示し、ダダイズム、フルクサス関連のアートブック、コミック、図鑑など、大竹伸朗の書庫より選りすぐりの奇書・稀書約340冊をご覧いただくことで、作品制作と書籍との関わりや着想のバックグラウンドなどを紹介した。
料金 無料
参加者数 1,970人

— クロージング・トーク —

11月4日(月・祝) 16時～17時30分
会場 2階ミュージアムホール
講師 大竹伸朗
料金 無料
参加者数 179人

— キュレーターズ・トーク —

7月14日(日)、21日(日)、28日(日)、8月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)、9月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)、10月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、11月3日(日・祝)
各日14時～14時40分
参加者数 520人(17日間合計)

123 猪熊弦一郎展 新しい美—抽象の探求

会 期 2013年11月16日(土)～2014年2月16日(日)
 [年末休館:12月25日～31日]
 会 場 3階展示室C
 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

猪熊の作品は具象画から抽象画へどのように変化したのか、1940年代後半から亡くなるまでの作品を通して紹介した展覧会。1955年の渡米が変化の契機になったと言われる猪熊だが、渡米前の作品では人や動物などの形を単純化し、大きな色の塊として描くなど既に抽象への目覚めがうかがえる。そして滞米中は、はっきりとした輪郭をもたない形、その後に直線や円で構成した幾何学的な抽象画を描いている。1970年代半ばからは有機的な形を描き込んだ作品となるが、最晩年になると、猪熊がつくり出した形のみならず、顔や動物など、すべてのものを抽象形態と捉え、具象、抽象という枠組みを超えた自分だけが生み出せる「新しい美」をもった絵画を精力的に描いた。展示室では1940年代後半と晩年の、いずれも具体的なものが描かれている作品を同時に見せることで、形に対する猪熊の持続的な関心を知るきっかけとした。また約50年の間に描いた作品を展示することにより、画業が深まるにつれ、具象、抽象の枠組みを超えたダイナミックさを備えていった猪熊作品の変遷とその魅力を伝えた。

制作物 子ども向けリーフレット、ワークシート

関連企画

キュレーターズ・トーク

11月17日(日)、12月1日(日)、15日(日)、2014年
 1月5日(日)、19日(日)、2月2日(日)、16日
 (日)
 各日14時～
 参加者数 112人(7日間合計)



入場者数 **10,937人**

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵	備考
1	青いマフラー	1946	油彩・カンヴァス	53.0×41.0	香川県立ミュージアム	*前
2	黄色いスカートの婦人	1946	油彩・カンヴァス	80.5×64.5		
3	着衣バレリーナ	1946	油彩・カンヴァス	72.0×60.0		
4	題名不明	1946-50頃	油彩・カンヴァス	64.6×50.1		*後
5	横たはる裸婦	1948	油彩・カンヴァス	60.5×72.5		
6	青い服	1949	油彩・カンヴァス	79.0×64.5		
7	黒い鳥と海	1949	油彩・カンヴァス	61.0×73.0	香川県立ミュージアム	*後
8	箱の中の小猫	1949	油彩・カンヴァス	80.5×65.0		
9	婦人と猫	1949	油彩・カンヴァス	80.0×64.1		
10	裸婦と猫	1949	油彩・カンヴァス	72.6×61.0		
11	絵を描くN氏	1950	油彩・カンヴァス	92.0×117.5	香川県立ミュージアム	*前
12	壺と婦人座像	1950	油彩・カンヴァス	80.0×65.0		
13	妻と赤い服	1950	油彩・カンヴァス	116.5×91.0		*後
14	バナナ	1950	油彩・カンヴァス	60.0×45.5	香川県立ミュージアム	*前
15	座せる群像	1951	油彩・カンヴァス	131.2×162.5		
16	猫と子供	1951	油彩・カンヴァス	92.0×65.5		*後
17	頭上猫	1952	油彩・カンヴァス	45.5×37.8		
18	猫によせる歌	1952	油彩・カンヴァス	181.5×259.0		
19	猫と鳥	1954	油彩・カンヴァス	80.2×99.7		
20	題名不明	1954頃	油彩・カンヴァス	24.0×33.1		
21	馬と道化	1955	油彩・カンヴァス	117.0×91.0		
22	子供と猫	1955	油彩・カンヴァス	45.3×38.0		
23	Calm	1956	油彩・カンヴァス	157.0×91.5		
24	Garden	1956	油彩・カンヴァス	175.3×106.7		
25	Haniwa 1	1956	油彩・カンヴァス	106.4×175.8		
26	Diving	1958	油彩・カンヴァス	202.1×127.1		
27	Quiet Surface of the Earth	1959	油彩・カンヴァス	177.0×205.3		
28	黄色の反響	1960	油彩・カンヴァス	200.3×175.0		
29	Circulation of Space	1961	油彩・カンヴァス	152.0×101.0		
30	Composition: Red and Black	1961	油彩・カンヴァス	152.5×102.0		
31	地殻の春	1962	油彩・カンヴァス	152.0×127.5		
32	四角と丸	1963	油彩・カンヴァス	203.4×127.0		
33	Confusion and Order "A"	1964	油彩・カンヴァス	203.1×177.8		
34	Lively Street	1964	油彩・カンヴァス	152.6×127.5		
35	The City Planning Yellow (No.2)	1968	アクリル・カンヴァス	203.4×152.7		
36	Landscape Green A	1976	アクリル・カンヴァス	136.8×120.2		
37	角と丸 BX	1977	アクリル・カンヴァス	190.0×175.0		
38	都市計画(楽しいプロジェクト)	1979	アクリル・カンヴァス	89.8×125.3		
39	黒の中に住む褐色の世界	1981	アクリル・カンヴァス	111.5×96.0		
40	空の遊園地	1981	アクリル・カンヴァス	122.0×101.2		
41	宇宙生物の限界	1982	アクリル・カンヴァス	116.7×91.0		
42	ロックミュージック	1984	アクリル・カンヴァス	111.5×96.0		
43	ロボット休息	1987	アクリル・カンヴァス	121.3×101.5		
44	緑の中の美しき顔	1992	アクリル・カンヴァス	110.0×96.0		
45	風車と鳥	1993	アクリル・カンヴァス	137.0×122.0		

*前期と後期で一部展示作品を変えた。

*前 前期 [2013年11月16日(土)～12月24日(火)]のみ展示

*後 後期 [2014年1月1日(水・祝)～2月16日(日)]のみ展示

124

猪熊弦一郎展 丸亀とともに—香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に

- 会 期 2013年11月16日(土)～2014年2月16日(日)
[年末休館:12月25日～31日]
- 会 場 2階展示室A
- 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
- 協 力 香川県立丸亀高等学校、丸亀高等学校同窓会

猪熊と丸亀、中でも母校である旧制香川県立丸亀中学校(現 香川県立丸亀高等学校)との関わりを中心にその画業を紹介した展覧会。

1921年に同校を卒業した猪熊は、1922年東京美術学校(現 東京藝術大学)に進学、若くして日本の美術界に頭角をあらわし、故郷でも大きな注目を浴びていた。1933年、丸亀中学校創立四十周年に際して作画の依頼を受けた猪熊は、作品《妙義山》を制作した。本作は、白川一郎の《犬吠埼》と一对で同校に展示され、現在まで長く後輩達から親しまれている。その後も作品を継続的に同校へ寄贈し、1987年には図書館の新築にあたって壁画《風車と太陽》を制作、また、創立記念事業に合わせて二度の講演をおこなうなど、母校とのつながりを大切にしていたことがうかがえる。

本展は丸亀高等学校創立百二十周年を迎える記念の年に開催、同校所蔵の猪熊作品を借用し、当館にて一挙公開した。また、これまで紹介の機会が少なかった丸亀中学校時代の頃の作品もあわせて展示した。

制作物 子ども向けリーフレット、丸高生による解説シート



入場者数 **10,937**人

関連企画

キュレーターズ・トーク

11月17日(日)15時～、24日(日)、12月8日(日)、
22日(日)、2014年2月9日(日)、16日(日)15時～
11月17日、2月16日を除き各日14時～
参加者数 72人(6日間合計)

丸高×MIMOCAプロジェクト

丸高スチューデントズ・トーク

2014年1月5日(日)、12日(日)、19日(日)、
26日(日)
各日15時～

概要 香川県立丸亀高等学校(以下丸高)の生徒が、2～3人1組で
展覧会担当学芸員とともに展示
室にて作品や展覧会の見どころ
を話した。

参加者数 164人(4日間合計)

丸高生による解説シート

概要 丸高所蔵の全ての猪熊作品が一
目で分かる解説付き図版に加え、
猪熊の在校時のエピソードなど、
丸高生ならではの目線で丸高と
猪熊弦一郎のつながりについて
調べてまとめた解説シートを作
成した。

展覧会関連スイーツ共同開発

概要 展覧会の特別メニューとして丸
高生とカフェレストMIMOCAが
「いのくまさんと、りんご」を共
同開発し、限定販売を行った。

丸高生パフォーマンス・デー

2014年1月26日(日) 13時～17時

会場 館内各所

出演 放送部、応援部、写真部、音楽部、
吹奏楽部、書道部

概要 丸高生が部活単位で「猪熊弦一
郎」や「MIMOCA」をテーマに取り
入れ、パフォーマンスを行っ
た。

料金 無料

参加者数 1228人

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
1	猪熊弦一郎	題名不明	1912頃	鉛筆、水彩・紙	13.5×20.9	
2	猪熊弦一郎	題名不明	1911頃	鉛筆・紙	20.7×14.6	
3	猪熊弦一郎	題名不明	1911頃	鉛筆・紙	22.5×14.7	
4	猪熊弦一郎	題名不明	1911頃	鉛筆・紙	20.7×16.6	
5	猪熊弦一郎	題名不明	1913頃	インク・紙	20.1×13.9	
6	猪熊弦一郎	題名不明	1912頃	鉛筆、水彩・紙	13.5×21.0	
7	猪熊弦一郎	題名不明	1911頃	インク・紙	20.7×14.5	
8	猪熊弦一郎	題名不明	1912頃	鉛筆、水彩・紙	13.8×21.0	
9	猪熊弦一郎	題名不明	1912頃	インク・紙	9.3×13.3	
10	猪熊弦一郎	題名不明	1913頃	インク・紙	20.1×13.6	
11	猪熊弦一郎	題名不明	1912頃	インク・紙	20.5×13.2	
12	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.8×31.2	
13	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.8×31.2	
14	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.6×31.1	
15	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.8×31.2	
16	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.7×31.1	
17	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.5×30.9	
18	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆・紙	23.3×30.7	
19	猪熊弦一郎	題名不明	1917	水彩、鉛筆・紙	23.8×31.0	
20	猪熊弦一郎	題名不明	1919	水彩、鉛筆・紙	23.8×31.0	
21	猪熊弦一郎	題名不明	1917	水彩・紙	23.8×31.0	
22	猪熊弦一郎	題名不明	1916	鉛筆、インク・紙	31.1×23.6	
23	猪熊弦一郎	題名不明	1917	水彩、鉛筆・紙	30.7×23.3	
24	猪熊弦一郎	題名不明	1917	水彩、鉛筆・紙	31.0×23.6	
25	猪熊弦一郎	妙義山	1933	油彩・カンヴァス	130.3×193.9	香川県立丸亀高等学校
26	白川一郎	犬吠埼	1933	油彩・カンヴァス	130.3×193.9	香川県立丸亀高等学校
27	猪熊弦一郎	コレヒドール(壮絶なる風景)	1942	油彩・カンヴァス	50.5×60.5	香川県立丸亀高等学校
28	猪熊弦一郎	ENTRANCE	1964	アクリル・紙	103.0×78.0	香川県立丸亀高等学校
29	猪熊弦一郎	地図でない地図B	1978	アクリル・カンヴァス	111.5×96.5	香川県立丸亀高等学校
30	猪熊弦一郎	高校生とカーニバル	1979	アクリル・カンヴァス	135.0×121.0	香川県立丸亀高等学校
31	猪熊弦一郎	都市の中の青い太陽	1981	アクリル・紙	55.5×74.0	香川県立丸亀高等学校
32	猪熊弦一郎	美しき隣人	1983	アクリル・紙	44.0×52.0	香川県立丸亀高等学校
33	猪熊弦一郎	顔27	1988	アクリル・紙	60.0×46.0	香川県立丸亀高等学校
34	猪熊弦一郎	太陽馬	1990	アクリル・紙	39.0×29.0	香川県立丸亀高等学校
35	猪熊弦一郎	風車と太陽	1987	アクリル・紙	12.0×63.9	香川県立丸亀高等学校
36	猪熊弦一郎	丸亀の歌	1985	墨・水彩・紙	34.5×27.8	丸亀市立城北小学校お寄せ

125 あそびのつくりかた

会 期 2014年3月1日(土)～6月1日(日)
 会 場 1階エントランス、3階展示室C
 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
 協 賛 株式会社資生堂
 協 力 株式会社ジェディック、豊浜綿寝具協同組合

あそぶ、とはどんなことだろうか。現代の行き届いたサービスによって、人は日常に起こるかもしれないちょっとした困難を、比較的簡単に回避できるようになった。楽しいことでさえ、自分で探す間もなく、あらかじめ用意されて身の周りにあふれている。市場化されたあそびに取り囲まれるなかで、私たちは与えられ続けることの閉塞感から抜け出し、さまよいながらも困難を解決したり、楽しさを発見する方法を見つけていかなければならないのかもしれない。

本展は4名の作品から「あそび」という主題を軸に考察するとともに、現代美術をより身近に感じてもらうことを目指した。教育普及プログラムに重点を置き、参加作家全員のワークショップを実施した。(63、64頁)参加者が実際に自分の体を動かし、作家と話をしながら表現活動を行うことは、作品のより深い理解につながるだけでなく、自分のアイデアや工夫次第で、日常にあるものが豊かな造形素材に変わることを実感できる。それは、個人が生きる日常についても同様、日々の生活が豊かなあそびへと姿を変え、思考のレッスンを導くものとなった。

出品作家

梅田哲也、小沢剛、河井美咲、クワクボリョウタ

刊行物 カタログ

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット



撮影：細川葉子

関連企画

祖父江慎トーク うまいかないをあそぶ

3月1日(土)14時～

会 場 2階ミュージアムホール

講 師 祖父江慎

料 金 無料

参加者数 96人

キュレーターズ・トーク

3月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日)、30日(日)、4月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、5月4日(日・祝)、11日(日)、18日(日)、25日(日)

各日14時～14時30分

参加者数 186人(13日間合計)

入場者数 **17,844**人

126

拡張するファッション

- 会 期 2014年6月14日(土)～9月23日(火・祝)
- 会 場 1階エントランス、2階展示室A、3階展示室C、他
- 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
- 助 成 芸術文化振興基金、財団法人自治総合センター
- 協 賛 株式会社資生堂
- 協 力 イマジン・アートプランニング、エプソン販売株式会社、
フォトグラファーズ・ラボラトリー、株式会社リフト
- 巡 回 先 2014年2月22日(土)～5月18日(日)水戸芸術館現代美術ギャラリー
- 企画原案 林央子
- 企 画 高橋瑞木(水戸芸術館現代美術センター主任学芸員)



ファッションを軸に現代的なもののづくりを行っているアーティストとその活動を紹介した林央子の著書『拡張するファッション』(スペースシャワーネットワーク2011)を基に水戸芸術館と共同で企画した展覧会。ファッションを、流行や消費の対象としてではなく、人々が美的感覚を養い生き方や考え方を他者にコミュニケーションするための手段として、また、最も身近な自己表現の場として、捉え直す機会の創出を意図した。

本展では、同書で紹介されたアーティストと、出版後に活躍が見られるようになった若手アーティスト、全部で11組の作品と、3組の個人出版活動を紹介した。デザイナーの作品として服を見せるといった従来のファッション展とは異なり、服を着たマネキンを一体も置かず、それぞれが毎日の生活のなかで「服を着る」という行為そのものを考える、ファッションの概念を問う展覧会とした。表現媒体も、衣服はもちろんのこと、雑誌、写真、絵画、映像、パフォーマンス、ワークショップと多岐に及び、出品作家のうち10組は実際に丸亀を訪れ、自身で展示設営を行い、当館の建築空間にあわせたインスタレーションを完成させた。



出品作家

青木陵子、神田恵介×浅田政志、COSMIC WONDER、スーザン・チャンチオロ、長島有里枝、パスカル・ガテン、FORM ON WORDS、BLESS/小金沢健人、ホンマタカシ、ミランダ・ジュライ、横尾香央留

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット

入場者数 **13,662人**

関連企画

作品参加プログラム「不要な古着を募集」

5月3日(土・祝)、4日(日・祝)11時～16時

概要 出品作家のFORM ON WORDSが出品作《ファッションの図書館[丸亀]》の素材として使用する古着を募集した。

受付場所 1階ゲートプラザ

対象 丸亀市近郊にお住まいの方および通学通勤の方

参加者数 148人

実際に展示した服の数 405着

作品展示のためのボランティア・プログラム

6月11日(水)13時～18時、12日(木)9時30分～18時

会場 3階渡り廊下

概要 展覧会づくりへの主体的な参画を企図し、FORM ON WORDSの出品作《ファッションの図書館[丸亀]》の古着を使ったインスタレーションの設営を体験していただいた。

参加者数 のべ5人

ホンマタカシ サテライトマルガメ vol.2

6月14日(土)～9月23日(火・祝)

会場 café la taupe(カフェ・ラ・トープ)

展示作品 ホンマタカシ×大原大次郎《稜線》2014年、他2点

会場 カフェレスト MIMOCA

展示作品 ホンマタカシ《三越包装紙》2014年

神田恵介×浅田政志 オープニング・トーク

6月14日(土)14時～

会場 2階ミュージアムホール

講師 神田恵介(出品作家)、浅田政志(出品作家)、林央子(本展企画原案者)

料金 無料

参加者数 83人

オープニング・パーティ

6月14日(土)16時～17時30分

会場 3階カフェレスト MIMOCA

料金 500円

参加者数 108人

林央子氏によるギャラリー・トーク

6月15日(日)14時～

会場 1階エントランス、2階展示室A、3階展示室C

講師 林央子(本展企画原案者)

料金 無料(ただし観覧券が必要)

参加者数 25人

対談:林央子×ホンマタカシ

9月21日(日)16時～

会場 3階展示室C

講師 林央子(本展企画原案者)、ホンマタカシ(出品作家)

料金 無料(ただし観覧券が必要)

参加者数 125人

キュレーターズ・トーク

6月22日(日)、29日(日)、7月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、8月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)、9月7日(日)、14日(日)、21日(日)

各日14時～15時

参加者数 237人(14日間合計)

127

猪熊弦一郎展 形がいっぱい

- 会 期 2014年10月4日(土)～2015年1月18日(日)
[前期10月4日(土)～11月17日(月) / 後期11月18日(火)～2015年1月18日(日)]
[年末休館:12月25日～31日]
- 会 場 1階エントランス、3階展示室C
- 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

猪熊の作品における特徴の一つである「形」に注目し、意識して形をつくり出すことが顕著になった1970年代半ば以降の東京／ハワイを制作拠点として描いた作品を取り上げた。

70歳を超え、1年の約2／3を東京で、冬の間の約1／3をハワイで制作するようになると、○や□に始まり、それらをデコボコさせてできた形や複雑で何とも言い表しがたい形、さらには猪熊が面白い形であると考えた顔や動物までもを作品にたくさん描くようになった。これらは自身の頭の中にひそむ形を取り出して何にもとらわれることなく自由に描いたものであるが、絵として、はっとする美しさをもつものになるよう、一つひとつの形は吟味され、色や配置、互いのバランスが厳しく判断されている。本展では、猪熊の物を見る鋭い目と優れた造形感覚による形の饗宴を観覧者に楽しんでもらうとともに、いつ、どのような形が生まれ、それらがいかに組み合わせられたかを探ることで、楽しさに満ちた猪熊作品の魅力の根源に迫った。

なお本展では会期を前後期に分け、出品作品のうち紙作品を中心に約1／3の作品を展示替えした。

刊行物 カタログ

制作物 子ども向けリーフレット

関連企画

キュレーターズ・トーク

10月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、11月2日(日)、9日(日)、16日(日)、23日(日・祝)、30日(日)、12月7日(日)、14日(日)、21日(日)、2015年1月4日(日)、11日(日)、18日(日)
各日14時～
参加者数 135人(15日間合計)

観覧料割引

概 要 前期、後期ともにご覧いただけるよう、半券提示で2回目以降の観覧料を500円にした。
利用者数 34人

入場者数 **9,364人**



128 鈴木理策写真展 意識の流れ

- 会 期 2015年2月1日(日)～5月31日(日)
- 会 場 1階エントランス、3階展示室C
- 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
- 協 賛 株式会社熊野新聞社
- 協 力 株式会社カシマ、株式会社KANRI、ギャラリー小柳、ゼロプラス、株式会社ニコン、フォト・ギャラリー・インターナショナル、フォトグラファーズ・ラボラトリー



写真を媒体に創作活動を続ける鈴木理策（1963-）の、国内の美術館においては7年半ぶりとなる個展を開催した。

鈴木は、1980年代半ばより写真を媒体に創作活動をはじめ、2000年に第25回木村伊兵衛写真賞を受賞、写真というメディアの特性を深く掘り下げ、多様なモチーフにそれぞれ異なるアプローチで取組みながら、新たな作品を発表し続けている。

本展では、ライフワークとも言える故郷の熊野を撮った〈海と山のあいだ〉をはじめ、継続して撮りつづけているシリーズ〈SAKURA〉〈White〉〈Étude〉、初公開となる新シリーズ〈水鏡〉を出品、新作と未発表作を中心に、写真作品約80点と映像作品3点を展示した。タイトルの「意識の流れ」は「見るという行為に身をゆだねると、取り留めのない記憶や、さまざまな意識が浮かんで来て、やがてひとつのうねりの様な感情をもたらすことがある」という鈴木自身の経験に基づいてつけられた。「見る」ことそのものをテーマにした本展では、あえて鈴木が何を写したのか先に言葉で告げず、純粹に見ることへと鑑賞者を誘った。

本展が評価され、鈴木は第15回さがみはら写真賞を受賞した。



制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット

入場者数 **9,605**人

関連企画

— オープニング・トーク 鈴木理策×加瀬亮 —

2月1日(日)14時～

会 場 2階ミュージアムホール

講 師 鈴木理策、加瀬亮(俳優)

料 金 無料

参加者数 176人

— クロージング・イベント クロージング・パーティ —

5月31日(日)16時～17時30分

会 場 3階カフェレスト MIMOCA

料 金 500円

参加者数 65人

— 濱口祐自ライブ —

3月28日(土)19時～21時

会 場 3階展示室C

料 金 一般 3,000円、ミモカフレンド

会員 2,500円、高校生以下

1,000円

参加者数 92人

— キュレーターズ・トーク —

2月8日(日)、15日(日)、22日(日)、3月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)、4月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)、5月3日(日・祝)、10日(日)、17日(日)、24日(日)各日14時～15時

参加者数 206人(16日間合計)

— クロージング・イベント アーティスト・トーク —

5月31日(日)15時～16時

会 場 3階展示室C

講 師 鈴木理策

料 金 無料

参加者数 175人

II

展覧会事業

iii 常設展 「猪熊弦一郎展」

異質なものの同士のバランス 2011年5月29日(日)～8月21日(日)

丸・三角・四角などの幾何学的な図形と不規則な形、これら性質の異なる2つの要素が、作品の中で対立することなく、影響しあって作り出される、猪熊作品の多様なバランスの魅力を、主に1980年代の作品を通して紹介した。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1924	油彩・カンヴァス	41.1 × 41.5
2	宇宙は機械の運動場 No.2	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 250.0
3	黒の中に住む褐色の世界	1981	アクリル・カンヴァス	111.5 × 96.0
4	ユーラシヤの愛人蓬	1981	アクリル・カンヴァス	111.5 × 96.0
5	宇宙に帰る人	1983	アクリル・カンヴァス	111.3 × 96.0
6	創生期の花達	1983	アクリル・カンヴァス	91.2 × 126.0
7	もう一つの地球	1983	アクリル・カンヴァス	126.0 × 91.0
8	角の星座 No.1	1984	アクリル・カンヴァス	136.5 × 122.5
9	窓	1984	アクリル・カンヴァス	194.0 × 130.3
10	五月	1985	アクリル・カンヴァス	122.0 × 152.0
11	窓と星座	1985	アクリル・カンヴァス	194.0 × 258.8
12	家を作る	1987	アクリル・カンヴァス	122.0 × 101.8
13	金環食	1987	アクリル・カンヴァス	152.0 × 120.9

入場者数 **14,467**人

色面による分割 2011年8月28日(日)～11月6日(日)

1930年代後半から1955年の渡米前までに猪熊が描いた作品について、画面全体が複数の色面によって分割されるように描かれている点に着目して紹介した。人や動物など身近なものがモチーフとなっているが、写実的ではなく、デフォルメ(変形)されるなど、四角や丸などのシンプルな形が組み合わせられて描かれた。その形はそれぞれ暗い色や明るい色で塗り分けられ、背景もまた色面を組み合わせられて描かれた。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	60.5 × 50.2
2	魚と女	1939	油彩・カンヴァス	91.5 × 53.4
3	Portrait de Mr.Kurachi	1939	油彩・カンヴァス	41.0 × 33.1
4	題名不明	1940頃	油彩・カンヴァス	80.7 × 60.0
5	バレリーナの夢想	1950	油彩・カンヴァス	131.0 × 162.0
6	座せる二人	1951	油彩・カンヴァス	91.8 × 65.1
7	猫と子供	1951	油彩・カンヴァス	92.0 × 65.5
8	頭上猫	1952	油彩・カンヴァス	45.5 × 37.8
9	猫と住む人	1952	油彩・カンヴァス	130.8 × 193.5
10	猫に寄せる歌	1952	油彩・カンヴァス	181.5 × 259.0
11	からす	1953	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0
12	鳥と遊ぶ子供達	1954	油彩・カンヴァス	193.5 × 130.0
13	馬と道化	1955	油彩・カンヴァス	117.0 × 91.0
14	子供と猫	1955	油彩・カンヴァス	45.3 × 38.0

入場者数 **11,378** 人

初期から晩年まで 2012年2月4日(土)～3月4日(日)

東京、パリ、ニューヨーク、ハワイと生活場所を変えながら、作品のスタイルも多様な変化を遂げた猪熊の初期から晩年までの作品を紹介した。また、猪熊の画業の集大成ともいべき作品であり、当館の開館に合わせて制作された、縦3.9メートル、横2.6メートルの大作〈手の残した言葉〉(1991)も展示した。

作品リスト

No	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	53.5 × 45.5
2	少年	1922	油彩・カンヴァス	116.6 × 91.0
3	婦人像	1926	油彩・カンヴァス	116.8 × 91.0
4	座像	1933	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.5
5	サクランボ	1939	油彩・カンヴァス	80.4 × 65.4
6	マドモアゼルM	1940	油彩・カンヴァス	81.2 × 65.4
7	箱の中の小猫	1949	油彩・カンヴァス	80.4 × 65.0
8	頭上猫	1952	油彩・カンヴァス	45.5 × 37.8
9	からす	1953	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0
10	子供と猫	1955	油彩・カンヴァス	45.3 × 38.0
11	獅子舞	1961	油彩・カンヴァス	203.0 × 183.0
12	Snake Line	1964	油彩・カンヴァス	126.7 × 203.5
13	Landscape GT	1972	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.5
14	角と丸 BX	1977	アクリル・カンヴァス	190.0 × 175.0
15	花嫁のスケジュール	1979	アクリル・カンヴァス	180.0 × 105.2
16	宇宙は機械の運動場 No.1	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 140.0
17	宇宙は機械の運動場 No.2	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 250.0
18	顔 31	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
19	顔 80	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
20	Faces 80	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
21	二人の裸婦と一つの顔	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
22	横臥裸子と鳥達	1991	アクリル・カンヴァス	96.0 × 127.0
23	顔、犬、鳥、	1991	アクリル・カンヴァス	194.0 × 259.0
24	手の残した言葉	1991	アクリル・カンヴァス	389.0 × 259.0
25	顔達の祭日	1992	アクリル・カンヴァス	194.0 × 259.0

入場者数 **3,459** 人

ニューヨーク時代の作風の変遷 2012年3月18日(日)～7月1日(日)

1955年に渡米してニューヨークに拠点を移した猪熊の、20年に及んだニューヨーク滞在時代の作風の変遷を紹介した。それまで描いていた具象画から一変して渡米後の猪熊は抽象画を描くようになり、抽象的な概念をあらわしたり、ニューヨークの街をモチーフにするなど、多様な作風を生み出した。

作品リスト

No	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	53.5 × 45.5
2	Garden	1956	油彩・カンヴァス	175.3 × 106.7
3	Kabuki No.1	1956	油彩・カンヴァス	122.0 × 170.0
4	Composition No.2	1957	油彩・カンヴァス	133.5 × 136.0
5	極地設定(1)	1958	油彩・カンヴァス	176.5 × 205.3
6	Diving	1958	油彩・カンヴァス	202.1 × 127.1
7	白い孔	1960	油彩・カンヴァス	173.8 × 201.0
8	音のあそび	1961	油彩・カンヴァス	152.5 × 152.5
9	古い金へのあこがれ	1961	油彩・カンヴァス	216.1 × 168.0
10	Agaru	1961	油彩・カンヴァス	157.8 × 91.5
11	Circulation of Space	1961	油彩・カンヴァス	152.0 × 101.0
12	月へのいざない	1962	油彩・カンヴァス	152.7 × 109.3
13	Square	1962	油彩・カンヴァス	127.0 × 101.8
14	Teen Agers	1962	油彩・カンヴァス	157.9 × 91.6
15	都市計画	1962 - 63	油彩・カンヴァス	203.5 × 177.6
16	Confusion and Order "A"	1964	油彩・カンヴァス	203.1 × 177.8
17	Manhattan "B"	1967	アクリル・カンヴァス	203.7 × 152.6
18	The City (Green No.2)	1968	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
19	The City Green No.3	1968	アクリル・カンヴァス	202.8 × 152.4
20	The City (Green No.4)	1968	アクリル・カンヴァス	203.0 × 152.5
21	The City Blue No.2	1968	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.5
22	The City Planning Yellow (No.2)	1968	アクリル・カンヴァス	203.4 × 152.7
23	Two Shores (Yellow)	1970	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
24	Water Shores A	1970	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
25	Water Shores B	1970	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
26	Landscape BY	1972	アクリル・カンヴァス	203.5 × 178.8
27	Landscape EV	1972	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0

入場者数 **12,271** 人

カンヴァスに飛ぶ 2012年7月15日(日)～9月23日(日)

猪熊は1975年から東京とハワイにアトリエを移した。冬はハワイで制作する中、暖かな気候と明るい太陽光が猪熊の絵画により鮮やかな色彩をもたらした。この頃宇宙に関心を寄せていた猪熊が生み出した、画面の中に構成されたさまざまな形や色が、まるでカンヴァスを自由に飛びまわっているかのような浮遊感のある作品を紹介した。

作品リスト

No	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	飛び行く力	1978	アクリル・カンヴァス	136.3 × 122.0
2	空の遊園地	1981	アクリル・カンヴァス	122.0 × 101.2
3	出発	1983	アクリル・カンヴァス	136.0 × 121.5
4	地球の外に行きたい	1983	アクリル・カンヴァス	111.3 × 96.0
5	ハイウェイ バトロール	1983	アクリル・カンヴァス	151.0 × 121.5
6	星に生きているスペース	1983	アクリル・カンヴァス	136.0 × 121.5
7	No.1 星からの手紙(ラブ)	1983	アクリル・カンヴァス	200.0 × 250.2
8	窓	1984	アクリル・カンヴァス	194.0 × 130.3
9	遊泳する窓	1984	アクリル・カンヴァス	194.0 × 290.6
10	窓と星座	1985	アクリル・カンヴァス	194.0 × 258.8
11	宇宙都市計画	1987	アクリル・カンヴァス	135.8 × 121.0
12	太陽は待って居る	1987	アクリル・カンヴァス	194.0 × 130.3

入場者数 **16,830** 人

人を描く 2012年10月7日(日)～2013年1月6日(日)

猪熊の人物描写は、生涯を通して変化し続けた。東京美術学校の頃に描いていたアカデミックな具象表現や、パリで描かれた多くの人物像からは、さまざまな表現方法を試し変貌を続けた画家の姿が浮き彫りになっている。これらの人物表現とともに、渡仏前の代表作である《昼》《夜》《黄昏》からなる三部作もあわせて紹介した。

作品リスト

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1924	油彩・カンヴァス	38.3 × 38.0
2	裸婦	1925	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5
3	座像	1933	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.5
4	ピアノの前	1934	油彩・カンヴァス	180.0 × 290.0
5	馬と少女	1935	油彩・カンヴァス	112.0 × 144.5
6	支那服の女	1936	油彩・カンヴァス	145.0 × 112.0
7	三人	1936	油彩・カンヴァス	194.0 × 130.0
8	黄昏	1937	油彩・カンヴァス	193.5 × 130.5
9	昼	1937	油彩・カンヴァス	191.5 × 129.0
10	夜	1937	油彩・カンヴァス	197.5 × 289.5
11	赤い服の少女	1938	油彩・カンヴァス	45.5 × 38.0
12	アンブレラの女	1938	油彩・カンヴァス	54.6 × 45.5
13	顔	1938	油彩・カンヴァス	41.0 × 33.0
14	三人娘と自転車	1938	油彩・カンヴァス	73.0 × 60.0
15	にんにく売る子供	1938	油彩・カンヴァス	91.5 × 53.4
16	フランス田舎	1938	油彩・カンヴァス	80.2 × 65.0
17	モロッコタピスリー売る男	1938	油彩・カンヴァス	91.0 × 71.4
18	題名不明	1938	油彩・板	33.2 × 24.0
19	ジプシーの子供	1939	油彩・カンヴァス	80.5 × 60.0
20	白いリボン	1939	油彩・カンヴァス	40.9 × 32.0
21	ネクタイのある少女	1939	油彩・カンヴァス	45.5 × 38.0
22	パイプと男	1939	油彩・カンヴァス	60.6 × 50.0
23	葉をくはへた少女	1939	油彩・カンヴァス	52.7 × 44.7
24	Portrait de Mr.Kurachi	1939	油彩・カンヴァス	41.0 × 33.1
25	レゼジーの少年	1939	油彩・カンヴァス	27.4 × 22.1
26	題名不明	1939頃	油彩・カンヴァス	91.0 × 60.6
27	題名不明	1939頃	油彩・厚紙	64.9 × 53.8
28	ヴァイオリンと女	1940	油彩・カンヴァス	80.6 × 60.4
29	娘と葉	1940	油彩・カンヴァス	80.5 × 54.0
30	浴女	1940	油彩・カンヴァス	80.5 × 64.5
31	題名不明	1940頃	油彩・カンヴァス	80.7 × 60.0

入場者数 **12,034** 人

絵と生きる－画業70年の軌跡 2013年1月13日(日)～4月4日(木)

高松市に生まれ、幼少期を香川県で過ごし、パリ、ニューヨーク、ハワイとさまざまな場所で絵を描きながら、一つの表現様式に留まることなく、果敢に挑戦を続けた猪熊の70年以上の画業の全容を紹介した。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	雪の道	1923頃	油彩・カンヴァス	45.5 × 45.6
2	自画像	1925	油彩・カンヴァス	37.8 × 37.8
3	眠れる女	1927	油彩・カンヴァス	116.8 × 90.9
4	妻と手袋	1939	油彩・カンヴァス	80.8 × 60.0
5	長江埠の子供達	1941	油彩・カンヴァス	130.5 × 194.0
6	青い服	1949	油彩・カンヴァス	79.0 × 64.5
7	題名不明	1954	油彩・カンヴァス	72.4 × 90.5
8	馬と道化	1955	油彩・カンヴァス	117.0 × 91.0
9	星座	1958	油彩・カンヴァス	200.5 × 180.0
10	Blue Streets	1966	アクリル・カンヴァス	171.9 × 98.9
11	驚く可き風景 (A)	1969	アクリル・カンヴァス	112.0 × 193.4
12	風景	1972	アクリル・カンヴァス	178.0 × 202.5
13	角と丸CW	1977	アクリル・カンヴァス	190.3 × 175.3
14	地図でない地図	1978	アクリル・カンヴァス	194.0 × 182.0
15	夜を飛ぶ	1980	アクリル・カンヴァス	137.0 × 122.3
16	黒の中に住む褐色の世界	1981	アクリル・カンヴァス	111.5 × 96.0
17	ユーラシヤの愛人達	1981	アクリル・カンヴァス	111.5 × 96.0
18	金環食	1987	アクリル・カンヴァス	152.0 × 120.9
19	太陽と原始鳥	1988	アクリル・カンヴァス	194.0 × 259.0
20	顔 20	1989	アクリル・カンヴァス	127.0 × 96.3
21	顔 71	1989	アクリル・カンヴァス	135.9 × 121.4
22	不思議なる会合	1990	アクリル・カンヴァス	121.5 × 101.0
23	夜と顔	1990	アクリル・カンヴァス	121.3 × 101.0
24	緑の中の美しき顔	1992	アクリル・カンヴァス	110.0 × 96.0
25	夜明けの鳥達	1993	アクリル・カンヴァス	126.2 × 90.9

入場者数 **6,155人**

東京から巴里へ 2013年4月13日(土)～6月30日(日)

猪熊は、絵筆やペインティングナイフの他に、キッチンペーパーやマスキングテープ、ドライバー、あるいは自分の手のひらまで、身近にあるものを利用し、多様な表現に挑戦し続けた。また、絵具を使っても、厚塗りにするか薄塗りにするか、均一に塗るかタッチを残すか、あるいは混ぜ物をして質感を変えるなど、さまざまな試みを行っている。猪熊の70年余りに及ぶ画業を、技法や描き方の工夫に注目して紹介した。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1924	油彩・カンヴァス	41.1 × 41.5
2	天主堂(長崎)	1931	油彩・カンヴァス	53.0 × 45.5
3	画室	1932	油彩・カンヴァス	181.8 × 257.2
4	座像	1933	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.5
5	小豆島オリーブ園	1934	油彩・カンヴァス	50.3 × 61.0
6	籬椅子の女	1935	油彩・カンヴァス	145.6 × 112.5
7	裸婦立像(No.1)	1935	油彩・カンヴァス	145.5 × 112.0
8	海と裸婦	1935頃	油彩・カンヴァス	45.3 × 37.8
9	コスチューム立像	1936	油彩・カンヴァス	72.5 × 52.7
10	アンブレラの女	1938	油彩・カンヴァス	54.6 × 45.5
11	三人娘と自転車	1938	油彩・カンヴァス	73.0 × 60.0
12	題名不明	1938	油彩・カンヴァス	73.0 × 60.0
13	巴里のおばあさん	1938	油彩・カンヴァス	72.0 × 60.0
14	緑の顔	1938	油彩・カンヴァス	40.1 × 31.6
15	顔	1939	油彩・カンヴァス	26.6 × 22.2
16	セロを弾く男	1939	油彩・カンヴァス	60.8 × 45.7
17	ハンガリーの少女	1939	油彩・カンヴァス	46.3 × 26.6
18	題名不明	1939頃	油彩・カンヴァス	45.1 × 37.6
19	ヴィナス誕生(A)	1940	油彩・カンヴァス	79.5 × 64.5
20	ヴィナス誕生(B)	1940	油彩・カンヴァス	80.5 × 64.0
21	子供達	1940	油彩・カンヴァス	54.8 × 46.0

入場者数 **9,558**人

創意工夫の手あと 2013年7月13日(土)～11月4日(月・祝)

猪熊は、絵筆やペインティングナイフの他に、キッチンペーパーやマスキングテープ、ドライバー、あるいは自分の手のひらまで、身近にあるものを利用し、多様な表現に挑戦し続けた。また、絵具を使っても、厚塗りにするか薄塗りにするか、均一に塗るかタッチを残すか、あるいは混ぜ物をして質感を変えるなど、さまざまな試みを行っている。猪熊の70年余りに及ぶ画業を、技法や描き方の工夫に注目して紹介した。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	53.5 × 45.5
2	婦人像	1926	油彩・カンヴァス	116.8 × 91.0
3	浴女	1940	油彩・カンヴァス	80.5 × 64.5
4	題名不明	1950	コラージュ・紙	35.8 × 27.6
5	題名不明	1955	ガラス・厚紙	33.3 × 27.0
6	Agaru	1961	油彩・カンヴァス	157.8 × 91.5
7	Teen Agers	1962	油彩・カンヴァス	157.9 × 91.6
8	二つの手	1962	アクリル・紙	101.0 × 75.5
9	Landscape ZA	1968	アクリル・板	16.8 × 17.8
10	題名不明	1968	コラージュ・紙	76.0 × 56.0
11	Two Shores (Yellow)	1970	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
12	題名不明	1970	紙・厚紙	22.4 × 17.2
13	Landscape WD	1971	アクリル・板	17.8 × 12.7
14	二つの違ったスペース	1976	アクリル・紙	66.0 × 48.7
15	ピンク・丸・角	1977	アクリル・カンヴァス	110.3 × 95.0
16	手の中の小さな丸	1977	アクリル・紙	21.6 × 14.6
17	Landscape AF	1977	アクリル・紙	34.8 × 27.2
18	楽しい風	1978	アクリル・ダンボール	39.8 × 47.2
19	花嫁のスケジュール	1979	アクリル・カンヴァス	180.0 × 105.2
20	角と丸の握手	1979	アクリル・紙	74.5 × 54.6
21	呼吸の中の大都市	1979	アクリル・紙	44.5 × 29.5
22	手の中の青い丸	1979	アクリル・紙	25.0 × 20.0
23	題名不明	1979	アクリル・紙	24.8 × 20.0
24	美しき雑音	1980	アクリル・紙	45.2 × 37.5
25	あっと言ふ間に出来た砂漠市	1981	アクリル・発泡スチロール	80.9 × 29.0
26	Hands12	1982	アクリル・紙	74.4 × 55.5
27	隈取りを重ねた思わぬ形体	1983	アクリル・カンヴァス	116.5 × 91.0
28	緑色のコラージュ	1983	アクリル・紙	44.1 × 36.5
29	地区合唱	1984	アクリル・紙	74.0 × 55.0
30	手と星座	1984	アクリル・紙	59.4 × 44.4
31	色体の原点	1985	アクリル・カンヴァス	112.2 × 96.0
32	明るい集落	1986	アクリル・カンヴァス	136.0 × 122.0
33	ギフトショップと爬虫類	1987	アクリル・紙	41.0 × 30.5
34	顔 20 C	1989	アクリル・カンヴァス	152.0 × 121.4
35	顔達の祭日	1992	アクリル・カンヴァス	194.0 × 259.0
36	青の顔	1992	アクリル・ダンボール	62.3 × 47.2
37	顔 ブルーの中	1992	アクリル・発泡スチロール	50.0 × 38.0
38	題名不明	1992	アクリル・発泡スチロール	89.8 × 79.9
39	ダボとカガシ	1993	アクリル・カンヴァス	120.8 × 101.4

入場者数 25,814人

うつくしい からだ 2013年11月16日(土)～2014年2月16日(日)

人間が立つことによって、他の動物にはない巧みなバランスをもった肉体が生み出された、と猪熊は考えた。造型としての人間の身体を傑作と称し、とりわけ「この世の中で裸婦ほど完全な造型体は無いと思います」と述べた猪熊は生涯にわたって裸婦像を描いた。身体の造型としての美を見つめた画家の眼差しが表われた作品を紹介した。

作品リスト

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	裸婦	1925	油彩・カンヴァス	100.0 × 80.5
2	コンポジション	1930	油彩・カンヴァス	181.7 × 257.0
3	画室	1932	油彩・カンヴァス	181.8 × 257.2
4	二人	1936	油彩・カンヴァス	194.0 × 130.0
5	行く	1940	油彩・カンヴァス	72.0 × 59.0
6	ヴィナス誕生 (A)	1940	油彩・カンヴァス	79.5 × 64.5
7	立てる群像	1951	油彩・カンヴァス	131.5 × 162.4
8	青い裸婦	1990	アクリル・カンヴァス	130.5 × 97.2
9	ヴィナス二人	1990	アクリル・カンヴァス	130.4 × 97.0
10	横臥裸子と鳥達	1991	アクリル・カンヴァス	96.0 × 127.0
11	裸子と鳥	1993	アクリル・カンヴァス	137.0 × 121.9

入場者数 **11,179** 人

整然たる都市ーにぎやかな自然 2014年3月1日(土)～6月1日(日)

猪熊がニューヨークとハワイでそれぞれ描いた作品を展観した。ニューヨークでは、モノトーンを基調とし、直線や幾何学的な形態を用いて都市の風景を抽象的に描き、ハワイでは、自然の中に生きるさまざまな生命の動きを感じさせる、背景と溶け合うような有機的な形、あるいはカンヴァスの中を自由に飛び回る個々の形を描いた。

作品リスト

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	60.5 × 50.2
2	City Planning Yellow No.1	1968	アクリル・カンヴァス	152.0 × 153.0
3	The City Blue No.2	1968	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.5
4	The City (Green No.2)	1968	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
5	Two Shores B	1970	アクリル・カンヴァス	203.7 × 178.0
6	Water Shores B	1970	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.0
7	Water Shores A	1970	アクリル・カンヴァス	203.3 × 178.0
8	Landscape BY	1972	アクリル・カンヴァス	203.5 × 178.8
9	Landscape GT	1972	アクリル・カンヴァス	203.0 × 178.5
10	都市の中の親しい仲間	1979	アクリル・カンヴァス	96.5 × 125.4
11	夜を飛ぶ	1980	アクリル・カンヴァス	137.0 × 122.3
12	宇宙は機械の運動場 No.2	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 250.0
13	語りかける人々	1982	アクリル・カンヴァス	91.0 × 72.7
14	空中発芽	1983	アクリル・カンヴァス	126.2 × 96.0
15	創生期の花達	1983	アクリル・カンヴァス	91.0 × 126.0
16	角の星座 No.1	1984	アクリル・カンヴァス	136.5 × 122.5
17	脚と手と	1984	アクリル・紙	55.0 × 74.5
18	動物の住む星座	1984	アクリル・紙	108.8 × 78.8
19	創成期の生物達	1985	アクリル・カンヴァス	101.0 × 121.0
20	銀河の門 No.2	1986	アクリル・カンヴァス	136.0 × 122.0
21	鳥のアソシエーション	1986	アクリル・紙	58.5 × 44.5
22	花の集合	1986	アクリル・紙	44.5 × 58.5

入場者数 **19,025** 人

のびのびと描く 2014年6月14日(土)～9月23日(火・祝)

大胆に、無鉄砲に描くこと、その偶発性から発見される美を大切に考えた猪熊は、晩年になってからも、大きなカンヴァスに向かって自身をぶつけるように絵を描き続けた。「大きなものを描くほうが小さなものを描くより、より楽しく、立って描いていると、身体も壮快である」という言葉を残した猪熊の、広い空間に調和するのびのびとした作品を紹介した。

作品リスト

No	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	宇宙は機械の運動場 No.1	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 140.0
2	無重力地帯(X)	1983	アクリル・カンヴァス	152.0 × 182.0
3	遊泳する窓	1984	アクリル・カンヴァス	194.0 × 290.6
4	窓と星座	1985	アクリル・カンヴァス	194.0 × 258.8
5	二つの裸婦と一つの顔	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
6	忍者とプロペラ	1991	アクリル・カンヴァス	194.0 × 162.0
7	鳥とカイト	1992	アクリル・カンヴァス	162.2 × 130.3
8	飛ぶ日のよろこび	1993	アクリル・カンヴァス	137.3 × 122.1

入場者数 **15,025**人

純粋な芸術を求めて 2014年10月4日(土)～2015年1月25日(日)

猪熊は30歳代という情熱溢れる時期に、政治や権力に左右されず、自身の信じる芸術を追求したいという本心に気づき、同じ志を抱く仲間とともに新制作派協会（現 新制作協会）を結成し、純粋かつ自由に描き発表できる場を得た。繊細な直感力、真の芸術を求める態度をもって描かれた、パリ遊学以前の具象絵画を中心に紹介した。

作品リスト

No.	作 品 名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	常子像	1923	油彩・カンヴァス	45.5 × 45.5
2	自画像	1924	油彩・カンヴァス	38.3 × 38.0
3	母の像	1924	油彩・カンヴァス	72.8 × 60.8
4	題名不明	1925	油彩・カンヴァス	37.9 × 45.5
5	習作（美術学校時代）	1925頃	油彩・カンヴァス	53.0 × 45.0
6	題名不明	1925頃	油彩・板	23.6 × 33.0
7	婦人像	1926	油彩・カンヴァス	116.8 × 91.0
8	裸婦習作	1926	油彩・カンヴァス	72.6 × 60.3
9	題名不明	1926	油彩・カンヴァス	81.0 × 53.2
10	題名不明	1926	油彩・カンヴァス	80.5 × 65.6
11	題名不明	1926頃	油彩・カンヴァス	91.0 × 60.9
12	題名不明	1926頃	油彩・カンヴァス	72.8 × 53.0
13	題名不明	1926頃	油彩・カンヴァス	72.7 × 53.0
14	コンポジション	1930	油彩・カンヴァス	181.7 × 257.0
15	二人	1931	油彩・カンヴァス	160.1 × 129.2
16	画室	1932	油彩・カンヴァス	181.8 × 257.2
17	馬と少女	1935	油彩・カンヴァス	112.0 × 144.5
18	海と女	1935	油彩・カンヴァス	180.1 × 288.7
19	支那服の女	1936	油彩・カンヴァス	145.0 × 112.0
20	二人	1936	油彩・カンヴァス	194.0 × 130.0
21	黄昏	1937	油彩・カンヴァス	193.5 × 130.5
22	昼	1937	油彩・カンヴァス	191.5 × 129.0
23	夜	1937	油彩・カンヴァス	197.5 × 289.5
24	駒場時代（林）	年代不明	油彩・カンヴァス	49.9 × 60.5

入場者数 **10,050** 人

未知へ向かう喜び 2015年2月1日(日)～5月31日(日)

猪熊は香川県で生まれ少年時代を過ごし、その後、東京、パリ、ニューヨーク、晩年は東京とハワイを行き来して作品を制作した。本展では、猪熊の70年余りに及ぶ画業における大きな特徴のひとつである、一定の型にとどまらず作品がどんどん変化し続けたという点に注目し、初期から晩年までの作品を展示した。

作品リスト

No.	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)
1	自画像	1921	油彩・カンヴァス	53.5 × 45.5
2	眠れる女	1927	油彩・カンヴァス	116.8 × 90.9
3	バレットを持つ女	1931	油彩・カンヴァス	90.8 × 65.3
4	雪の四谷見付	1933	油彩・カンヴァス	50.0 × 72.7
5	コスチューム立像	1936	油彩・カンヴァス	72.5 × 52.7
6	顔	1938	油彩・カンヴァス	41.0 × 33.0
7	緑の顔	1938	油彩・カンヴァス	40.1 × 31.6
8	題名不明	1938頃	油彩・カンヴァス	64.5 × 80.0
9	サクラランボ	1939	油彩・カンヴァス	80.4 × 65.4
10	題名不明	1939頃	油彩・カンヴァス	45.1 × 37.6
11	マドモアゼルM	1940	油彩・カンヴァス	81.2 × 65.4
12	題名不明	1940頃	油彩・カンヴァス	80.7 × 60.0
13	立てる群像	1951	油彩・カンヴァス	131.5 × 162.4
14	からす	1953	油彩・カンヴァス	130.0 × 194.0
15	Haniwa 1	1956	油彩・カンヴァス	106.4 × 175.5
16	極光	1959	油彩・カンヴァス	176.5 × 176.7
17	引力の外	1962	油彩・カンヴァス	152.5 × 127.0
18	Confusion and Order "A"	1964	油彩・カンヴァス	203.1 × 177.8
19	Water Shores A	1970	アクリル・カンヴァス	203.3 × 178.0
20	Landscape E	1975	アクリル・カンヴァス	194.0 × 130.3
21	角と丸 BX	1977	アクリル・カンヴァス	190.0 × 175.0
22	宇宙は機械の運動場 No.1	1981	アクリル・カンヴァス	200.0 × 140.0
23	無重力地帯の中に住む生物	1983	アクリル・カンヴァス	234.5 × 122.0
24	Faces 80	1989	アクリル・カンヴァス	194.0 × 194.0
25	鳥とヴィナス	1990	アクリル・カンヴァス	194.0 × 130.3
26	カガシの夢	1993	アクリル・カンヴァス	121.0 × 101.5

入場者数 **11,828** 人

Ⅲ

教育普及事業

i ワークショップ

子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし、育むことを目的として、主に小・中学生を対象にワークショップを開催した。館外（丸亀市内）で行ったワークショップも記載した。ワークショップによってはボランティアの方々に運営のご協力をお願いしている。

※2011年度までは、事前申込不要のワークショップにはタイトルの前に「オープンワークショップ」「夏休みオープンワークショップ」とつけていたが、2012年からは外した。

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
オープンスタジオ「○△□と粘土で遊ぼう!」	2011年4月2日(土)・3日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	35人 50人	11人 2人	無料	壁に貼られた紙の上に○や△や□の紙を組み合わせて貼り付けたり、クレヨンなどで自由に絵を描く。また、土粘土を使って立体造形をする。
オープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」	2011年4月4日(月)・5日(火) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	90人 22人	5人 2人	無料	壁に貼られた紙の上に水彩絵具で自由に絵を描いたり、土粘土を使って立体造形をする。
【杉本博司 アートの起源 建築】展関連「親子ツアー」	2011年4月9日(土)11時～・16日(土)・5月14日(土)13時30分～ 展示室内	美術館スタッフ	子どもと保護者	89人 (3日間計)	0人	無料 (コーポレーション・デイのため保護者も無料、4月16日のみ要観覧チケット)	スタッフの解説や、親子で質問に答える「相談タイム」等を交えながら、ツアー形式で展示作品を見て回る。
いろいろオテダマ (STOREの物干し市関連ワークショップ)	2011年5月3日(火・祝)～5日(木・祝)12時～15時 1階ゲートプラザ	美術館スタッフ	子どもから大人	93人 (3日間計)	60人 (3日間計)	無料	ファッションブランド「STORE」の商品に使用されているものと同じ生地の中から2色選んで、オリジナルのオテダマをつくる。
オープンスタジオ「○△□と粘土で遊ぼう!」	2011年5月14日(土) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	136人	14人	無料	上記のオープンスタジオ「○△□と粘土で遊ぼう!」と同内容。



【杉本博司 アートの起源 | 建築】展関連「親子ツアー」
(2011年4月9日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
オープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」	2011年6月4日(土)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	94人	7人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【杉本博司 アートの起源 歴史】展関連「親子ツアー」	2011年6月11日(土)・7月9日(土)11時～展示室内	美術館スタッフ	子どもと保護者	39人	0人	無料 (コーポレーション・デイのため保護者も無料)	スタッフの解説や、参加者が美しいと思った作品について発表する時間等を交えながら、ツアー形式で展示作品を見て回る。
				27人	0人		
平成23年度(財)丸亀市体育協会婦人部「夏季体育大会」 ①「ミモカでパズル」 ②「私たち『体協婦人部』学芸員」	2011年6月30日(木)10時～12時 丸亀市民体育館メインアリーナ	美術館スタッフ	丸亀市体育協会婦人部	262人	0人	無料	①各チームで1人ずつ順番にパズルのピースを拾ってきてミモカマークを完成させる。 ②チームごとに、猪熊作品の大型図版を見た人から伝えられたヒントをもとに、回答者がどの作品かを当てる。(財)丸亀市体育協会婦人部との協力事業として実施。
オープンスタジオ「○△□と粘土で遊ぼう!」	2011年7月2日(土)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	100人	0人	無料	54頁のオープンスタジオ「○△□と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【杉本博司 アートの起源 歴史】展関連「時間を撮る」	2011年7月3日(日)10時～11時30分・8月7日(日)13時～15時 全2日間 2階造形スタジオ、美術館内	美術館スタッフ	小学4年生から大人	9人	3人	無料 (材料費・プリント代などは自己負担)	(1日目)スタッフの解説を聞いて作品を鑑賞し、作品の中に存在する「時間」について考える。 (2日目)前回から1カ月の間に各自で「時間」をテーマに撮影、プリントしてきた作品を発表し、展示する。
				9人	2人		
夏休みオープンワークショップ「ふわふわねんどランド」	2011年7月21日(木)～26日(火)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	384人 (6日間計)	224人 (6日間計)	300円	ふわふわの白い粘土に、小枝や小石、光るビーズなど様々なものをつけたり、ビンや空き箱などを組み合わせてオブジェをつくる。
夏休みオープンワークショップ「すてきな手作りランプ」	2011年7月30日(土)～8月3日(水)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	465人 (5日間計)	291人 (5日間計)	300円	ペットボトルや空き容器、針金や竹ひご、和紙やセロファンなどを組み合わせてランプシェードをつくり、タッチライトにかぶせて手作りランプを完成させる。



夏休みオープンワークショップ「すてきな手作りランプ」
(2011年7月30日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講 師	対 象	参加者	見学者	参加費	内 容
【杉本博司 アートの起源 宗教】展関連 MIMOCAでお茶会	2011年9月10 日(土)10時～12 時、13時～15 時 展示室内、ゲ ートプラザ	美術館スタッフ 丸亀万象会(共 催)	子ども(年長 以上)とその 保護者	13人 27人	100人 (一般 参加)	300円(一般 参加者は500 円)、展覧会 観覧は無料 (コーポレー ション・ディ のため一般参 加者も無料)	スタッフの解説を聞いて作品を鑑賞した後、出品作品を模したオリジナル干菓子を使い、お茶会をする。一般参加の方にも干菓子と抹茶をふるまう。
パパとキッズのアートプログラ ム Part 3 世界でたった一つのポート レート with ノッポさん	2011年9月19 日(月・祝)13 時～16時 2階造形スタ ジオ	高見のっほ(俳優・ 作家・歌手)、枝 原 弘(造形作家)、古 家貴代美(俳優・歌 手・手話通訳者)	小学生の子 どもとその父親 (兄弟参加 可)	20組 43人	14人	1組 500円	父親と子どもが描いた互いのポートレートをもとに立体肖像画をつくり、記念撮影する。当館とコスモ石油株式会社と共に主催する事業として実施。(企画実施:Wonder Art Production)
【杉本博司 アートの起源 宗教】展関連 「親子ツアー」	2011年10月8 日(土)11時～ 展示室内	美術館スタッフ	子どもと保護 者	13人	0人	無料 (コーポレー ション・ディ のため保護者 も無料)	スタッフの質問に対して親子で話し合って答えてもらいながら、ツアー形式で作品を見て回る。
第29回丸亀市スポーツ少 年団交流大会 「ミモカと「スポーツジャンボ かるた」大会!」	2011年10月10 日(月・祝)10 時～12時 丸亀市民体育 館メインアリー ーナ	美術館スタッフ	丸亀市スポー ツ少年団 登録員・指導 者・保護者・ 関係者	245人	0人	無料	2人1組でかるたの絵札・読み札を作成する。完成した絵札を床にばらまき、読み札に合う絵札を参加者で取り合う。上位チームに景品と賞状を授与する。丸亀市スポーツ少年団との共催事業として実施。
開館20周年記念イベント 「祝20祭」ワークショップ他 プログラム	2011年11月23 日(水・祝)10 時～18時 展示室内	美術館スタッ フ、ボランティア ア	子どもと保護 者	2,423人	0人	無料	改修工事のため休館中の館内で「ミモカで玉入れ」、「じゃんけんグリコ」、「ミモカの3階で愛を叫ぶ」、「ミモカボーリング」、ワークショップ「風車とミモ虫をつくろう!」など様々なプログラムを実施。
【猪熊弦一郎展 手の中 の小さな言葉】関連 「工夫発見!実験絵画」	2012年2月18 日(土)13時30分 ～15時 展示 室内、2階造 形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	13人	5人	無料	展示室にて作品を鑑賞し、どのような工夫がなされているか各自発見したことを発表しあう。その後、造形スタジオで実験しながらいろいろな材料を使って作品をつくり展示する。
【猪熊弦一郎展 手の中 の小さな言葉】関連オープ ンスタジオ 「いのくまぬりえで遊ぼう!」	2012年2月19日 (日)10時～18時 展示室内、2階 造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもから大人	216人	0人	無料	色鉛筆、パステルなど多様な画材や、猪熊が作品中に使用しているスタンプをシールにしたものなどを使用し、猪熊の線描作品が原画になったぬりえを楽しむ。



パパとキッズのアートプログラム Part 3
世界でたった一つのポートレート with ノッポさん (2011年9月19日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
オープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」	2012年3月24日 (土)・25日(日)10時 ～11時30分 2 階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	96人 136人	1人 6人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩 絵具と粘土で遊ぼう!」と同内 容。
オープンスタジオ「○△□と 粘土で遊ぼう!」	2012年3月31日(出 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	94人	4人	無料	54頁のオープンスタジオ「○△ □と粘土で遊ぼう!」と同内容。
○△□とねんどで遊ぼう!	2012年4月1日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	85人	1人	無料	54頁のオープンスタジオ「○△ □と粘土で遊ぼう!」と同内容。
つくってひろげて!らくがきシ ートでピクニック	2012年4月14 日(土)10時～13 時30分 2階造形スタ ジオ、丸亀城 周辺	美術館スタッフ	小・中学生	10人	11人	無料	ビニールシートを好きな形に切 ったり、ペンやテープ等で飾り 付けてピクニックシートをつく る。その後丸亀城付近へ移動 し、完成したシートを広げて各 自持参したお弁当を食べる。
～木っばでつくる ねんど で遊ぶ～ 青空工作室	2012年5月3 日(木・祝)・4 日(金・祝)11 時～15時 1階ゲートプ ラザ	美術館スタッフ 、松村亮平 (ANTIPOEME)	子どもから大 人	266人 197人	67人 42人	300円	木っばと紙ねんどを使って自由 に工作する。家具製作所 ANTIPOEME から講師を迎 え、木工技術のサポートも行う。 丸亀お城まつり協賛イベントと して開催。
水彩絵具とねんどで遊ぼう!	2012年5月19日(出 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	61人	2人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩 絵具と粘土で遊ぼう!」と同内 容。
【塩田千春 私たちの行 方】展関連 「自分の船で世界中をまわ ってみよう」	2012年5月27 日(日) 10時30 分～12時 2階造形スタ ジオ、展示室 内	塩田千春 (出品作家)	子どもから大 人	42人	3人	無料 (保護者は 要観覧チケ ット、ただ し未就学児 に同伴する 保護者は無 料)	講師から作品の解説を聞き、 世界地図の形に切ったシート を沈めた状態の《私たちの行 方》の水槽部分に、折り紙など でつくった船を浮かべる。
○△□とねんどで遊ぼう!	2012年6月2日(出 ・12月2日(日)10時 ～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	25人 83人	0人	無料	54頁のオープンスタジオ「○△ □と粘土で遊ぼう!」と同内容。



つくってひろげて!らくがきシートでピクニック
(2012年4月14日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
巨大すごろく	2012年6月16日(土) 13時～15時 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	21人	33人	100円	嬉しかったこと、残念だったことなど日常の一場面を思い出しながら「すすむマス」「もどるマス」を画用紙に描いてマスをつくる。それらを並べ、2チームに分かれてすごろく遊びを楽しむ。
平成24年度(公財)丸亀市体育協会婦人部「夏季体育大会」 ①「『体協美術館』競歩ひそひそ伝言ゲーム」 ②「『芸術鑑賞』はてさてタイトルこれなんだ?」	2012年6月28日(木) 10時～12時 丸亀市民体育館メインアリーナ	美術館スタッフ	丸亀市体育協会婦人部	240人	0人	無料	①チームの先頭の人だけが猪熊作品の図版を見て、伝言していき、最後の人がどの作品か当てる。 ②猪熊作品が印刷された大型図版を1人ずつ順番に見ていき、チームで相談してタイトルとの組み合わせを当てる。(公財)丸亀市体育協会婦人部との協力事業として実施。
ひらめきスタンプでつくる とっておきTシャツ	2012年7月22日(日)～27日(金)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもから大人	641人 (6日間 合計)	274人 (6日間 合計)	500円	白いTシャツに、ダンボールの断面や緩衝材、廃材など様々な素材のなかから面白いと思う形のをスタンプとして押して、オリジナルデザインのTシャツをつくる。
夏をたのしむ 手づくりうちわ	2012年8月1日(水)～4日(土)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもから大人	376人 (4日間 合計)	172人 (4日間 合計)	200円	うちわの骨(竹製)を切って形を変えたり、シールやスパンコール、ひもや動く目玉など好きな材料を使ってオリジナルのうちわをつくる。
うごく紙人形でコマ撮りアニメ!	2012年9月1日(土)・2日(日)13時～16時 2階造形スタジオ、ミュージアムホール	美術館スタッフ	子どもと保護者	71人 52人	28人 26人	100円	手足や胴体などパーツごとに画用紙を切り抜き、リベット(先割れピン)を使って、手足が動く人形をつくる。その後、ミュージアムホールでコマ撮りアニメを制作する。
水彩絵具とねんどで遊ぼう!	2012年9月15日(土)・16日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	139人 177人	0人 4人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー】展関連 「ささいこうちくく」	2012年9月23日(日)13時～16時 2階造形スタジオ	ホンマタカシ (作品作家)	小・中学生 (保護者同伴の場合は5歳以上の未就学児童も参加可能)	43人	96人	500円	講師の写真作品を1枚選び、切る場所を自由に指定して、講師にカットしてもらう。それぞれカットされた断片を組み合わせて再構築し、最後に講師のスタンプを押してもらい、作品として完成させる。
【石内都 絹の夢】展関連 「親子のためのギャラリートアー」	2012年10月13日(土)・11月10日(土)・12月15日(土)11時～12時 展示室内	美術館スタッフ	子どもと保護者	7人 (3日間 合計)	0人	無料 (保護者は要観覧チケット)	スタッフのガイドで、親子でクイズやゲームをしたり、作品の被写体となった銘仙の着物を着たり、実物の繭を触ったりといった体験を交えながら、ツアー形式で作品を鑑賞する。



【ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー】展関連
「ささいこうちくく」(2012年9月23日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講 師	対 象	参加者	見学者	参加費	内 容
第30回丸亀市スポーツ少年団交流大会 「一冊入魂!チームブックを作ろう!」	2012年10月8日(月・祝)10時~12時 丸亀市民体育館メインアリーナ	美術館スタッフ	丸亀市スポーツ少年団 登録員・指導者・保護者・関係者	178人	0人	無料	完成品がB4サイズの冊子になるように印刷した台紙に、自分の得意なことを書いたり、チームメイトからのメッセージを書いてもらうなどして、思い出の一冊を作成する。丸亀市スポーツ少年団との協力事業として実施。
ふわふわフェルトでモノづくり	2012年10月20日(土)10時~12時 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	24人	13人	無料	熱、水、圧力を加えることでフェルト化するという羊毛の性質を知り、その仕組みを利用してさらに様々な工夫を加えることで、各自でオリジナルの小物をつくる。
まわって、あつめて、くっつける。不思議モンスター	2012年11月23日(金・祝)10時~18時 館内各所	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	637人	0人	無料	受付で「モンスター」の「胴体」となる部分を受け取り、館内各所を回り「手」「足」「しっぽ」などの体のパーツを集めて胴体に取り付けていき、不思議なモンスターをつくる。
くうそうかいぼうがく(丸亀編)	2012年12月8日(土)10時~11時30分、14時~15時30分 2階造形スタジオ	奥村雄樹 (アーティスト・翻訳家)	3歳~6歳の子ども(小学生除く)とその保護者	25人	4人	無料	「体の中と外」について講師から話を聞いた後、大きな紙の上に、保護者が子どもの上半身の型をなぞる。その型の中に子どもが自分の体の中を空想して描く。
				43人	8人		
水彩絵具とねんどで遊ぼう!	2013年1月5日(土)10時~11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	167人	0人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【猪熊弦一郎展 変化と不変】関連 「イロ・カタチ・バランス」	2013年2月2日(土)・3日(日)・3月2日(土)・3日(日)10時~12時、13時30分~15時30分 2階造形スタジオ、3階展示室C	美術館スタッフ	子どもから大人	574人 (4日間合計)	176人 (4日間合計)	無料	同日に①②を実施。①作品に描かれているモチーフを、ばらばらのパーツ状に印刷したものを自由に組み替える。②画用紙に○や△や□に切った紙やシールを組み合わせて貼り、配置のバランスを楽しむ。
たのしいおいしい お菓子の家	2013年2月16日(土)・17日(日)13時30分~12時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	37人	22人	無料	作り方の実演を見た後、各自つくりたいお菓子の家のデザインを描く。その後アイシングを接着剤にしてお菓子の家をつくり、みんなで鑑賞した後食べる。
				32人	28人		



くうそうかいぼうがく(丸亀編)
(2012年12月8日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
みんなでつくろう ダンボールのまち	2013年3月16日 (土)13時～15時30分・23日(土)13時～15時 全2日間 2階 造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	小・中学生	37人	32人	無料	(1日目)まちにはどんなものがあるか話し合い、つくるものを決め、班ごとに制作する。(2日目)つくったものを並べて完成させたまちの中を歩き、みんなで工夫した箇所や見どころを発表する。
				32人	16人		
遊ぼう!水彩絵具と土ねんど	2013年4月20日 (土)・21日(日)10時～11時30分 2階 造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	177人	2人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
				127人	0人		
MIMOCA ワークショップ・ジャンボリー	2013年5月3日(金・祝)11時～16時 1階ゲートプラザ	ユ ッ コ(NISHI NISHI)、いのもとあきこ(岩本明子製作室)、上原あゆみ(和三益体験ルーム 豆花)、山田敏弘(山田屋珈琲店)、松村亮平(ANTIPOEME)、イイマヒロシ(イイマ木工)、青藤正×統・塩飽大工業、阪本麻郁(四国学院大学助教)、仙石桂子(四国学院大学助教)、守俣二郎(香川糖古研究会)、美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	1,411人	0人	1回につき100円～1,000円	市内・県内各地から講師を迎え、クラフトや身体表現など14種類の参加型ワークショップを実施。併せて市内・県内の飲食店6店にも出店を依頼し、仮設店舗を開き、フードやスイーツを提供する。(協力:こんぶ製作所)
【MIMOCA'S EYE vol. 3 フランシス・アップリチャード展 ポテトポエム】関連「夜のポテトポエム・ツアー」	2013年5月25日(土)19時～20時30分 2階展示室B、2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小学生以上の子どもと保護者	36人	0人	子ども300円、大人700円(観覧料を含む)	閉館後にツアー形式で展示会を鑑賞した後、造形スタジオで作品に使用されている「スーパー・スカルピー」という樹脂粘土で小さなオブジェを制作する。
遊ぼう!お絵かきしりとりと土ねんど	2013年6月15日(土)・16日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	65人	0人	無料	親子や他の参加者と一緒にしりとりを考えて、クレヨンや色鉛筆で画用紙に絵を描き、造形スタジオの壁に張り付けていく。また、土粘土を使って立体造形をする。
				111人	8人		



MIMOCA ワークショップ・ジャンボリー
(2013年5月3日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
平成25年度(公財)丸亀市 体育協会婦人部「夏季体 育大会」 ①「競歩ひそひそ伝言ゲー ム」 ②「ミモカでパズル」	2013年6月28 日(金) 10時～12時 丸亀市民体育 館メインアリー ーナ	美術館スタッフ	丸亀市体育協 会婦人部	234人	0人	無料	①チームの先頭の人だけが猪熊作 品の図版を見て、伝言していき、最 後の人がどの作品か当てる。②各 チームで1人ずつ順番にパズルの ピースを拾ってきてミモカマークを完 成させる。(公財)丸亀市体育協会 婦人部との協力事業として実施。
瀬戸内国際芸術祭2013 (本島)関連 「橋をつなぐワークショップ」	2013年6月29 日(土)10時～14 時30分 2階造形スタ ジオ	力五山(瀬戸内 国際芸術祭2013 出品作家)	丸亀市内の中 学生～大人	26人	0人	無料	瀬戸内国際芸術祭2013秋会期に参加 する作家ユニットの力五山を講師に 迎え、「つなぐ」をテーマにミニチュアの 橋をつくる。完成品は丸亀市本島の惣 光寺に展示。香川県政策部文化振興 課との特別協力事業として実施。
丸亀市立資料館開催【ピエ ゾグラフによるいわさきちひろ展 子どもたちへのまなごし】関連 「ちひろの水彩技法を体験しよ う!」	2013年7月27 日(土)10時～12 時、13時～15 時 2階造形 スタジオ	松方路子氏 (安曇野ちひろ 美術館学芸員)	子どもと保護 者	33人 30人	23人 17人	無料	いわさきちひろが用いた「にじみ」の 水彩技法を使ってカードやバッジ 作りを行った。当館・丸亀市立資料 館・丸亀市立図書館の3施設によ る協力事業の一環として実施。
デコったのしい サマー・クリアバッグ	2013年8月1 日(木)～6日(火) 10時～12時、 13時30分～15 時30分 2階 造形スタジオ	美術館スタッ フ、ボランテ ィア	子どもから大 人	522人 (6日間計)	307人 (6日間計)	400円	透明なビニールバッグにカラフル なペンやビニール用絵具で 模様を描いたり、キラキラシール やモール、ヒモやリボンで飾りつ けたりして、夏休みに活用でき るオリジナルバッグをつくる。
なにつくる?ハコ・はこ・箱ワ ールド	2013年8月10日(土) ～13日(火)10時～12 時、13時30分～15 時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッ フ、ボランテ ィア	子どもから大 人	338人 (4日間計)	259人 (4日間計)	200円	お菓子や薬などの空き箱にス パンコールや動く目玉、モー ル、毛糸、木端など好きな材料 を貼り付けて貯金箱や壁かけ 飾りなどをつくる。
【大竹伸朗展 ニューニュー ー】関連 「ニューニューニュー」	2013年9月23 日(月・祝)10 時30分～15時 2階造形スタ ジオ	大竹伸朗 (出品作家)	中・高校生	43人	23人	無料	参加者が各自で持参した印 刷物や紙類の他、講師が持 参したドローイングなども混ぜ て綴じる。記名した奥付ラベル に講師のサインをもらって貼り 付け、A8サイズの豆スクラ ップブックを完成させる。
遊ぼう!○△□と土ねんど	2013年9月28日 (土)・29日(日)10時 ～11時30分 2 階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護 者	82人 154人	0人 2人	無料	54頁のオープンスタジオ「○△ □と粘土で遊ぼう!」と同内容。



【大竹伸朗展 ニューニューー】関連「ニューニューニュー」
(2013年9月23日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講 師	対 象	参加者	見学者	参加費	内 容
みんなで楽しむ カンタン演劇	2013年10月26日(土)10時～12時 2階展示室、2階造形スタジオ	仙石桂子(四国学院大学助教)	子ども(3歳以上)から大人	20人	12人	無料	2階展示室で猪熊作品3点を鑑賞した後、演劇のテーマにした作品をそれぞれ選んでチームに分かれ、即興で演劇をつくり、発表する。当館と四国学院大学が共に主催する事業として実施。
いのくまさんを踊ろう!	2013年10月27日(日)10時～15時 1階ゲートプラザ、2階造形スタジオ	阪本麻理(四国学院大学助教)	子ども(小学生以上)から大人	18人	27人	無料	1階ゲートプラザの彫刻作品を観察した後、2つのグループに分かれ、彫刻作品をテーマにしたダンスをつくり、保護者や見学者の前で発表する。当館と四国学院大学が共に主催する事業として実施。
探してつくろういのくまさんの対話彫刻	2013年11月23日(土・祝)10時～18時 館内各所	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	606人	0人	無料	館内3ヶ所で実物の対話彫刻やスタッフが制作した対話彫刻を探し、ガイドに掲載されている対話彫刻の写真と場所とを線で結ぶ。全て見つけれたら、造形スタジオで対話彫刻キットを選び、対話彫刻をつくる。
遊ぼう!水彩絵具と土ねんど	2013年11月30日(土)・12月1日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	64人 54人	3人 2人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【猪熊弦一郎展 新しい美—抽象の探求】関連「フェルトでキャンバスアート」	①2013年12月8日(日)②14日(土)・15日(日)10時～12時 2階造形スタジオ、3階展示室C	美術館スタッフ	①高校生から大人 ②小・中学生	43人 (3日間合計)	21人 (3日間合計)	300円	スタッフの解説を聞きながら作品を鑑賞する。その後、自分なりに色と形の美しさや面白さを考えながら、好きな色のフェルトを切り抜いてキャンバスに貼り付ける。
遊ぼう!お絵かきしりとりと土ねんど	2014年1月4日(土)・5日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	42人 37人	4人 5人	無料	60頁の「遊ぼう! お絵かきしりとりと土ねんど」と同内容。
星座をえがいて 星空アンブレラ	2014年1月18日(土)・25日(日)16時～18時 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	13人 14人	13人 11人	無料	透明のビニール傘に、暗闇で光る絵具やシールを使って、各自オリジナルの星座を考えて描く。完成した傘を、日没後、3階のゲートプラザで差してみる。



星座をえがいて 星空アンブレラ
(2014年1月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講 師	対 象	参加者	見学者	参加費	内 容
まぜまぜカラフルキャンドル	2014年2月8日 土10時～11時30分、13時30分～15時 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	11人	8人	200円	5色の溶かしたロウから好きな色を選び、順に、型に入れてかきまぜて固めるという作業を繰り返し返して、カラフルなキャンドルをつくる。
				9人	12人		
スイート・チョコレートキャンドル	2014年2月9日(日)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	6人	8人	400円	溶かしたロウにチョコレートの香料を加え、カップの中でかき混ぜた後、芯をさしてラップに包み団子状に成型する。表面に好きな色のロウでコーティングや飾りつけをし、ラッピングして完成させる。
				11人	14人		
【あそびのつくりかた】展関連 「モジャモジャ～けむくじゃら隊!」	2014年3月1日(土)・2日(日)10時～14時 1階ゲートプラザ	美術館スタッフ	子どもから大人	144人	226人	100円 (ココア1杯につき)	出品作家の河井美咲の作品《けむくじゃら隊》を題材とし、布やビニール、毛糸や紐などを使って「けむくじゃらコスチューム」をつくる。(素材協力:豊浜綿寝具協同組合)
				202人	318人		
【あそびのつくりかた】展関連 「ふくろの国へようこそ、ふとんの山へようこそ」	2014年3月22日(土)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ、3階展示室C	小沢剛 (出品作家)	子どもから大人	22人	2人	440円 (高校生以下無料)	紙袋でつくった帽子、服、ブーツを着用して館内を行進した後、子どもだけが茶紙で作った紙袋電車に入って、ふとん山(講師の作品)のトンネル内に入る。紙袋電車の内側に好きな人の顔を描いた後、トンネルから出て、ふとん山を楽しむ。
				28人	6人		
【あそびのつくりかた】展関連 「ピッカリ電車で影の旅!」	2014年4月5日(土)10時～12時、13時30分～15時30分 3階展示室C、2階造形スタジオ	クワクボリョウタ (出品作家)	小学3年生から大人	18人	17人	600円 (高校生以下150円)	講師と一緒に出品作品《10番目の感傷(点・線・面)》を鑑賞した後、造形スタジオで浮かび上がる影を想像しながら様々な日用品を配置する。部屋を暗くし、同作品に使われているLEDライトを乗せた鉄道模型を走らせ、色々なものの影を映す。
				24人	13人		
遊ぼう!水彩絵具と土ねんど	2014年4月19日(土)・20日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	172人	8人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
				200人	17人		
MIMOCA ぶんぼうぐ工場	2014年5月3日(土・祝)・4日(日・祝)11時～16時 1階ゲートプラザ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	1,002人	0人	無料	ミニノート、えんぴつ、紙バッグ、キーホルダー、マグネットやバッジなど、たくさんのアイテムから自由に選んで手づくり文房具をつくる。
				998人			



【あそびのつくりかた】展関連
「ふくろの国へようこそ、ふとんの山へようこそ」
(2014年3月22日)

ワークショップ名	開催日時・会場	講 師	対 象	参加者	見学者	参加費	内 容
【あそびのつくりかた】展関連 「だるまんがころんだ」	2014年5月31日(土)・6月1日(日)13時30分～15時30分 2階造形スタジオ、3階展示室C	梅田哲也 (出品作家)	小・中学生	13人	0人	無料	(1日目)展示室内で1人1台ずつFMラジオ受信機を持ち、外にいる講師の指示をイヤホンで聞き、様々な動きをするリハーサルを行う。(2日目)本番を行い、パフォーマンスとして発表する。
				13人	86人		
貼って遊ぼう ぺたぺた!おさかなワールド	2014年6月21日(土)・22日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	179人	2人	無料	壁に貼られた、魚などをかたどった大きな台紙の上にさまざまな色の○や△や□の形の紙切れやシールなどを貼ったり、クレヨンや色鉛筆で描き込む。
				190人	8人		
世界にひとつの手づくり時計	2014年6月29日(日)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小・中学生	29人	21人	100円	ダンボールや厚紙などでつくった時計の土台に絵具で描いたり、いろいろな素材を貼ったりして文字盤をデザインする。針をつける場所や数字を工夫して、オリジナルの時計をつくる。
				29人	25人		
平成26年度(公財)丸亀市体育協会婦人部「夏季体育大会」 ①「ミモカでパズル」 ②「ミモカ○×ウルトラクイズ」	2014年7月4日(金) 10時～12時 丸亀市民体育館メインアリーナ	美術館スタッフ	丸亀市体育協会婦人部	214人	0人	無料	①各チームで1人ずつ順番にパズルのピースを拾ってきて猪熊弦一郎の作品《風車と発芽》を完成させる。②猪熊弦一郎や美術館に関するクイズに○×2択で回答する。(公財)丸亀市体育協会婦人部との協力事業として実施。
さわって、描いて!クリーム絵画でフィンガーペイント	2014年7月5日(土)・6日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	3歳以上の子どもとその保護者	53人	3人	子ども1人につき100円(保護者は無料)	小麦粉と水をまぜて加熱し、水彩絵具を加えたクリーム状の絵具を使って、床に敷いた大きな紙の上に指や手で絵を描く。
				58人	2人		
歩いて楽しい ウキウキ夏サンダル	2014年7月20日(日)～25日(金)10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	422人 (6日間計)	169人 (6日間計)	300円	スポンジマットを足の大きさに切り抜き、ひもや布でつくったベルトをつけて、カラフルな油性ペンやキラキラシール、モールなどで飾り付けて、オリジナルのサンダルをつくる。



【あそびのつくりかた】展関連「だるまんがころんだ」
(2014年5月・6月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
【拡張するファッション】展関連 「ファッションの時間」	2014年8月2日(土)～6日(水) 10時～16時 全5日間 2階造形スタジオ	FORM ON WORDS (出品作家)	中学生から大人	5人	14人	無料	着られなくなった服を日常着として着続けるための工夫を講師と相談しながら、デザイン・縫製し、5日間かけて新たな服として製作する。素材として、出品作品《ファッションの図書館[丸亀]》の一部を使用。
星空をつくらう 簡単プラネタライト	2014年8月10日(日)～14日(木) 10時～12時、 13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	398人 (合計)	207人 (合計)	200円	内側にアルミホイルを貼ったカップをライトにかぶせて、色画用紙やテープ、ペンなどで飾りつけ、暗闇でプラネタリウムのように光るライトをつくる。
【拡張するファッション】展関連 「ハガキに刺繍」	2014年9月21日(日)10時～12時、13時～15時 3階展示室C、2階造形スタジオ	横尾香央留 (出品作家)	小学4年生から大人(針を使ったことがある方)	24人 27人	4人 8人	200円	展示室で講師と一緒に出品作品を鑑賞した後、猪熊作品のポストカードを1枚選び、レクチャーを聞いて文字や絵を針と糸で刺繍する。完成した刺繍ハガキは駅前のポストに投函する。
ぐるぐるミモカバトンタッチツアー	2014年10月19日(日)10時～12時 2階造形スタジオ、館内	美術館スタッフ	小学4年生から大人(小学1・2年生は要保護者同伴。保護者も参加者)	16人	1人	無料	館内を探検して、お気に入り・不思議・びっくりなどの「ここみてポイント」を見つけたら、印となる旗を置き、全員で順番にガイド役となって交代しながら、ツアー形式でポイントを巡る。
遊ぼう!水彩絵具と土ねんど	2014年10月25日(土)・26日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	138人 82人	0人 2人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
ハッピー!ミモカ御守りをつくらう	2014年11月23日(日・祝)10時～17時 館内各所	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人	772人 (延べ)	0人	無料	願い事を書く紙を受け取り、館内を巡って簡単なゲームを行いながら紐などのパーツを集める。全てのパーツを集めたら造形スタジオでパーツと願い事を書いた紙を組み合わせてミモカ御守りを完成させる。



【拡張するファッション】展関連「ファッションの時間」
(2014年8月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容
【猪熊弦一郎展 形がいっぱい】関連 「オモシロカタチのスタンプハンカチ」	①2014年12月7日(日)②14日(日)10時～12時15分 3階展示室C、2階造形スタジオ	美術館スタッフ	①小学生 ②中学生から大人	26人	43人	200円	6人ほどのグループになり、ハサミを使って厚紙を好きなところで切って隣の人へ回す作業を繰り返す。はじめに自分が持っていた厚紙が戻ってきたらその形をスポンジシートに転写してスタンプにし、白い無地のハンカチに押しデザインする。
貼って遊ぼう ペたぺたクリスマス	2014年12月20日(土)・21日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	101人	6人	無料	壁に貼られた、ツリーや星などをかたどった大きな台紙の上にさまざまな色の○や△や□の形の紙切れやシール、色とりどりのセロハンなどを貼ったり、クレヨンや色鉛筆で自由に絵を描く。
遊ぼう!水彩絵具と土ねんど	2015年2月7日(土)・8日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	145人	0人	無料	54頁のオープンスタジオ「水彩絵具と粘土で遊ぼう!」と同内容。
【鈴木理策写真展 意識の流れ】関連 「自分で撮る・自分がうつる」	2015年2月22日(日)10時～13時 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	小学生	20人	19人	無料	三脚を立ててカメラをセットし、レリーズ(遠隔撮影装置)を使ってセルフポートレートを撮影する。撮った写真はA4サイズにプリントして造形スタジオに展示。
貼って遊ぼう ペたぺたじぶんのかたち	2015年3月28日(土)・29日(日)10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	107人	2人	無料	大きな紙に自身の全身の輪郭を写しとり、その形の中にいろいろな色や大きさの○や△や□の紙を貼りつけたり、クレヨンで絵を描いたり、「じぶんのかたち」をキャンバスにして、色や形で遊ぶ。



遊ぼう!水彩絵具と土ねんど
(2015年2月)

Ⅲ

教育普及事業

ii スクールプログラム

1 学校団体での来館

保育所・幼稚園・小学校・中学校・高等学校・大学・一般等の団体来館を対象とした、対話をしながらの作品鑑賞を行っている。教職員のご希望、生徒の興味、来館人数などに応じて団体ごとにプランを組立っている。

2011年度

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
杉本博司 アートの起源 建築 常設展 猪熊弦一郎展 身体の表現 4月1日(金)～5月15日(日)	保育園	0	361
	幼稚園	0	(延べ)
	小学校	4	
	中学校	2	
	高等学校	1	
	大学	0	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	1	39
杉本博司 アートの起源 歴史 常設展 猪熊弦一郎展 異質なものの同士のバランス 5月29日(日)～8月21日(日)	保育園	6	971
	幼稚園	2	(延べ)
	小学校	3	
	中学校	2	
	高等学校	5	
	大学	7	
	専門学校	1	
	養護学校	3	
	他団体(一般)	13	176
杉本博司 アートの起源 宗教 常設展 猪熊弦一郎展 色面による分割 8月28日(日)～11月6日(日)	保育園	0	1,122
	幼稚園	2	(延べ)
	小学校	7	
	中学校	3	
	高等学校	4	
	大学	14	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	24	571

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉-紙に描いた作品から 常設展 猪熊弦一郎展 初期から晩年まで 2012年2月4日(土)～3月4日(日)	保育園	5	508
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	7	
	中学校	1	
	高等学校	0	
	大学	0	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	5	136
塩田千春 私たちの行方 常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨーク時代の作風の変遷 3月18日(日)～31日(土)	保育園	0	268
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	3	
	中学校	1	
	高等学校	1	
	大学	1	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	2	37
計		132	4,189

2012年度

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
塩田千春 私たちの行方 常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨーク時代の作風の変遷 4月1日(日)～7月1日(日)	保育園	3	1,417
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	11	
	中学校	3	
	高等学校	3	
	大学	5	
	専門学校	1	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	22	638
ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー 物物 常設展 猪熊弦一郎展 カンヴァスに飛ぶ 7月15日(日)～9月23日(日)	保育園	3	673
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	1	
	中学校	8	
	高等学校	2	
	大学	9	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	13	346

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
石内都 絹の夢 常設展 猪熊弦一郎展 人を描く 10月7日(日)～2013年1月6日(日)	保育園	2	1,402
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	13	
	中学校	8	
	高等学校	2	
	大学	7	
	専門学校	1	
	養護学校	4	
	他団体(一般)	27	582
猪熊弦一郎展 変化と不変 常設展 猪熊弦一郎展 絵と生きる-画業70年の軌跡 2013年1月13日(日)～3月31日(日)	保育園	8	562
	幼稚園	2	(延べ)
	小学校	2	
	中学校	3	
	高等学校	1	
	大学	5	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	6	114
計		178	5,734

2013年度

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
猪熊弦一郎展 変化と不変 常設展 猪熊弦一郎展 絵と生きる-画業70年の軌跡 4月1日(月)～4日(木)	保育園	0	0
	幼稚園	0	
	小学校	0	
	中学校	0	
	高等学校	0	
	大学	0	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	1	58
猪熊弦一郎展 壁画の仕事 常設展 猪熊弦一郎展 東京から巴里へ 4月13日(土)～6月30日(日)	保育園	4	844
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	6	
	中学校	1	
	高等学校	3	
	大学	1	
	専門学校	1	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	11	202

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
MIMOCA'S EYE vol.3 フランス・アップリチャード展 ポテトポエム 常設展 猪熊弦一郎展 東京から巴里へ 4月13日(土)～6月30日(日)	保育園	4	871 (延べ)
	幼稚園	1	
	小学校	6	
	中学校	2	
	高等学校	3	
	大学	3	
	専門学校	1	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	12	213
大竹伸朗展 ニューニュー 常設展 猪熊弦一郎展 創意工夫の手あと 7月13日(土)～11月4日(月・祝)	保育園	6	1,453 (延べ)
	幼稚園	1	
	小学校	8	
	中学校	5	
	高等学校	4	
	大学	18	
	専門学校	2	
	養護学校	2	
	他団体(一般)	27	502
猪熊弦一郎展 新しい美ー抽象の探究 常設展 猪熊弦一郎展 うつくしいからだ 11月16日(土)～2014年2月16日(日)	保育園	3	1,257 (延べ)
	幼稚園	4	
	小学校	21	
	中学校	0	
	高等学校	3	
	大学	3	
	専門学校	0	
	養護学校	1	
	他団体(一般)	10	198
猪熊弦一郎展 丸亀とともに ー香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に 常設展 猪熊弦一郎展 うつくしいからだ 11月16日(土)～2014年2月16日(日)	保育園	3	1,257 (延べ)
	幼稚園	4	
	小学校	21	
	中学校	0	
	高等学校	3	
	大学	3	
	専門学校	0	
	養護学校	1	
	他団体(一般)	10	198
あそびのつくりかた 常設展 猪熊弦一郎展 整然たる都市-にぎやかな自然 3月1日(土)～3月31日(月)	保育園	3	524 (延べ)
	幼稚園	1	
	小学校	2	
	中学校	3	
	高等学校	2	
	大学	1	
	専門学校	0	
	養護学校	1	
	他団体(一般)	6	71
計		243	7,648

2014年度

事業名	学校名	校数	生徒数 (引率者含む)
あそびのつくりかた 常設展 猪熊弦一郎展 整然たる都市-にぎやかな自然 4月1日(火)～6月1日(日)	保育園	14	1,468
	幼稚園	3	(延べ)
	小学校	8	
	中学校	4	
	高等学校	6	
	大学	3	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	18	404
拡張するファッション 常設展 猪熊弦一郎展 のびのびと描く 6月14日(土)～9月23日(火・祝)	保育園	1	915
	幼稚園	1	(延べ)
	小学校	7	
	中学校	3	
	高等学校	3	
	大学	11	
	専門学校	2	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	25	662
猪熊弦一郎展 形がいっぱい 10月4日(土)～2015年1月18日(日) 常設展 猪熊弦一郎展 純粋な芸術を求めて 10月4日(土)～2015年1月25日(日)	保育園	5	917
	幼稚園	2	(延べ)
	小学校	8	
	中学校	5	
	高等学校	5	
	大学	4	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	他団体(一般)	29	640
鈴木理策写真展 意識の流れ 常設展 猪熊弦一郎展 未知へ向かう悦び 2月1日(日)～3月31日(火)	保育園	3	339
	幼稚園	0	(延べ)
	小学校	4	
	中学校	1	
	高等学校	4	
	大学	3	
	専門学校	0	
	養護学校	1	
	他団体(一般)	12	205
計		195	5,550

2 鑑賞教育について考える会

開館当初より多数の学校団体にご来館いただいているが、近年、学習指導要領でも鑑賞を行う際に地域の美術館の活用が謳われていることもあり、学校との結びつきが重要になっている。このような中、先生方から美術館来館前に学校の授業で利用できる図版はないかとの問い合わせがあった。そこで2008年度より月1回程度「鑑賞教育について考える会」をもち先生方と研究・協力して、学校現場で使いやすく、また子どもたちの効果的な鑑賞を促すことができるような鑑賞教材の開発に取り組んだ。

2009年5月に第一弾として、猪熊弦一郎の作品60点を印刷したアートカードを使って楽しみながら美術作品を鑑賞する力を養うことができる「ミモカ・アートカード」が完成し貸出を開始した。2010年に映像教材「guén 猪熊弦一郎」(DVD・16分24秒)、2011年9月に大型図版「みんなのミカタ」、2012年6月に大型図版「みんなのミカタ2」が完成した。そのほか、企画展における学校団体の来館促進について話し合いをしたり、館内配布用のワークシートなどを作成している。

■刊行物

報告書(「刊行物一覧」92頁参照)

	開催日	時間	小学校教諭	中学校教諭	一般	参加人数(計)
第32回	2011年5月15日(日)	10時～	5	0	3	8
第33回	9月11日(日)	10時～	5	0	1	6
第34回	10月29日(土)	10時～	2	0	1	3
第35回	12月25日(日)	10時～	3	0	3	6
第36回	2012年1月22日(日)	10時～	0	0	1	1
第37回	2月5日(日)	10時～	1	1	4	6
第38回	3月4日(日)	10時～	3	0	2	5
第39回	4月15日(日)	10時～	1	0	2	3
第40回	5月6日(日)	10時～	4	0	2	6
第41回	6月30日(土)	10時～	0	0	2	2
第42回	8月18日(土)	10時～	2	0	3	5
第43回	10月21日(日)	10時～	3	0	2	5
第44回	11月10日(土)	13時30分～	2	0	2	4
第45回	12月25日(火)	10時～	2	0	3	5
第46回	2013年2月11日(月・祝)	13時30分～	2	0	2	4
第47回	3月10日(日)	10時～	2	0	3	5
第48回	4月21日(日)	13時30分～	3	0	2	5
第49回	6月2日(日)	13時30分～	3	0	3	6
第50回	7月21日(日)	13時30分～	2	0	2	4
第51回	8月18日(日)	10時～	3	0	2	5
第52回	9月28日(土)	10時～	2	0	1	3
第53回	10月20日(日)	13時30分～	3	0	3	6
第54回	12月7日(土)	10時～	2	0	1	3
第55回	2014年1月25日(土)	10時～	2	0	2	4
第56回	3月9日(日)	10時～	3	0	3	6
第57回	4月20日(日)	13時30分～	2	0	3	5
第58回	5月10日(土)	11時～	2	0	3	5
第59回	6月22日(日)	13時30分～	2	0	1	3
第60回	8月3日(日)	13時30分～	2	0	2	4
第61回	9月7日(日)	10時～	1	0	2	3
第62回	10月11日(土)	10時～	0	1	3	4
第63回	11月30日(日)	13時30分～	1	1	4	6
第64回	12月21日(日)	16時～	2	0	0	2
第65回	2015年1月18日(日)	13時30分～	2	0	3	5
第66回	2月21日(土)	10時～	1	0	2	3
第67回	3月22日(日)	10時～	2	0	1	3
	計		77	3	79	159

3 鑑賞教材貸出

鑑賞教材「ミモカ・アートカード」、映像教材「guén 猪熊弦一郎」(DVD・16分24秒)、大型図版「みんなのミカタ」、大型図版「みんなのミカタ2」の計4種類の教材を貸し出している。

貸出先としては主に小学校・中学校・高等学校などの教育機関で、中でも市内の小学校への貸出が多い。中学校・高等学校の貸出件数は少ないが、教員からは「評判を聞いて使用を決め、実際に使用したら子どもも楽しんでいる様子だった」との感想もあり、学校現場で鑑賞の授業ができるという教材の主旨は小学校だけでなく中学校・高等学校でも充分発揮されていることがうかがえる。大学・美術関連施設・個人への貸出の場合、鑑賞教育や鑑賞教材についての研究及び教育実習やワークショップで使用することを目的としている。このように、主に小学校の授業での使用を中心に、幅広い対象へ貸出されている状況である。

今後もより多くの方にご利用いただけるよう、借用の手順や方法の利便化を図るなど、普及の取り組みをしていく。

年度	アートカード	DVD	大型図版	大型図版2	貸出件数(延べ)
2009年度	33	—	—	—	33
2010年度	38	17	—	—	55
2011年度	33	27	6	—	66
2012年度	35	25	20	16	96
2013年度	39	22	19	17	97
2014年度	40	17	23	22	102
計	218	108	68	55	449



鑑賞教材「ミモカ・アートカード」



映像教材「guén 猪熊弦一郎」(DVD)



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ」



「ミモカ・アートカード」を使った授業の様子



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ2」

4 教員向け研修会

教員の方々（保育所の保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭）を対象とした研修会を特別展毎に実施している。授業で役立つポイントに触れながら展覧会の解説を行うだけでなく、教員と学芸員との意見交換を通して、子どもたちに提供する鑑賞プログラムの充実も目的としている。

展覧会名	開催日	時間	保育所	幼稚園	小学校	中学校	その他	合計
杉本博司 アートの起源 建築	2011年6月10日(金)	16時30分～	0	0	0	0	0	0
杉本博司 アートの起源 歴史	2011年9月9日(金)	16時30分～	1	0	2	1	0	4
猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉-紙に描いた作品から	2012年2月10日(金)	16時30分～	4	0	7	2	1	14
塩田千春 私たちの行方	2012年4月13日(金)	16時30分～	3	0	1	1	0	5
ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー	2012年7月20日(金)	16時30分～	0	0	0	0	0	0
石内都 絹の夢	2012年10月12日(金)	16時30分～	2	0	2	1	0	5
猪熊弦一郎展 変化と不変	2013年1月18日(金)	17時～	3	0	5	1	0	9
猪熊弦一郎展 壁画の仕事 MIMOCAS EYE vol.3 フランシス・アププリチャード展 ポテトボエム	2013年4月18日(木) ・5月9日(木) ・12日(日)は14時～	16時30分～	1	2	1	0	0	4
大竹伸朗展 ニューニュー	2013年8月26日(月) ・28日(水)・29日(木) ・31日(土)は14時～	16時30分～	0	0	18	0	0	18
猪熊弦一郎展 新しい美-抽象の探究 猪熊弦一郎展 丸亀とともに -香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に	2013年11月20日(水) ・21日(木)・22日(金)	16時30分～	0	0	17	3	2	22
あそびのつくりかた	2014年3月5日(水) ・6日(木)・7日(金) ・4月9日(水)	16時30分～	0	0	0	0	0	0
	2014年4月10日(木) ・11日(金)	17時～	0	0	0	0	0	
拡張するファッション	2014年6月19日(木) ・20日(金) ・21日(土)は14時～	17時～	0	0	4	1	0	5
猪熊弦一郎展 形がいっぱい	2014年10月9日(木) ・10日(金) ・11日(土)は14時～	17時～	0	0	3	1	0	4
鈴木理策写真展 意識の流れ	2015年2月5日(木) ・6日(金) ・7日(土)は14時～	17時～	0	0	0	0	0	0
		計	14	2	60	11	3	90

5 博物館実習

博物館学芸員資格取得のために科目単位を履修中の方を受け入れ、収集・保管・展示、調査研究、教育普及等に関する実習を行っている。

	実施日程	実習者数(人)
2011年度	2011年8月16日(火)～21日(日)	9
2012年度	2012年8月6日(月)～11日(土)	6
2013年度	2013年8月19日(月)～24日(土)	5
2014年度	2014年8月17日(日)～22日(金)	3

6 職場体験

近隣の小学生・中学生・高校生を対象に、実際に現場を体験して勤労観や社会的なマナーを身につけ、将来の職業選択につなげてもらえるよう、職場体験実習の受け入れを行っている。

2011年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2011年7月21日(木)・22日(金)	香川県藤井高等学校	1
2012年1月27日(金)	丸亀市立西中学校	5
計		6

2012年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2012年12月11日(火)～13日(木)	多度津町立多度津中学校	1
計		1

2013年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2013年7月24日(木)・25日(木)	香川県藤井高等学校	2
10月17日(木)・18日(金)	香川県立坂出商業高等学校	3
2014年1月16日(木)・17日(金)	丸亀市立西中学校	3
計		8

2014年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2014年7月24日(木)・25日(金)	香川県藤井高等学校	2
9月9日(火)～12日(金)	三豊市立三野津中学校	1
10月16日(木)・17日(金)	香川県立坂出商業高等学校	6
11月5日(木)・6日(木)	丸亀市立綾歌中学校	1
2015年1月15日(木)・16日(金)	丸亀市立西中学校	3
1月23日(金)	丸亀市立南中学校	3
計		16

7 ミモカキッズパスポート

猪熊弦一郎は子どもたちとその作品を心から愛してやまなかった。美しいものや楽しいものをたくさん見てもらうことで、感性豊かな人間に成長して欲しいと願っていた。当館では1996年5月より高校生以下および18歳未満は入館無料としている。子どもたちが自主的に美術館を訪れ、様々な作品に触れる機会を多く持つことで、芸術に親しむ心が育まれることを願い、1997年7月よりミモカキッズパスポートを製作・配布した。

当初は来館時にパスポートを提示すると裏面にスタンプが押印され、1年間に9個スタンプを集めると対話彫刻キット（オブジェを作成する材料キット）、またはポストカードをプレゼントしていた。

2010年7月からは内容を変更し、スタンプを5個集めるとオリジナル缶バッジ1個、10個集めると対話彫刻キットとエコバッグ、または缶バッジ2個をプレゼントすることとした。

2012年度よりパスポートのデザインを一新し、2012年7月よりワークショップに参加した際もスタンプが押印されることとなった。

期間 毎年4月1日から1年間有効
 (2012年度までは毎年7月1日から1年間有効としていたが
 2013年度から変更)

対象 市内保育所、幼稚園年長児
 市内小中学生全員
 高校生以下の来館者で希望した人

ミモカキッズパスポート



2011年度の
ミモカキッズパスポート



2012年度の
ミモカキッズパスポート



2012年度の
ミモカキッズパスポートの封筒

ミモカ キッズ パスポート年間利用者数 2011年4月～2015年3月

2011年度

展覧会名	会期	幼・保	小	中・高	小計
杉本博司 アートの起源 建築	4月1日(金)～5月15日(日)	31	63	11	105
杉本博司 アートの起源 歴史	5月29日(日)～8月21日(日)	23	71	8	102
杉本博司 アートの起源 宗教	8月28日(日)～11月6日(日)	4	35	5	44
開館20周年記念イベント 祝20祭 これからもミモカをよろしく	11月23日(水・祝)	0	12	2	14
猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉一紙に描いた作品から	2012年2月4日(土) ～3月4日(日)	7	1	0	8
塩田千春 私たちの行方	3月18日(日)～31日(土)	19	5	0	24
計		84	187	26	297

2012年度

展 覧 会 名	会 期	幼・保	小	中・高	小 計
塩田千春 私たちの行方	4月1日(日)～7月1日(日)	12	18	9	39
ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー 物物	7月15日(日)～9月23日(日)	68	229	31	328
石内都 絹の夢	10月7日(日) ～2013年1月6日(日)	28	48	8	84
開館21周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY	11月23日(金・祝)	0	0	0	0
猪熊弦一郎展 変化と不変	2013年1月13日(日) ～3月31日(日)	26	30	8	64
計		134	325	56	515

ワークショップ名	開催日	幼・保	小	中・高	小 計
ひらめきスタンプでつくる とっておきTシャツ	7月22日(日)～27日(金)	57	104	5	166
夏をたのしむ 手づくりうちわ	8月1日(水)～4日(土)	61	106	0	167
うごく紙人形でコマ撮りアニメ!	9月1日(土)・2日(日)	21	27	0	48
水彩絵具とねんどで遊ぼう!	9月15日(土)・16日(日)	38	19	0	57
【ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー】展関連 「ささいここうちくく」	9月23日(日)	6	12	0	18
ふわふわフェルトでモノづくり	10月20日(土)	0	5	0	5
まわって、あつめて、くっつける。不思議モンスター	11月23日(金・祝)	38	25	2	65
○△□とねんどで遊ぼう!	12月2日(日)	25	12	0	37
くうそうかいぼうがく(丸亀編)	12月8日(土)	37	0	0	37
水彩絵具とねんどで遊ぼう!	2013年1月5日(土)	23	17	0	40
【猪熊弦一郎展 変化と不変】関連 「イロ・カタチ・バランス」	2月2日(土)・3日(日)・ 3月2日(土)・3日(日)	8	10	0	18
たのしいおいしい お菓子の家	2月16日(土)・17日(日)	0	7	0	7
みんなでつくろう ダンボールのまち	3月16日(土)・23日(土)	0	8	0	8
計		314	352	7	673

2013年度

展覧会名	会期	幼・保	小	中・高	小計
猪熊弦一郎展 壁画の仕事 MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトボエム	4月13日(土)～6月23日(日)	83	385	0	468
MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトボエム	6月24日(月)～6月30日(日)	2	8	4	14
大竹伸朗展 ニューニュー	7月13日(土)～11月4日(月・祝)	56	168	9	233
開館22周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY	11月23日(土・祝)	2	2	0	4
猪熊弦一郎展 新しい美-抽象の探究 猪熊弦一郎展 丸亀とともに -香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に	11月16日(土) ～2014年2月16日(日)	69	48	3	120
あそびのつくりかた	3月1日(土)～31日(月)	69	55	1	125
計		281	666	17	964

ワークショップ名	開催日	幼・保	小	中・高	小計
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	4月20日(土)・21日(日)	84	32	0	116
MIMOCA ワークショップ・ジャンボリー	5月3日(金・祝)	14	25	0	39
【MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトボエム】関連 「夜のポテトボエム・ツアー」	5月25日(土)	0	20	0	20
遊ぼう！お絵かきしりとりと土ねんど	6月15日(土)・16日(日)	37	16	0	53
丸亀市立資料館開催【ピエゾグラフによる いわさきちひろ展 子どもたちへのまなざし】関連 「ちひろの水彩技法を体験しよう！」	7月27日(土)	0	52	3	55
デコったのしい サマー・クリアバッグ	8月1日(木)～6日(火)	84	150	1	235
なにつくる？ ハコ・はこ・箱ワールド	8月10日(土)～13日(火)	83	73	1	157
【大竹伸朗展 ニューニュー】関連 「ニューニューニュー」	9月23日(月・祝)	0	0	0	0
遊ぼう！○△□と土ねんど	9月28日(土)・29日(日)	62	15	0	77
みんなで楽しむカンタン演劇	10月26日(土)	7	1	0	8
いのくまさんを踊ろう！	10月27日(日)	0	8	0	8
探してつくろう！いのくまさんの対話彫刻	11月23日(土・祝)	28	14	1	43
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	11月30日(土)・12月1日(日)	26	8	0	34
【猪熊弦一郎展 新しい美-抽象の探究】関連 「フェルトでキャンバスアート」	12月8日(日)・ 14日(土)・15日(日)	0	5	2	7
遊ぼう！お絵かきしりとりと土ねんど	2014年1月4日(土)・5日(日)	12	6	0	18
星座をえがいて 星空アンブレラ	1月18日(土)・25日(土)	1	19	0	20
まぜまぜカラフルキャンドル	2月8日(土)	0	7	0	7
スイート・チョコレートキャンドル	2月9日(日)	0	2	0	2
【あそびのつくりかた】展関連 「モジャモジャ〜けむくじゃら隊！」	3月1日(土)・2日(日)	12	7	0	19
【あそびのつくりかた】展関連 「ふくろの国へようこそ、ふとんの山へようこそ」	3月22日(土)	7	2	0	9
計		457	462	8	927

2014年度

展 覧 会 名	会 期	幼・保	小	中・高	小 計
あそびのつくりかた	4月1日(火)～6月1日(日)	558	791	8	1,357
拡張するファッション	6月14日(土)～9月23日(火・祝)	74	230	15	319
猪熊弦一郎展 形がいっぱい	10月4日(土) ～2015年1月18日(日)	87	168	8	263
開館23周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY	11月23日(日・祝)	30	51	0	81
鈴木理策写真展 意識の流れ	2月1日(日)～3月31日(火)	16	47	5	68
計		765	1,287	36	2,088

ワークショップ名	開催日	幼・保	小	中・高	小 計
【あそびのつくりかた】展関連 「ピッカリ電車で影の旅」	4月5日(土)	0	11	0	11
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	4月19日(土)・20日(日)	78	63	0	141
MIMOCA ぶんぼうぐ工場	5月3日(土・祝)・4日(日・祝)	120	132	5	257
【あそびのつくりかた】展関連 「だるまさんがころんだ」	5月31日(土)・6月1日(日)	0	13	0	13
貼って遊ぼう ペタペタ！おさかなワールド	6月21日(土)・22日(日)	97	37	0	134
世界にひとつの手づくり時計	6月29日(日)	0	46	0	46
さわって、描いて！クリーム絵具でフィンガーペイント	7月5日(土)・6日(日)	40	24	2	66
歩いて楽しい ウキウキ夏サンダル	7月20日(日)～25日(金)	137	76	0	213
【拡張するファッション】展関連 「ファッションの時間」	8月2日(土)～6日(水)	0	0	1	1
星空をつくろう 簡単プラネタライト	8月10日(日)～14日(木)	79	74	0	153
【拡張するファッション】展関連 「ハガキに刺繍」	9月21日(日)	0	0	0	0
ぐるぐるミモカバトンタッチツアー	10月19日(日)	3	10	0	13
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	10月25日(土)・26日(日)	37	19	0	56
ハッピー！ミモカ御守りをつくろう	11月23日(日・祝)	30	33	0	63
【猪熊弦一郎展 形がいっぱい】関連 「オモシロカタチのスタンプハンカチ」	12月7日(日)・14日(日)	0	28	0	28
貼って遊ぼう ペタペタ！クリスマス	12月20日(土)・21日(日)	45	12	0	57
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2015年2月7日(土)・8日(日)	71	0	0	71
【鈴木理策写真展 意識の流れ】関連 「自分で撮る・自分がうつる」	2月22日(日)	0	8	0	8
貼って遊ぼう ペタペタ！じぶんのかたち	3月28日(土)・29日(日)	27	4	0	31
計		764	590	8	1,362

III

教育普及事業

iii 地域連携事業

1 丸亀どこでも MIMOCA

美術館や猪熊弦一郎について学ぶ機会を積極的に提供し、より多くの方に来館してもらうための取り組みとして、2012年度より開始。丸亀市在住あるいは勤務の方を対象とし、地域コミュニティ、老人ホーム、企業等で10名以上が集まれば、当館学芸員が訪問し、「MIMOCA」、「猪熊弦一郎」、「開催中の企画展」のテーマについて、レクチャーを行う。同様に、10名以上の市民が来館した場合も、希望団体にはギャラリートークを開催する。

利用団体

年度	利用団体	美術館内 (団体)	美術館外 (団体)	計	利用人数
2012年度	飯山南コミュニティセンター	0	1	1	25
2013年度	飯野地域づくり推進協議会 国際ソロプチミスト丸亀 めいりん郷土を愛する会 ほか	7	7	14	358
2014年度	丸亀商工会議所女性会 丸亀市社会福祉協議会 グループホームなぎさ 京極ライオンズクラブ ほか	7	15	22	395
		14	23	37	778

2 いのくまバス

2014年10月、丸亀市が公用車として中型バスを購入するにあたり、市民に馴染みの深い当館正面の壁画《創造の広場》の図柄でラッピングした「いのくまバス」を製作した。バスが各種行事に際し市内外を走行することで、猪熊の願いでもあった「アートが染み込んだような、アーティスティックな町になることを望む」という意志を実現していくものである。

2014年10月29日（水）に丸亀市と美術館の主催にて「いのくまバス」お披露目式が執り行われた。主催者・来賓挨拶ののち、当館学芸員が壁画について説明し、丸亀市立城北幼稚園の園児による鼓笛隊演奏や、お笑い芸人のまるがめ→ゼによるいのくま漫才などが披露された。



III

教育普及事業

iv イベント

※料金について記載のないものは無料

パブリックプログラム

いろいろボーダー、風と服。 STORE の物干し市

入場者数 1,018人

日 時 2011年5月3日(火・祝)、4日(水・祝)、5日(木・祝) 12時～16時
会 場 1階ゲートプラザ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 STORE

映画上映&トークショー 石橋義正監督 新作映画「ミロクローゼ」

入場者数 183人

日 時 2013年3月17日(日) 15時～、19日(火) 19時～、20日(水・祝) 15時～
※3月17日のみ上映終了後、石橋義正、船引亜樹(美術デザイン)による
トークショーを開催
会 場 2階ミュージアムホール
料 金 1,300円
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
「ミロクローゼ」製作委員会

Tomoyo Harada 歌と朗読の会 on-doc. (オンドク)

入場者数 162人

日 時 2013年9月28日(土) 19時～
会 場 2階ミュージアムホール
出 演 原田知世(朗読・歌)、伊藤ゴロー(音楽・演奏)
料 金 6,000円(展覧会観覧料含む)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
企画制作 株式会社ション・ハラダ、333DISCS

古澤巖「タイフーンの X'mas」

入場者数 289人

日 時 2013年12月20日(金) 19時～
会 場 2階展示室B
出 演 古澤巖 (ヴァイオリン)、ポール・コレッティ (ヴィオラ)、
フランシス・グトン (チェロ)、フィリップ・ブッシュ (ピアノ)
料 金 A席：7,000円 B席：4,000円
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
婆娑羅みどりのステージ実行委員会
協 賛 ベースキャンプ
協 力 木下グループ、ハッツアンリミテッド

MIMOCA 1日講座 その先の「まち」を考える

入場者数 344人

日 時 2014年3月15日(土) 11時～17時30分
会 場 2階ミュージアムホール
講 師 岡昇平 (仏生山温泉 番台、建築設計事務所岡昇平 代表)、岡本仁 (編集者)、
祁答院弘智 (コミュニティービジネスプランナー、株式会社リレイション 代表)、
長谷川浩己 (ランドスケープアーキテクト、
オンサイト計画設計事務所 パートナー、武蔵野美術大学特任教授)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA 講演会 親密なアーカイヴー私たちの記憶・記録

入場者数 43人

日 時 2014年12月20日(土) 14時～16時30分
会 場 2階美術図書室
講 師 池上裕子 (神戸大学国際文化学研究所准教授)、
松本篤 (remo [NPO法人記録と表現とメディアのための組織])
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

パフォーマンス・プロジェクト PLAY vol. 1 塚原悠也

上演作品「最新都市民族身体操作法」「身体の各パーツに宿る神がそれぞれ骨折をする」
「無意識に毎日事故を回避している男の話」「オナラは断じて映像ではない(!!!)」
「こどもはかわいい」

入場者数 69人

日 時 2015年3月21日(土・祝) 15時～
会 場 2階造形スタジオ
出 演 塚原悠也、阿児つばさ、臼井沙代子
構 成 塚原悠也
音響・映像 松見拓也
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
音響協力 Saito & Co.

ライブイベント SKY

SKY vol.14

入場者数 136人

日 時 2011年5月4日(水・祝) 17時～19時
会 場 3階カフェレスト MIMOCA
出 演 L I V E : 中島ノブユキ、D J : Toshi (Pepe California)
料 金 無料 (要ドリンクオーダー)
主 催 カフェレスト MIMOCA、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 五風十雨、A flowers、TurnTable Jazz、SKY サポート・スタッフ

開館20周年記念イベント 祝20祭 これからもミモカをよろしく SKY スペシャルフリーライブ スチャダラパー

入場者数 3,500人

日 時 2011年11月23日(水・祝) 14時～
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 スチャダラパー、ロボ宙
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 斎藤寿大

開館21周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY SKY スペシャルフリーライブ 羊毛とおはな

入場者数 583人

日 時 2012年11月23日(金・祝) 14時～
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 羊毛とおはな
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 斎藤寿大

開館22周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY SKY スペシャルフリーライブ 曾我部恵一

入場者数 525人

日 時 2013年11月23日(土・祝) 14時～
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 曾我部恵一
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 斎藤寿大

SKY vol.15 蓮沼執太フィル ツアー2014「時が奏でる、そして僕らも奏でる」

入場者数 125人

日 時 2014年3月8日(土) 18時30分～21時
会 場 3階カフェレスト MIMOCA
出 演 L I V E : 蓮沼執太フィル、D J : 藤田崇 (TurnTable Jazz)
料 金 当日3,500円、前売3,000円 (共に展覧会観覧料含む/1ドリンク付)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
カフェレスト MIMOCA、Saito & Co.
協 力 五風十雨、TurnTable Jazz、デザインオフィスコトル、SKY Support Staff

SKY vol.16 青葉市子 アワぶくツアー . 。 ○ ○ ○ 2014

入場者数 88人

日 時 2014年9月6日(土) 19時～21時
会 場 3階カフェレスト MIMOCA
出 演 青葉市子
料 金 当日3,500円、前売3,000円(共に展覧会観覧料含む/1ドリンク付)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
カフェレスト MIMOCA、Saito & Co.
協 力 五風十雨、TurnTable Jazz、デザインオフィスコトル、SKY Support Staff

スクールプログラム

平成23年度 新春年賀版画・絵手紙展

入場者数 2,403人

日 時 2012年2月4日(土)～10日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市造形教育研究会
共 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

平成24年度 新春年賀版画・絵手紙展

入場者数 3,659人

日 時 2013年1月19日(土)～25日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市造形教育研究会
共 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

平成25年度 新春年賀版画・絵手紙展

入場者数 2,974人

日 時 2014年1月11日(土)～17日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市造形教育研究会
共 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

ミモカ・アートカードを使ってみよう! 豊かな表現につなげるために

入場者数 15人

日 時 2014年1月25日(土) ①13時30分～14時30分 ②14時30分～15時30分
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
鑑賞教育について考える会

楽しく体験!ミモカで鑑賞プログラム

入場者数 4人

日 時 2014年5月10日(土) 13時30分～15時
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
鑑賞教育について考える会

平成26年度 新春年賀版画・絵手紙展

入場者数 2,024人

日 時 2015年1月10日(土)～16日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市造形教育研究会
共 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA スクールプログラム講演会 鑑賞からまなぶこと

入場者数 29人

日 時 2015年2月28日(土) 14時～16時30分
会 場 2階造形スタジオ、2階展示室A、2階展示室B
講 師 三澤一実(武蔵野美術大学教授)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
鑑賞教育について考える会

地域連携事業

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.10

MIMOCA The hula festa フラフェスタ

入場者数 600人

日 時 2011年7月24日(日) 13時～20時
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 フラバンド13団体、ニーノアンドゴゴ
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、COS ミュージックフェス実行委員会
協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
国際ソロプチミスト丸亀

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.11

第3回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

入場者数 500人

日 時 2011年9月25日(日) 12時30分～17時
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 ビッグバンド5団体、小池修
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、
丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会
協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館20周年記念イベント 祝20祭 これからもミモカをよろしく 関連イベント
公募展「みんなで選ぶミモカアート賞」

入場者数 3,941人

日 時 2011年10月1日(土)～11月6日(日)、11月23日(水・祝)
会 場 2階造形スタジオ
出品者数 65(組)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
特別協力 丸亀市文化協会

「あ・うんの数寄 大茶会」関連 珠玉の名曲コンサート

入場者数 788人

日 時 2011年10月30日(日) 11時～、13時～、15時～
 会 場 2階ミュージアムホール
 出 演 西垣正信(ギター)、渡邊陽子(二胡)、松浦美恵(ピアノ)
 入 場 料 無料
 主 催 公益財団法人中條文化振興財団、イ・ムジコフィリイ、
 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.12
 まるがめ音楽市場

入場者数 100人

日 時 2011年11月6日(日) 10時～15時
 会 場 1階ゲートプラザ
 出 演 9団体、どさけん、きみともキャンディ
 主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、COS ミュージックフェス実行委員会
 協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館20周年記念イベント 祝20祭 これからもミモカをよろしく

入場者数 15,024人

日 時 2011年11月23日(水・祝) 10時～18時
 会 場 館内各所
 主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
 特別協力 丸亀市文化協会
 協 力 香川県立丸亀高等学校、菊地敦己事務所、斎藤寿大、サーカス堂ふなんびゆる、
 真宗興正派 善照寺、丸亀市立東中学校、丸亀市立南中学校

丸亀市若手芸術家支援事業 「流動」山田果林展

入場者数 2,372人

日 時 2012年2月25日(土)～3月4日(日)
 会 場 2階造形スタジオ
 主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
 公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.13
 MIMOCA ゲートプラザ de 雑貨店

入場者数 1,500人

日 時 2012年3月18日(日) 10時～16時30分
 会 場 1階ゲートプラザ
 出 店 30組、トートコーヒー
 出 演 かとうかなこ
 主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会
 協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.14
MIMOCA The hula festa フラフェスタ

入場者数 1,000人

日 時 2012年8月5日(日) 12時～18時20分
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 フラバンド13団体
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、COS ミュージックフェス実行委員会
協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、
国際ソロプチミスト丸亀

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.15
第4回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

入場者数 400人

日 時 2012年9月16日(日) 12時～17時00分
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 ビッグバンド6団体、宮崎隆陸
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、
丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会
協 力 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

商店街発アニメイベント キャラ☆フェス6

入場者数 280人

日 時 2012年10月20日(土) 11時～17時
会 場 1階ゲートプラザ、丸亀市中央商店街一帯
主 催 キャラフェス実行委員会
共 催 丸亀市中央商店街振興組合連合会
協 力 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀ボランティア協議会、丸亀商工会議所ほか

公募展「第2回 みんなで選ぶミモカアート賞」

入場者数 4,059人

日 時 2012年11月3日(土・祝)～23日(金・祝)
会 場 2階造形スタジオ
出品者数 18(組)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
特別協力 丸亀市文化協会

開館21周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

入場者数 3,378人

日 時 2012年11月23日(金・祝) 10時～18時
会 場 館内各所
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
特別協力 丸亀市文化協会
協 力 株式会社菊地敦己事務所、斎藤寿夫

開館21周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

「guén 猪熊弦一郎」上映会

入場者数 126人

日 時 2012年11月23日(金・祝) 10時～17時
会 場 2階ミュージアムホール

丸亀市若手芸術家支援事業 漆川亜美 ピアノリサイタル

入場者数 225人

日 時 2012年12月9日(日) 14時～
会 場 2階ミュージアムホール
出 演 漆川亜美(ピアノ)、尾崎史彦(ギター)
料 金 一般1,000円、学生500円
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol. 16

MIMOCA The hula festa フラフェスタ

入場者数 891人

日 時 2013年9月1日(日) 12時30分～17時20分
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 フラバンド11団体
主 催 MIMOCA フラフェスタ実行委員会、国際ソロプチミスト丸亀、
COS ミュージックフェス実行委員会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団
共 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol. 17

第5回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

入場者数 925人

日 時 2013年9月22日(日) 12時～17時
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 ビッグバンド6団体、青木秀明
主 催 丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会、
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
共 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会

2012年開催公募展「第2回 みんなで選ぶミモカアート賞」大賞受賞展
井本英樹展 記録・記憶・想像

入場者数 634人

日 時 2013年10月8日(火)～14日(月・祝)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館22周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

入場者数 2,770人

日 時 2013年11月23日(土・祝) 10時～18時
会 場 館内各所
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 斎藤寿大

開館22周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

「guén 猪熊弦一郎」上映会

入場者数 132人

日時 2013年11月23日(土・祝) 10時～18時
会場 2階ミュージアムホール

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.18

丸亀フラフェスタ

入場者数 452人

日時 2014年8月3日(日) 12時～17時30分
会場 1階ゲートプラザ
出演 フラバンド12団体
主催 MIMOCA フラフェスタ実行委員会、国際ソロプチミスト丸亀、
COS ミュージックフェス実行委員会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、
公益財団法人ミモカ美術振興財団
共催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会

MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト vol.19

第6回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

入場者数 630人

日時 2014年9月21日(日) 12時30分～17時00分
会場 1階ゲートプラザ
出演 ビッグバンド5団体、河田健
主催 丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会、
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
共催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会

開館23周年記念日関連「ミモカの小屋」プロジェクト

「ミモカの小屋を考えよう！」

参加者数 12人

日時 2014年10月25日(土) 13時30分～16時30分
会場 2階造形スタジオ
講師 NO ARCHITECTS
主催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館23周年記念日関連「ミモカの小屋」プロジェクト

「ミモカの小屋をつくろう！」

参加者数 105人

日時 2014年11月1日(土)～3日(月・祝) 10時～15時
8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、22日(土) 10時～12時
会場 2階造形スタジオ、1階ゲートプラザ
講師 NO ARCHITECTS
主催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館23周年記念日関連「ミモカ的小屋」プロジェクト
「ミモカ的小屋のおもてなし人になろう！」

参加者数 25人

日 時 2014年11月23日(日・祝) 10時~17時30分
会 場 1階ゲートプラザ
講 師 NO ARCHITECTS
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館23周年記念日関連「ミモカ的小屋」プロジェクト
「ミモカ的小屋に遊びにいこう」

入場者数 2,385人

日 時 2014年11月23日(日・祝) 10時~17時30分
会 場 1階ゲートプラザ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館23周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

入場者数 2,655人

日 時 2014年11月23日(日・祝) 10時~18時
会 場 館内各所
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

開館23周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY
「guén 猪熊弦一郎」上映会

入場者数 96人

日 時 2014年11月23日(日・祝) 10時~18時
会 場 2階ミュージアムホール

III

教育普及事業

V

刊行物一覧

v - i 当館発行

2011年 5月



杉本博司 アートの起源 | 歴史 解説パンフレット

内 容 杉本博司「アートの起源」／杉本博司「夏 歴史」
「スタイライズド スカルプチャー」 「光子的素描」
「勲章で迎える日本の戦争」／松村円「作品解説」
／略歴

編 集 松村円

仕 様 A4 4ページ

デザイン 近藤一弥

印 刷 株式会社オノウエ印刷

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行部数 10,000部

価 格 無料

2011年 8月



杉本博司 アートの起源 | 宗教 解説パンフレット

内 容 杉本博司「アートの起源」／杉本博司「秋 宗教」
「海景五輪塔」／河内田絵美・中田耕市「作品解説」
／略歴

編 集 河内田絵美、中田耕市

仕 様 A4 4ページ

デザイン 近藤一弥

印 刷 株式会社オノウエ印刷

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行部数 10,000部

価 格 無料

2012年 6月



塩田千春 私たちの行方

内 容 作品図版／松村円「塩田千春作品についての一考察」
／作家略歴／主要参考文献／作品リスト

編 集 松村円

翻 訳 アムスタッツ・コミュニケーションズ

写 真 サニー・マンク

仕 様 B4 80ページ

デザイン 池田進吾 (67)

印刷・製本 アベイズム株式会社

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行部数 1,000部

価 格 価格 2,467円 (税込)

2012年10月

石内都 絹の夢
Ishiiuchi Miyako
SILKEN DREAMS



石内都 絹の夢 解説パンフレット

内 容 石内都「纏う絹」／松村円「絹の夢」が見せるもの
／展示風景／略歴／会場図／作品リスト

編 集 松村円

写 真 蔵真墨

仕 様 A4 6ページ

デザイン 中島英樹（中島デザイン）

印 刷 株式会社アイワード

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ
美術振興財団

発行部数 2,000部

価 格 無料

2013年3月



鑑賞教育について考える会 ー丸亀市猪熊弦一郎現代美
術館所蔵作品を活用した鑑賞教材開発ー 報告書
つながる ミモカと教室と

内 容 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館における教育普及事業
について／鑑賞教材ができるまで／鑑賞教材の手引
き／鑑賞教材の貸出状況レポート／授業での実践例
ー鑑賞教材を使用した学習指導案からー／開発者の
声ーつなげよう ミモカと教室とー／ミモカ・ア
ートカードによせて／鑑賞教材の普及に向けて／ご利
用案内

編 集 井上享子（小学校教諭）、太巻佐和子（丸亀市猪熊
弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財
団 元学芸員）、岡本陽子（元小学校教諭）、多田俊
二郎（一般財団法人さぬき生活文化振興財団 代表
理事）、田中明子（中学校教諭）、玉井幸絵（宇多津
町政策調整室）、山西啓子（小学校教諭）

執筆・編集 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ
美術振興財団（中田耕市、畑井恵、平山優子、増田
真理子）

仕 様 A4 32ページ

デザイン b.c.d

印刷・製本 株式会社グラフィック

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ
美術振興財団

発行部数 1,000部

価 格 無料

2014年4月



あそびのつくりかた

内 容 展示風景／作家による書き下ろしテキスト 河井美咲「け」、小沢剛、梅田哲也「ほとんど終わってずっとある」、クワクボリョウタ「この作品について」／国枝かつら「あそびをつくりだす」／作品リスト／会場サイン風景／カフェレスト MIMOCA 展覧会特別メニュー

編 集 国枝かつら

翻 訳 パメラ三木

写 真 細川葉子

仕 様 B5 88ページ

アート・ディレクション 祖父江慎

デザイン 柴田慧 (cozfish)

印刷・製本 アベイズム株式会社

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行部数 800部

価 格 1,620円 (税込)

2014年10月



猪熊弦一郎展 形がいっぱい

内 容 松村円「猪熊弦一郎の形」／年譜／作品リスト

編 集 松村円

仕 様 A4 6ページ

デザイン タナカタツヤ

印 刷 平和写真印刷株式会社

発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

発行部数 2,000部

価 格 無料

v - ii その他関連刊行物

2011年1月



ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー

内 容 榎木野衣『絶命的な写真化—ホンマタカシの「ニュー・ドキュメンタリー」』／展示作品図版／作品解説＋作品リスト／エレン・フライス「ホンマタカシのかなしみ」／フランチェスコ・ザノ「タブラ・ラサー《Tokyo and My Daughter》＋《Widows》のディスクール」／堀元彰「被写体としての子ども—ホンマタカシの初期作品をめぐって」／年譜／主要写真集／巻末付録

朝日新聞社企画事業本部文化事業部、澤田陽子 (オシリス)

編 集 石塚雅人、富田美佐子、ルーカス・バデキーバルコ、山本友来、藤川望、ホンマタカシ写真事務所

翻 訳 フランツ・K・プリチャード、スタンレー・N・アングソン、林央子、ブルース・ベンダソン、福士理 (公益財団法人東京オペラシティ文化財団)、高木友絵 (朝日新聞社)

仕 様 A4変型 240ページ

デザイン 服部一成、山下ともこ

印刷・製本 株式会社大伸社

発 行 朝日新聞社

価 格 2,571円 (税込)

I S B N 978-4-900050-56-3

2012年1月



杉本博司 アートの起源

内 容 序文／アートの起源／光学硝子五輪塔／いにしへの景色／冷たい眼と熱い眼／宝物の記憶／魔の差す場／写真学 事始め／落ち着いた暮らし／観念の形／おだはら／鸚鵡島の鳥籠／天使来迎図／歪曲的宙感／時の浮き橋／三夕茶会／今冥途／落石注意／高松宮殿下記念世界文化賞を受賞して／対談 杉本博司×中沢新一「歴史の歴史」／あとがき

著 者 杉本博司
 仕 様 A 5 224ページ
 デザイン 新潮社装幀室
 印 刷 大日本印刷株式会社
 製 本 大日製本印刷株式会社
 発 行 株式会社新潮社
 価 格 2,808円（税込）
 I S B N 978-4-10-478103-4

2012年7月



物物

収 集 猪熊弦一郎
 撮 影 ホンマタカシ
 スタイルング 岡尾美代子
 エッセイ 堀江敏幸
 編集・デザイン 菊地敦己
 編集・注釈 古野華奈子（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団）
 監 修 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
 仕 様 A 5 224ページ
 印 刷 株式会社山田写真製版所
 発 行 ブックピーク（株式会社菊地敦己事務所）
 価 格 3,024円（税込）
 I S B N 978-4-902519-06-8

2012年10月



石内都 絹の夢

内 容 作品図版／沢辺満智子「繭に眠る女たち」／タカザワケンジ「繭から紡がれた日本の近代」／養崎昭子「絹鳴りの桐生」／石内都「纏う絹」／作品リスト
 著 者 石内都
 企画・編集 沖本尚志
 編集協力 森かおる（青幻舎）
 仕 様 A 4 144ページ
 アート・ディレクション&デザイン 中島英樹
 デザイン・アシスタント 三牧広宜
 印 刷 株式会社アイワード
 発 行 株式会社青幻舎
 価 格 4,104円（税込）
 I S B N 978-4-86152-371-7

2013年 5月



フランシス・アップリチャード ポテトポエム

- 内 容 作品リスト／国枝かつら「ポテトポエムノート—正直な《うそつき》をめぐって」／作家略歴／サイモン・スターリング「こころの眼もて見よ（借用、翻案、「ディスロキューション」について）または（ミズ・翻訳のためのイメージ数枚）」／デイヴィッド・ミッチェル「オール・ソウルズ・デイ（諸魂日）」
- 著 者 フランシス・アップリチャード
- 編 集 中村水絵（有限会社フォイル）、国枝かつら（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団）
- 翻 訳 中川千帆、アルフレッド・バーンバウム
- 仕 様 A 5変型 112ページ
- アート・ディレクション&デザイン Abake、三輪将己
- 印刷・製本 アベイズム株式会社
- 発 行 有限会社フォイル
- 価 格 2,700円（税込）
- I S B N 978-4-902943-83-2

2014年 5月



拡張するファッション ドキュメント

- 内 容 展示風景／創造するエネルギーへ「拡張するファッション」展 開催にむけて／作家たちと林央子との対話Q&A／バスカル・ガテン×林央子×山口ゆかり×山内未央「オープニングトーク」／ホンマタカシ×林央子「ザ・フューチャー」アフタートーク」／FORM ON WORDS レポート／神田恵介と浅田政志による卒業写真ふたつのプロジェクト／古野華奈子「作家プロフィール&展示紹介」／展示作品リスト＋水戸会場マップ／『拡張するファッション』からの15の断片／高橋瑞木「ファッションは人生の伴走者」／あたらしい世界へ／謝辞
- 編 著 林央子
- 編集制作 稲葉将樹（DU BOOKS）
- 翻 訳 ダリル・ジングウエン・ウィー、ゾイ・ジャーロン・イエ、江口研一
- 英文校閲 ステイブン・スプロット、マエ・コルバーン
- 写 真 ホンマタカシ、松本美枝子、細川葉子
- 監 修 高橋瑞木（水戸芸術館現代美術センター主任学芸員）
- 仕 様 A 4 192ページ
- アート・ディレクション&デザイン 服部一成
- 印刷・製本 印刷・製本 大日本印刷
- 発 行 DU BOOKS
- 価 格 2,700円（税込）
- I S B N 978-4-907583-07-1

2014年9月



大竹伸朗展 ニューニュー

- 内 容 表紙／インスタレーション・シート／コラージュ、
ドローイング／油彩／テキスト（大竹伸朗「ニュー
ニュー」／中田耕市「大竹伸朗の現在」）、略歴、参
考文献／DVD 展示風景
- 編 集 中田耕市（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団
法人ミモカ美術振興財団）
- 翻 訳 アルフレッド・バーンバウム
- 写 真 山本真人
- 監 修 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館／公益財団法人ミ
モカ美術振興財団
- 仕 様 A4変型 シート、冊子（B5 48ページ、A5変
型 32ページ、A5 32ページ）、DVD
- デザイン エディション・ノルト（秋山伸、小原亘、本田剛、
阿部原己）
- 印刷・製本 株式会社サンエムカラー
- 発 行 エディション・ノルト
- 価 格 3,024円（税込）
- ISBN 978-4-9906656-6-1

2015年2月



鈴木理策写真展 意識の流れ

- 内 容 鈴木理策「意識の流れ」／清水穰「断念と固執：鈴
木理策の写真」／作品図版1 海と山のあいだ／植
島啓司「鈴木理策と風景」／作品図版2 SAKURA
／対談 倉石信乃×鈴木理策「写真という経験のた
めに」／作品図版3 White／作品図版4 水鏡／
作品図版5 Étude／佐山由紀「視覚の鏡：鈴木理
策の写真について」／古野華奈子「見尽くせない美
しさ」／作品リスト／略歴／参考文献
- 編 集 鈴木理策、古野華奈子（丸亀市猪熊弦一郎現代美術
館、公益財団法人ミモカ美術振興財団）、松村円（丸
亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美
術振興財団）、佐山由紀（公益財団法人東京オペラ
シティ文化財団）
- 翻 訳 築地正明、D・マックス・ムアマン、ルーシー・ノ
ース、ブライアン・アムスタッツ
- 仕 様 A4変型 258ページ
- デザイン エディション・ノルト（秋山伸、鈴木かおり）
- 印刷・製本 株式会社サンエムカラー
- 発 行 エディション・ノルト
- 価 格 4,860円（税込）

III

教育普及事業

vi 美術図書室利用状況

2011年度（平成23年度）

月	入室者	累計	日数	平均
2011年 4月	243	243	30	8
5月	256	499	18	14
6月	173	672	30	6
7月	230	902	31	7
8月	479	1,381	26	18
9月	317	1,698	30	11
10月	339	2,037	31	11
11月	247	2,284	7	35
12月	0	2,284	0	0
2012年 1月	0	2,284	0	0
2月	192	2,476	26	7
3月	227	2,703	19	12

248日 2,703人（平均 11人）

2012年度（平成24年度）

月	入室者	累計	日数	平均
2012年 4月	334	334	30	11
5月	238	572	31	8
6月	218	790	30	7
7月	282	1,072	19	15
8月	377	1,449	31	12
9月	251	1,700	23	11
10月	137	1,837	26	5
11月	230	2,067	30	8
12月	126	2,193	24	5
2013年 1月	171	2,364	25	7
2月	141	2,505	28	5
3月	208	2,713	31	7

328日 2,713人（平均 8人）

2013年度（平成25年度）

月	入室者	累計	日数	平均
2013年 4月	205	205	22	9
5月	201	406	31	6
6月	190	596	30	6
7月	182	778	19	10
8月	498	1,276	31	16
9月	296	1,572	30	10
10月	1,528	3,100	31	49
11月	562	3,662	19	30
12月	100	3,762	24	4
2014年 1月	177	3,939	31	6
2月	127	4,066	16	8
3月	336	4,402	31	11

315日 4,402人（平均 14人）

2014年度（平成26年度）

月	入室者	累計	日数	平均
2014年 4月	222	222	30	7
5月	265	487	31	9
6月	144	631	18	8
7月	169	800	31	5
8月	285	1,085	31	9
9月	150	1,235	23	7
10月	142	1,377	28	5
11月	226	1,603	30	8
12月	147	1,750	24	6
2015年 1月	161	1,911	26	6
2月	223	2,134	28	8
3月	237	2,371	30	8

330日 2,371人（平均 7人）

III

教育普及事業

vii MIMOCA FRIEND (ミモカフレンド)

美術館で開催する展覧会、講演会などの事業を通して、猪熊芸術及び内外の現代美術に親しむことを目的として1995年4月に発足した。MIMOCA FRIEND（ミモカフレンド）という名称は猪熊が考案したものである。

2013年7月より、会員の種類を個人、ペア、法人と新たに設定し、特典や年会費、会員期間も変更した（旧制度については年報2009-2010参照）

会員特典

特典／会員証発行枚数	個人会員／1枚	ペア会員／2枚	法人会員／5枚
常設展の鑑賞無料（会員証提示）	○	○	○
企画展招待券（企画展毎）	2枚	4枚	10枚
美術館の情報お届け	○	○	○
ミュージアムショップの利用10%OFF	○	○	○
カフェレスト MIMOCA の利用10%OFF	○	○	○
高松市美術館主催の展覧会観覧料2割引	○	○	○
企画展カタログの送付（企画展毎）	—	—	1冊
内覧会・レセプションへの招待	—	—	○
法人名を当館ホームページ等に記載	—	—	○

会員期間

入会受付月から1年間

（ご入会日から翌年の同月末日まで）

年会費

個人会員 3,000円

ペア会員 5,000円

法人会員 30,000円

会員数

2011 - 2012年度会員（旧制度） 147名

2012 - 2013年度会員（旧制度～2014年3月） 75名

2013年度会員（新制度2013年7月～）

個人230名、ペア28組56名、法人8社

2014年度会員 個人221名、ペア29組58名、法人9社



会員募集案内



会員証

IV 美術作品整理・管理

i 貸出し

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2011年度（平成23年度）						
少年	1922	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	平塚市美術館、 下関市立美術館、 碧南市藤井達吉現代美 術館、足利市 立美術館、美 術館連絡協 会	2011年4月 4日～11月 19日	「画家たちの二十歳の 原点」 会期:4月16日～6月12日 会場:平塚市美術館 会期:6月18日～7月31日 会場:下関市立美術館 会期:8月9日～9月19日 会場:碧南市藤井達吉現代美 術館 会期:9月25日～11月13日 会場:足利市立美術館
自画像	1925		油彩・カンヴァス			
二人	1936	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	神戸市立小磯 記念美術館、 川越市立美術 館	2011年9月 30日～2012 年3月27日	「昭和モダン 藤島武 二と新制作初期会員た ち」 会期:10月15日～ 2012年1月9日 会場:神戸市立小磯記念美術 館 会期:2012年1月28日～ 3月20日 会場:川越市立美術館
黄昏	1937		油彩・カンヴァス			
昼	1937		油彩・カンヴァス			
夜	1937		油彩・カンヴァス			
長江埠の子供達	1941		油彩・カンヴァス			
黄色いスカートの婦人	1946		油彩・カンヴァス			
2012年度（平成24年度）						
少年	1922	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	中札内美術村 相原求一朗美 術館	2012年4月 10日～11月 13日	「師弟交響 - 猪熊弦一 郎・相原求一朗」 会期:4月25日～11月4日 会場:相原求一朗美術館
眠れる女	1927		油彩・カンヴァス			
二人	1931		油彩・カンヴァス			
パレットを持てる女（一）	1931		油彩・カンヴァス			
魚と女	1939		油彩・カンヴァス			
K君の像	1939		油彩・カンヴァス			
青い服	1949		油彩・カンヴァス			
立てるダンスーズ	1947		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
馬と道化	1955		油彩・カンヴァス			
City Planning Yellow No. 1	1968		アクリル・カンヴァス			
Landscape Green A	1976		アクリル・カンヴァス			
ピンク・丸・角	1977		アクリル・カンヴァス			
明るい遊歩	1983		アクリル・カンヴァス			

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸 出 先	貸出期間	展覧会名等
2012年度（平成24年度）						
ロボットの休日	1984	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	中札内美術村 相原求一郎美術館	2012年4月 10日～11月 13日	「師弟交響・猪熊弦一郎・相原求一郎」 会期:4月25日～11月4日 会場:相原求一郎美術館
二つの門	1987		アクリル・カンヴァス			
顔31	1989		アクリル・カンヴァス			
裸子1 顔40 鳥6	1991		アクリル・カンヴァス			
鳥とカイト	1992		アクリル・カンヴァス			
飛ぶ日のよろこび	1993		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1911頃	猪熊弦一郎	インク・紙	美術館連絡協 議会	2012年7月 21日～11月 7日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期:7月26日～9月9日 会場:そごう美術館 会期:9月15日～11月4日 会場:刈谷市美術館
題名不明	1911頃		鉛筆・紙			
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1912頃		水彩、鉛筆・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
題名不明	1917		鉛筆・紙			
題名不明	1919		鉛筆・紙			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1924		墨、バステル・紙			
自画像	1924		墨、バステル・紙			
自画像	1924		墨、バステル・紙			
自画像	1924		墨・紙			
自画像	1925		油彩・カンヴァス			
着物の婦人	1930		油彩・カンヴァス			
S君の像	1939		油彩・カンヴァス			
サクランボ	1939		油彩・カンヴァス			
セロを弾く男	1939		油彩・カンヴァス			
妻と手袋	1939		油彩・カンヴァス			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
黄色いスカート	1946		油彩・カンヴァス			
猫達	1953		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		ミクストメディア			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
道	1964		油彩・カンヴァス			
桃色の地図	1966		アクリル・カンヴァス			
The City (Green No. 1)	1968		アクリル・カンヴァス			
驚く可き風景(A)	1969	アクリル・カンヴァス				
自画像	1970	インク・紙				
Landscape	1971	アクリル・カンヴァス				
風景	1972	アクリル・カンヴァス				
題名不明	1976	アクリル、インク・紙				
ニューヨーク九十五丁目の矢じるし	1979	アクリル・カンヴァス				
自由の住む都市	1980	アクリル・カンヴァス				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2012年度（平成24年度）						
夜を飛ぶ	1980	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	美術館連絡協議会	2012年7月 21日～11月 7日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期: 7月26日～9月9日 会場: そごう美術館 会期: 9月15日～11月4日 会場: 刈谷市美術館
宇宙は機械の運動場 No. 1	1981		アクリル・カンヴァス			
安定する機械	1981		アクリル・紙			
都市誕生	1981		アクリル・紙			
スペース都市 C	1982		アクリル・カンヴァス			
面白い仲間	1982		アクリル・紙			
構造と遊び	1982		アクリル・紙			
星座からの返信	1983		アクリル・カンヴァス			
子供と発見	1984		アクリル・カンヴァス			
緑の太陽と煙	1984		アクリル・紙			
五月金曜日	1985		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		鉛筆・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
明るい集落	1986		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
パードライブ	1986		アクリル、鉛筆、 コラージュ・紙			
題名不明	1986		鉛筆・紙			
金環食	1987		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1988		アクリル・紙			
題名不明	1988		パステル・紙			
顔25	1988		インク・紙			
顔35	1989		アクリル・カンヴァス			
顔80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔15	1989		アクリル・カンヴァス			
Faces 80	1989		アクリル・カンヴァス			
帰る 太陽のもとへ	1989		アクリル・紙			
顔9	1989		アクリル、鉛筆・紙			
題名不明	1989		パステル・紙			
題名不明	1989		パステル・紙			
題名不明	1989	インク・紙				
題名不明	1989	インク・紙				
題名不明	1989	インク・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2012年度（平成24年度）						
題名不明	1989	猪熊弦一郎	鉛筆・紙	美術館連絡協議会	2012年7月 21日～11月 7日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期:7月26日～9月9日 会場:そごう美術館 会期:9月15日～11月4日 会場:刈谷市美術館
題名不明	1990		アクリル・紙			
題名不明	1990		インク、鉛筆・紙			
合唱	1990		インク、鉛筆・紙			
鳥達の隣人	1990		鉛筆・紙			
顔2猫2鳥8	1991		アクリル・カンヴァス			
黒鳥の休日	1991		アクリル・カンヴァス			
草	1991		アクリル・紙			
Love Birds	1991		アクリル・紙			
題名不明	1991		アクリル、インク、 コラーージュ・紙			
題名不明	1991		鉛筆・紙			
題名不明	1991頃		パステル・紙			
顔 ブルーの中	1992		アクリル・発 砲スチロール			
顔青	1992		アクリル・カンヴァス			
顔バック緑	1992		アクリル・カンヴァス			
顔11（K）	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル、インク・紙			
題名不明	1992		鉛筆、コンテ・紙			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992頃		パステル・紙			
夜明けの鳥達	1993		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1993		アクリル、鉛筆・紙			
題名不明	1993		鉛筆・紙			
鶏と鳥達	1993		鉛筆・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳	インク・紙				
題名不明	不詳	インク・紙				
題名不明	不詳	鉛筆・紙				
題名不明	不詳	鉛筆・紙				
対話彫刻	—	—	ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション	—	—	—			

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2012年度（平成24年度）						
真鍮網による椅子	1950	猪熊弦一郎	真鍮網・革・カンヴァス	東京国立近代美術館	2012年9月26日～2013年1月23日	「美術にぶるっ！ ベストセレクション 日本近代美術の100年 第二部 “実験場1950s”」 会期:10月16日～ 2013年1月14日 会場:東京国立近代美術館
スツール	1950		木・鉄			
テーブル	1953		木・紐・鉄・塩ビ板			
2013年度（平成25年度）						
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館建築模型	—	植野石膏模型製作所	—	香川県政策部文化振興課	2013年7月8日～9月30日	「丹下健三 伝統と創造 瀬戸内から世界へ」 会期:7月20日～9月23日 会場:香川県立ミュージアム
青衣	1930	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	公益財団法人東日本鉄道文化財団、松坂屋美術館、中日新聞	2014年3月14日～7月14日	光風会100回記念展 「洋画家たちの青春—白馬会から光風会へ」 会期:3月21日～5月6日 会場:東京ステーションギャラリー 会期:6月14日～7月6日 会場:松坂屋美術館
2014年度（平成26年度）						
題名不明	1912頃	猪熊弦一郎	水彩、鉛筆・紙	一般財団法人筆の里振興事業団、小金井市立はげの森美術館、公益財団法人大垣市文化事業団	2014年5月26日～10月29日	「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 猪熊弦一郎展 どんなことをしても僕なんだ」 会期:5月30日～7月6日 会場:筆の里工房 会期:7月19日～9月7日 会場:小金井市立はげの森美術館 会期:9月13日～10月26日 会場:大垣市ストピアセンターアートギャラリー
題名不明	1917		水彩、鉛筆・紙			
雪の道	1923頃		油彩・板			
自画像	1925		油彩・カンヴァス			
椅子にすわる女	1930		コンテ・紙			
パレットを持つ女	1931		油彩・カンヴァス			
自動車の中の家族	1938		油彩・カンヴァス			
藤田嗣治像	1938		インク・紙			
オ シャレ ドウ ラ ビュット	1939頃		インク、パステル、紙			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
屋根の上 Paris	1940		油彩・カンヴァス			
長江埠の子供達	1941		油彩・カンヴァス			
風景	1943		インク、パステル、紙			
題名不明	1945頃		油彩・カンヴァス			
青い服	1949		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
馬と道化	1955		油彩・カンヴァス			
音のあそび	1961		油彩・カンヴァス			
驚く可き風景（A）	1969		アクリル・カンヴァス			
Landscape	1971		アクリル・カンヴァス			
手の中の小さな丸	1977		アクリル・紙			
題名不明	1977		アクリル・紙			
題名不明	1978		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1978	アクリル・カンヴァス				
Two Metal Spaces	1978	アクリル・板				

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸 出 先	貸出期間	展覧会名等
2014年度（平成26年度）						
Four Circles	1978	猪熊弦一郎	アクリル・板	一般財団法人 筆の里振興事 業団、小金井 市立はげの森 美術館、公益 財団法人大垣 市文化事業団	2014年5月 26日～10月 29日	「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 猪熊弦一郎展 どうなことをしても僕なんだ」 会期:5月30日～7月6日 会場:筆の里工房 会期:7月19日～9月7日 会場:小金井市立はげの森美術館 会期:9月13日～10月26日 会場:大垣市サイトピアセンター アートギャラリー
Seven Metals	1978		アクリル・板			
Blade	1978		アクリル・板			
楽しい風	1978		アクリル・紙			
あっと言ふ間に出来た砂漠市	1981		アクリル・発泡スチロール			
Hands Finger 6	1982		アクリル・紙			
星座からの返信	1983		アクリル・カンヴァス			
二羽の鳥	1984		アクリル・紙			
題名不明	1985		墨・紙			
パイピングの集合（A）	1986		アクリル・紙			
白い公園遊地	1986		アクリル・紙			
馬と裸婦	1986		アクリル・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
宇宙都市計画	1987		アクリル・カンヴァス			
ボールペン集合	1987		アクリル・紙			
指紋とアンテナ	1987		アクリル・紙			
鉛の都市	1987		アクリル・紙			
顔31	1989		アクリル・カンヴァス			
ヴィナス二人	1990		アクリル・カンヴァス			
カツカツ歩く	1990		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1990		鉛筆・紙			
題名不明	1990		インク・紙			
顔2 猫2 鳥8	1991		アクリル・カンヴァス			
青の顔	1992		アクリル・紙			
顔 ブルーの中	1992	アクリル・発泡スチロール				
夜明けの鳥達	1993	アクリル・カンヴァス				
「デモクラシー」 慶應義塾大学 学生ホール (現 西校舎学生食堂) 壁画 原画	1949	水彩、鉛筆・紙				
「自由」 国鉄上野駅 中央ホール (現 JR上野駅グランド コンコース) 壁画 原画	1951	インク、鉛筆・トレーシングペーパー				
「都市・窓」 東京會館 本館1階ロビー モザイク壁画 案	1971	アクリル、鉛筆・紙				
「21世紀に贈るメッセージ」 香川県県民ホール本館 エントランスホール1・2 階吹抜け部分壁画 案	1985	アクリル、鉛筆・紙				
三越包装紙「華ひらく」型紙	1950	水彩、インク・紙				
「華ひらく」のモチーフ となった石	—	—				
真鍮網による椅子	1950	真鍮網、革、鉄				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2014年度（平成26年度）						
アケサイドテーブル	1953	猪熊弦一郎	アケビ材、鉄	一般財団法人 筆の里振興事 業団、小金井 市立はげの森 美術館、公益 財団法人大垣 市文化事業団	2014年5月 26日～10月 29日	「丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館所蔵作品によ る 猪熊弦一郎展 ど んなことをしても僕な んだ」 会期:5月30日～7月6日 会場:筆の里工房 会期:7月19日～9月7日 会場:小金井市立はげの森美術 館 会期:9月13日～10月26日 会場:大垣市スィトピアセンター アートギャラリー
真鍮網による椅子	1954		真鍮網、革、鉄			
黒い髪 『小説新潮』 1950年5月号表紙絵	1950		水彩・紙			
題名不明 『小説新潮』 1950年12月号表紙絵	1950		水彩、クレ パス・紙			
デイト 『小説新潮』 1959年9月号表紙絵	1959		水彩・紙			
タクシー 『小説新潮』 1960年5月号表紙絵	1960		水彩・紙			
新聞屋のおやじ 『小説新 潮』 1961年9月号表紙絵	1961		水彩・紙			
クリスマスタイム 『小説新 潮』 1970年12月号表紙絵	1970		水彩・紙			
有楽町西武ポスター AD 田中一光/C糸井重里	1986	猪熊弦一郎画	オフセット 印刷・紙	猪熊弦一郎装丁	1942	書籍
有楽町西武ポスター AD 田中一光/C糸井重里	1986	オフセット 印刷・紙				
『モズの靴屋さん 創作童 話集』松本恵子著	1942	書籍				
『花紋』大佛次郎著	1947	書籍				
『武蔵野夫人』大岡昇平著	1950	書籍				
『遠乗會』三島由紀夫著	1951	書籍				
『華岡青洲の妻・恍惚の 人』有吉佐和子著	1978	書籍				
猪熊弦一郎のコレクション	—	—	—			
City Planning Yellow No. 1	1968	猪熊弦一郎	アクリル・ カンヴァス	公益財団法人 大垣市文化事 業団	2014年9月 4日～10月 29日	「丸亀市猪熊弦一郎現 代美術館所蔵作品によ る 猪熊弦一郎展 ど んなことをしても僕な んだ」 会期:9月13日～10月26日 会場:大垣市スィトピアセンター アートギャラリー
Faces 80	1989		アクリル・ カンヴァス			
対話彫刻	—		ミクストメ ディア			
猫と食卓	1952	猪熊弦一郎	油彩・カン ヴァス	横須賀美術館	2014年8月 22日～11月 12日	「おいしいアート 食 と美術の出会い」 会期:9月13日～11月3日 会場:横須賀美術館
絹の夢#13 解し緋銘仙 桐生 2011	2012	石内都	タイプCプリ ント	前橋市	2014年9月 8日～2015 年2月6日	「服の記憶—私の服は 誰のもの？」 会期:10月10日～ 2015年1月13日 会場:アーツ前橋
絹の夢#20 半併用緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#24 解し緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#25 半併用緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#57 解し緋銘仙 桐生 2011						

作 品 名	制作年	作者	技法・材質	貸 出 先	貸出期間	展覧会名等
2014年度（平成26年度）						
絹の夢#68 解し緋銘仙 秩父 2011	2012	石内都	タイプCプリント	前橋市	2014年9月 8日～2015 年2月6日	「服の記憶－私の服は 誰のもの？」 会期:10月10日～ 2015年1月13日 会場:アーツ前橋
絹の夢#88 併用緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#102 渡良瀬川 桐生 2011						
絹の夢#21 解し緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#58 併用緋銘仙 桐生 2011						
絹の夢#78 碓氷製糸 安中 2011						
絹の夢#101 後藤織物 桐生 2011						
窓	1984	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	みずのき美術館	2014年10月 30日～2015 年1月18日	「TURN／陸から海 へ（ひとがはじめから もっている力）」 会期:11月8日～ 2015年1月12日 会場:みずのき美術館
映画「生きる」プレスシート案	1952	猪熊弦一郎	クレパス・紙	世田谷美術館	2015年2月 8日～4月 23日	「東宝スタジオ展 映画＝創造の現場」 会期:2015年2月21日～ 4月19日 会場:世田谷美術館

V

その他事業

i ミュージアムショップ

ミュージアムショップは1階エントランスホールに設けられている。商品は全てオリジナルであり、当初猪熊弦一郎自らグッズ製作に携わった。猪熊の「街では売ってないもの、美術館だからあるもの」を提供するという姿勢を受け継ぎ、作品をもとにした商品を新しく開発している。

■卓上カレンダー

毎年テーマを決めて、猪熊弦一郎作品を各月の図版に選び好評を得ている。2012年度版では「鳥」をモチーフにした作品、2013年度版では1980年に描いたスケッチブックから選んだ作品、2014年度版では「裸婦」をモチーフにした作品、2015年度版ではハワイ滞在時に描かれた作品それぞれ12点を掲載した。

2012年卓上カレンダー

価格 1,000円

サイズ 210×120mm 上部リング止め、ハンガー付

2013年卓上カレンダー

価格 1,000円

サイズ 225×120mm 上部リング止め、ハンガー付

2014年卓上カレンダー

価格 1,000円

サイズ 180×120mm 上部リング止め、ハンガー付

2015年卓上カレンダー

価格 1,028円

サイズ 225×120mm 上部リング止め、ハンガー付



2012年卓上カレンダー



2013年卓上カレンダー



2014年卓上カレンダー



2015年卓上カレンダー

■Tシャツ

2014年度、菊地敦己デザインにより、猪熊弦一郎による猫の線描をプリントしたTシャツを開発した。基本色に加え、限定色も製作。

いのくま猫Tシャツ（ギザギザ猫）、（猫と2匹の魚）

価格 3,240円

サイズ 男女兼用M・L レディースM・L

キッズサイズ（ギザギザ猫のみ）

素材 綿100%（ホワイト、ナチュラル、ピンク、ブルー）、綿80% ポリエステル20%（グレー）

色 ホワイト、グレー、ナチュラル（限定色）、ピンク*、ブルー*

*キッズサイズ（ギザギザ猫）のみ

使用作品 ギザギザ猫：《題名不明》1985年

猫と2匹の魚：《題名不明》1985年



■手ぬぐいハンカチ

2014年度、菊地敦己デザインにより、猪熊弦一郎による猫の線描を染めた手ぬぐいハンカチを開発した。

手ぬぐいハンカチ（猫13）、（猫列）

価格 1,296円

サイズ 350×410mm

素材 綿100%

色 ホワイト、ピンク

使用作品 猫13：《題名不明》1987年

猫列：《題名不明》1971年



■ポストカード

2011年度～2014年度は10枚のポストカードを新たに製作した。

2011年度ポストカード

《題名不明》 1992年 顔ワンピース

価格 105円

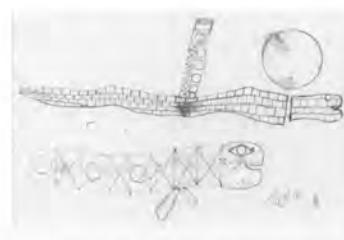
2012年度ポストカード

《題名不明》 1990年 長い生き物たち

価格 105円



2011年度ポストカード
《題名不明》 1992年 顔ワンピース



2012年度ポストカード
《題名不明》 1990年 長い生き物たち

2013年度ポストカード

《題名不明》 1987年 馬とピンクのドレス

価格 105円

《題名不明》 1986年 馬と猫

価格 105円

《新馬》 1986年

価格 105円



2013年度ポストカード

《題名不明》 1987年 馬とピンクのドレス

2014年度ポストカード

《題名不明》 1985年 動物たち10

価格 108円

《題名不明》 1945年 猫6 デッサン

価格 108円

《題名不明》 年代不明 猫と鳥たち

価格 108円

《題名不明》 年代不明 猫逃げて行く

価格 108円

《題名不明》 年代不明 猫・緑

価格 108円



2014年度ポストカード

《題名不明》 1985年 動物たち10

■その他

2011年度、猪熊の使用していたスタンプをあしらったシールを製作。

スタンプシール (貝)、(ヘビ・全体)、(ヘビ・顔)、
(ハート)

価格 210円

※価格は発売開始時の税込金額を記載した

V

その他事業

ii

カフェ

カフェレスト・ミモカは、2006年3月まで財団法人ミモカ美術振興財団の直営であったが、2006年4月より株式会社ブルーマークに営業委託することとなった。1998年から始まった展覧会ごとの特別メニューは引き続き提供され、来館者の好評を博している。

2011年度

「杉本博司 アートの起源 | 歴史」

「杉本博司 アートの起源 | 宗教」

■五輪の塔とほうじ茶オレ

「塩田千春 私たちの行方」

■メニュー名なし

笹舟の上に抹茶チョコ、フルーツ

2012年度

「ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー」

■homma ni Burger (ドリンク付き)

ビスキュイのバンズにレアチーズクリームとフルーツをサンドしフランボワーズのソースをかけたバーガー、ポテトに見立てたリング

「物物」

■Butsu Butsu サンデー

はちみつのアイス、パッションフルーツのソルベ、キウイのグラニテ



撮影：藤田一浩

「石内都 絹の夢」

■MAYUYU

メレンゲにマロンクリームを乗せたモンブラン、わた菓子

「猪熊弦一郎展 変化と不変」

■チョコのタルト

2種類のチョコレートを使ったタルト



2013年度

「MIMOCA'S EYE vol. 3

フランス・アップリチャード展 ポテトポエム」

■フランス フルール

2種類のベリーを使ったフルール

「大竹伸朗展 ニューニュー」

■モンシェリー

宇和島名物じゃこ天に似せたスペイン風揚げ菓子、黒蜜と抹茶クリーム



「猪熊弦一郎展 丸亀とともに

—香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に」

■いのくまさんと、りんご

ホワイトチョコのムースに紅玉りんごのコンポート、フランボワーズのソース、和三盆
(香川県立丸亀高等学校との共同開発)



「あそびのつくりかた」

■Am I aRty?

フランボワーズのソルベとイチゴミルクアイス、メレンゲ、チョコレートクッキー

■世界と繋がる LOVE ふとん山

フロマージュ、スポンジ

■クラシックライト

クラシックショコラ

■奏でるビタミンドリンク

生搾りの柑橘氷とビタミンゼリー、トニックウォーター

2014年度

「拡張するファッション」

■4種のジェラート

ココナッツライムハニーアイス、パイナップルのソルベ、桃のソルベ、キャラメルアイス、克蘭ブル、くるみのヌガー、季節の果物



■ベリーの果実ドリンク

自家製ブルーベリーシロップ、赤いゼリー、炭酸水

「鈴木理策写真展 意識の流れ」

■玉響 たまゆら

桜のモンブラン

VI

入館者状況

2011年度（平成23年度）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数(人)	平均(人/日)
2011年4月1日～5月15日	杉本博司 アートの起源 建築	45	9,008	200
2011年5月29日～8月21日	杉本博司 アートの起源 歴史	85	13,866	163
2011年8月28日～11月6日	杉本博司 アートの起源 宗教	71	10,657	150
2012年2月4日～3月4日	猪熊弦一郎展 手の中の小さな言葉一紙に描いた作品から	30	3,396	113
2012年3月18日～3月31日	塩田千春 私たちの行方	14	2,240	160
企画展計		245	39,167	160
2011年4月1日～5月15日	常設展 猪熊弦一郎展 身体表現	45	9,282	206
2011年5月29日～8月21日	常設展 猪熊弦一郎展 異質なものの同士のバランス	85	14,467	170
2011年8月28日～11月6日	常設展 猪熊弦一郎展 色面による分割	71	11,378	160
2012年2月4日～3月4日	常設展 猪熊弦一郎展 初期から晩年まで	30	3,459	115
2012年3月18日～3月31日	常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨーク時代の作風の変遷	14	2,337	167
常設展計		245	40,923	167
計			80,090	

※2011年11月7日～2012年2月3日の期間は空調設備等の改修工事のため休館した

教育普及事業

	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数(人)	平均(人/回)
ワークショップ	21	39	5,223	134
学校団体での来館	132		4,189	
鑑賞教育について考える会	7	7	34	5
教員向け研修会	3	3	18	6
博物館実習	1	6	9	
職場体験	2	3	6	
ミモカキッズパスポート			297	
イベント	12	65	31,882	490
美術図書室		248	2,703	11
展覧会関連プログラム	65	59	10,552	179
計	243	430	54,913	

※展覧会関連プログラムには、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる

2012年度（平成24年度）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数(人)	平均(人)
2012年4月1日～7月1日	塩田千春 私たちの行方	92	9,299	101
2012年7月15日～9月23日	ホンマタカシ ニュー・ドキュメンタリー	71	16,584	234
2012年7月15日～9月23日	物物	71	16,584	234
2012年10月7日～2013年1月6日	石内都 絹の夢	85	11,080	130
2013年1月13日～3月31日	猪熊弦一郎展 変化と不変	78	5,555	71
企画展計		397	59,102	149
2012年4月1日～7月1日	常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨーク時代の作風の変遷	92	9,934	108
2012年7月15日～9月23日	常設展 猪熊弦一郎展 カンヴァスに飛ぶ	71	16,830	237
2012年10月7日～2013年1月6日	常設展 猪熊弦一郎展 人を描く	85	12,034	142
2013年1月13日～3月31日	常設展 猪熊弦一郎展 絵と生きる－画業70年の軌跡	78	5,785	74
常設展計		326	44,583	137
	計		103,685	

教育普及事業

	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数(人)	平均(人)
ワークショップ	22	41	4,322	105
学校団体での来館	178		5,734	
鑑賞教育について考える会	9	9	39	4
教員向け研修会	4	4	19	5
博物館実習	1	6	6	
職場体験	1	3	1	
ミモカキッズパスポート			1,188	
イベント	10	38	13,893	366
美術図書室		328	2,713	8
展覧会関連プログラム	62	62	2,062	33
計	287	491	29,977	

※展覧会関連プログラムには、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる

2013年度（平成25年度）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数(人)	平均(人)
2013年4月1日～4月4日	猪熊弦一郎展 変化と不変	4	357	89
2013年4月13日～6月23日	猪熊弦一郎展 壁画の仕事	72	8,513	118
2013年4月13日～6月30日	MIMOCA'S EYE vol.3 フランシス・アップリチャード展 ポテトポエム	79	9,006	114
2013年7月13日～11月4日	大竹伸朗展 ニューニュー	115	24,757	215
2013年11月16日～2014年2月16日	猪熊弦一郎展 新しい美—抽象の探求	86	10,937	127
2013年11月16日～2014年2月16日	猪熊弦一郎展 丸亀とともに —香川県立丸亀高等学校所蔵作品を中心に	86	10,937	127
2014年3月1日～3月31日	あそびのつくりかた	31	5,861	189
企画展計		473	70,368	149
2013年4月1日～4月4日	常設展 猪熊弦一郎展 絵と生きる—画業70年の軌跡	4	370	93
2013年4月13日～6月30日	常設展 猪熊弦一郎展 東京から巴里へ	79	9,558	121
2013年7月13日～11月4日	常設展 猪熊弦一郎展 創意工夫の手あと	115	25,814	224
2013年11月16日～2014年2月16日	常設展 猪熊弦一郎展 うつくしい からだ	86	11,179	130
2014年3月1日～3月31日	常設展 猪熊弦一郎展 整然たる都市—にぎやかな自然	31	6,186	200
常設展計		315	53,107	169
	計		123,475	

教育普及事業

	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数(人)	平均(人)
ワークショップ	22	39	4,733	121
学校団体での来館	243		7,648	
鑑賞教育について考える会	9	9	42	5
教員向け研修会	4	13	44	3
博物館実習	1	6	5	
職場体験	3	6	8	
ミモカキッズパスポート			1,891	
イベント	12	24	9,789	408
美術図書室		315	4,402	14
展覧会関連プログラム	88	232	6,729	29
計	382	644	35,291	

※展覧会関連プログラムには、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる

2014年度（平成26年度）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数(人)	平均(%)
2014年4月1日～6月1日	あそびのつくりかた	62	11,983	193
2014年6月14日～9月23日	拡張するファッション	102	13,662	134
2014年10月4日～2015年1月18日	猪熊弦一郎展 形がいっぱい	100	9,364	94
2015年2月1日～3月31日	鈴木理策写真展 意識の流れ	59	4,423	75
特別展計		323	39,432	122
2014年4月1日～6月1日	常設展 猪熊弦一郎展 整然たる都市-にぎやかな自然	62	12,839	207
2014年6月14日～9月23日	常設展 猪熊弦一郎展 のびのびと描く	102	15,025	147
2014年10月4日～2015年1月25日	常設展 猪熊弦一郎展 純粋な芸術を求めて	107	10,050	94
2015年2月1日～3月31日	常設展 猪熊弦一郎展 未知へ向かう喜び	59	5,482	93
常設展計		330	43,396	132
計			82,828	

教育普及事業

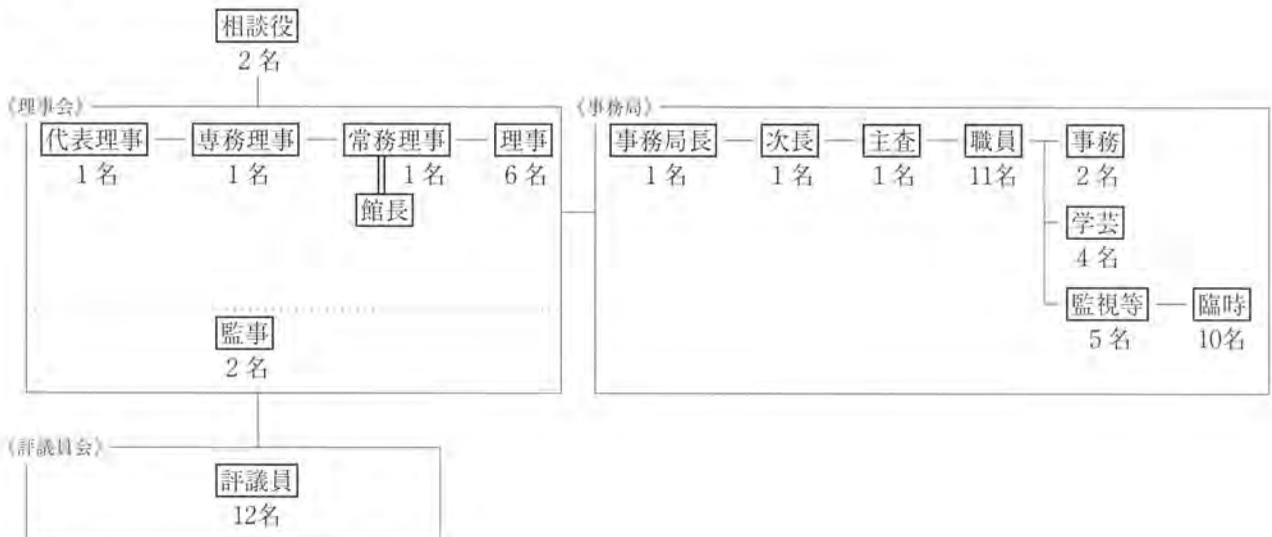
	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数(人)	平均(%)
ワークショップ	20	43	5,958	139
学校団体での来館	195		5,550	
鑑賞教育について考える会	11	11	43	4
教員向け研修会	4	12	9	1
博物館実習	1	6	3	
職場体験	6	13	16	
ミモカキッズパスポート			3,450	
イベント	14	27	8,617	319
美術図書室		330	2,371	7
展覧会関連プログラム	56	56	1,369	24
計	307	498	27,836	

※展覧会関連プログラムには、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる

VII

組織図

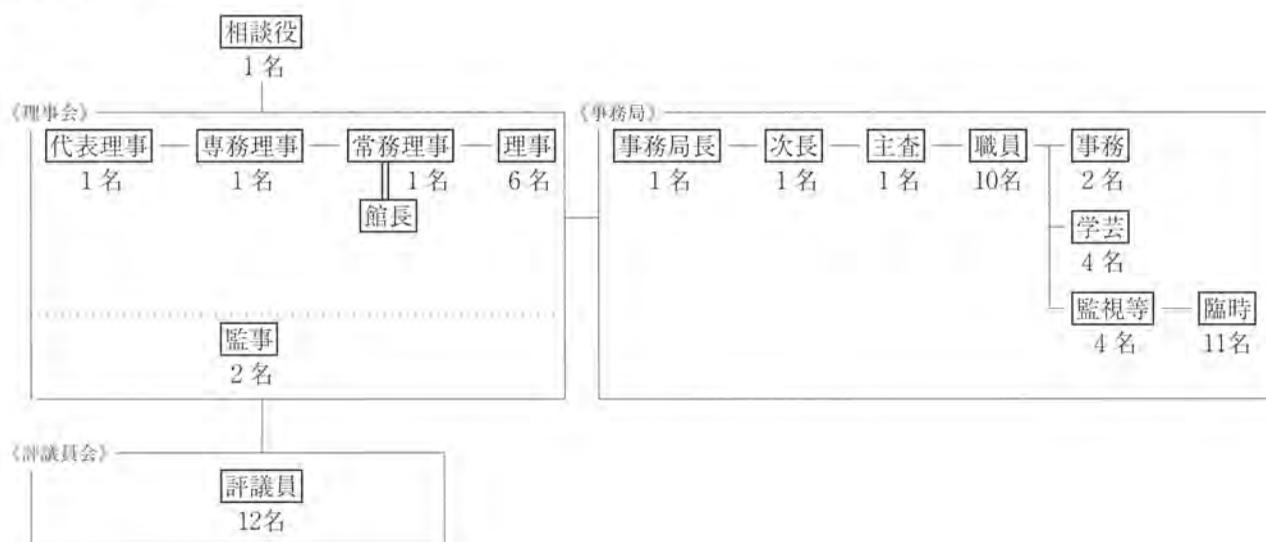
2011年度（平成23年度）



- | | | | | |
|------|-------|----------------|-------|------------|
| 相談役 | 高階 秀爾 | 学識経験者 | 荒井 茂雄 | 新制作協会会員 |
| 代表理事 | 赤澤 淳 | 学識経験者 | | |
| 専務理事 | 山田 哲也 | 九亀市産業文化課部長 | | |
| 常務理事 | 真鍋 順徳 | 学識経験者（館長兼事務局長） | | |
| 理事 | 小橋 章子 | 九亀市文化協会役員 | 山地 洋子 | 学識経験者 |
| | 島川 修治 | 九亀商工会議所役員 | 日野 明世 | 学識経験者 |
| | 小佐古公士 | 学識経験者 | 漆原 武彦 | 学識経験者 |
| 監事 | 後藤 修 | 学識経験者 | 前田 博司 | 学識経験者 |
| 評議員 | 香川 宏 | 学識経験者 | 川松美智子 | 学識経験者 |
| | 佐藤知恵子 | 九亀市婦人団体連絡協議会会長 | 山崎 洋子 | 学識経験者 |
| | 羽場 一喜 | 学識経験者 | 杉本 展子 | 学識経験者 |
| | 長尾 彩子 | 学識経験者 | 亀井 敬子 | 学識経験者 |
| | 池田 清史 | 学識経験者 | 塩田 等 | 学識経験者 |
| | 杉尾 英美 | 九亀TMO推進協議会 | 高橋 俊郎 | 九亀市文化観光課課長 |

[2012年3月31日現在]

2012年度（平成24年度）

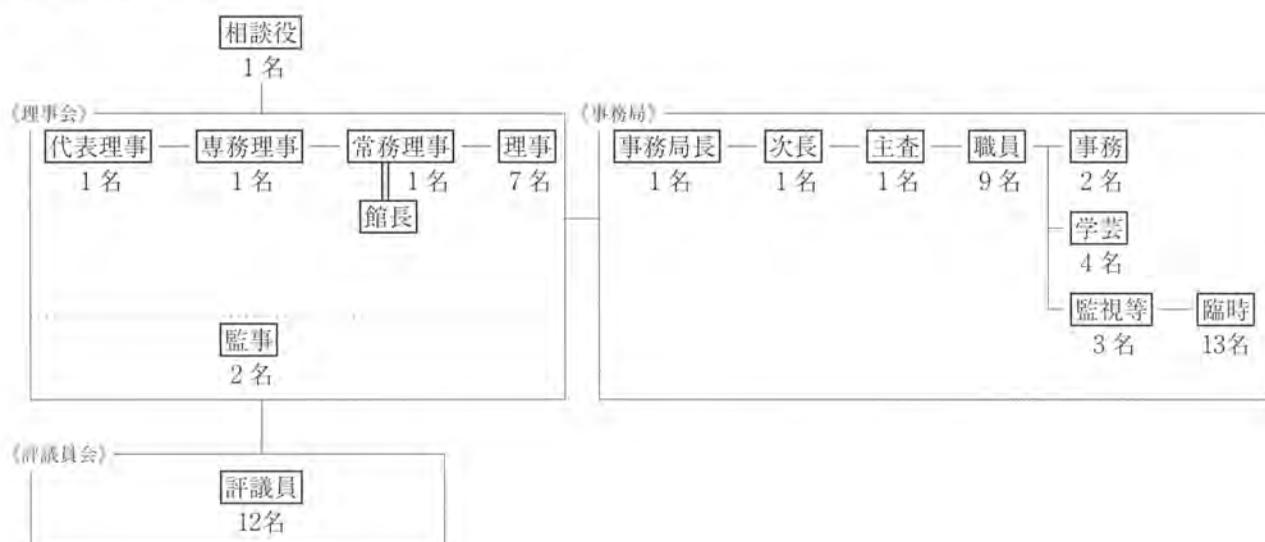


- 相 談 役 荒井 茂雄 新制作協会会員
- 代表理事 赤澤 淳 学識経験者
- 専務理事 山田 哲也 九亀市産業文化部部长
- 常務理事 漆原 武彦 学識経験者（館長 兼 事務局長）
- 理 事 小橋 章子 九亀市文化協会役員
 島川 修治 九亀商工会議所役員
 小佐古公士 学識経験者
- 監 事 後藤 修 学識経験者
- 評 議 員 香川 宏 学識経験者
 佐藤知恵子 九亀市婦人団体連絡協議会会長
 羽場 一喜 学識経験者
 長尾 彩子 学識経験者
 池田 清史 学識経験者
 杉尾 英美 九亀TMO推進協議会

- 山地 洋子 学識経験者
- 日野 明世 学識経験者
- 真鍋 順穂 学識経験者
- 前田 博司 学識経験者
- 川松美智子 学識経験者
- 山崎 洋子 学識経験者
- 杉本 展子 学識経験者
- 亀井 敬子 学識経験者
- 塩田 等 学識経験者
- 高橋 俊郎 九亀市文化観光課課長

[2013年3月31日現在]

2013年度（平成25年度）



相 談 役 荒井 茂雄 新制作協会会員

代表理事 島川 修治 丸亀商工会議所役員

専務理事 矢野 浩三 丸亀市産業文化部長

常務理事 山口 孝裕 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（館長）

理 事 宮川 明広 学識経験者（事務局長）

小橋 章子 丸亀市文化協会役員

日野 明世 学識経験者

漆原 武彦 学識経験者

監 事 後藤 修 学識経験者

評 議 員 香川 宏 学識経験者

佐藤知恵子 丸亀市婦人団体連絡協議会

羽場 一喜 学識経験者

長尾 彩子 学識経験者

池田 清史 学識経験者

杉尾 英美 丸亀TMO推進協議会

横田 淳一 学識経験者

中野百合子 学識経験者

塩田 等 学識経験者

前田 博司 学識経験者

川松美智子 学識経験者

山崎 洋子 学識経験者

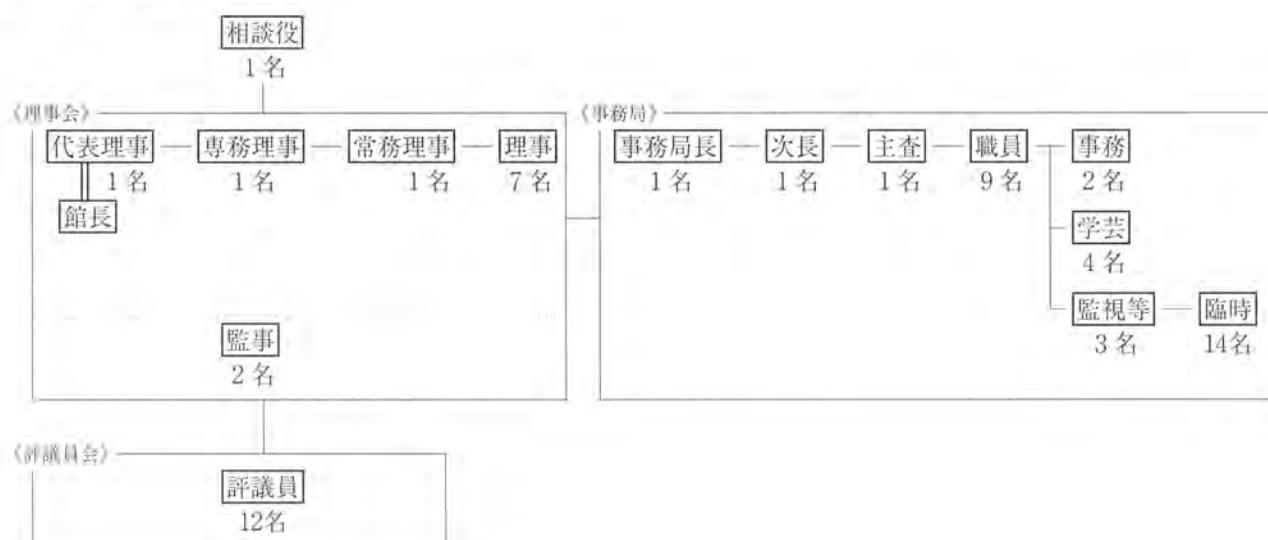
杉本 展子 学識経験者

亀井 敬子 学識経験者

高橋 俊郎 丸亀市文化観光課課長

[2014年3月31日現在]

2014年度（平成26年度）



相 談 役 荒井 茂雄 新制作協会会員

代表理事 宮川 明広 学識経験者（館長）

専務理事 矢野 浩三 丸亀市産業文化部部长

常務理事 宮武 正治 学識経験者（事務局長）

理 事 島川 修治 丸亀商工会議所役員

小橋 章子 丸亀市文化協会役員

日野 明世 学識経験者

漆原 武彦 学識経験者

監 事 後藤 修 学識経験者

評 議 員 香川 宏 学識経験者 評議員会会長

羽場 一喜 学識経験者

長尾 彩子 学識経験者

池田 清史 学識経験者

杉尾 英美 学識経験者

川松美智子 学識経験者

横田 淳一 学識経験者

中野百合子 学識経験者

塩田 等 学識経験者

前田 博司 学識経験者

山崎 洋子 学識経験者

杉本 展子 学識経験者

亀井 敬子 学識経験者

妻鳥 健 学識経験者

山田 明子 学識経験者

谷湖 寿人 丸亀市文化観光課課長

[2015年3月31日現在]

VIII

施設概要

所在地 丸亀市浜町80番地1
 敷地面積 5,974.53㎡
 規模構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造

地下1階、地上3階

最高高さ 20m

建築面積 3,564.80㎡

延床面積 11,948.14㎡

仕上外壁 アルミ押出型材-Y(スパンドレル)
 石(パーリントンスレート)
 コンクリート打放し

仕上内装 床：大理石、花崗岩、フローリングタイ
 ル、ライムストーン、カーペットタイ
 ル、ゴム
 タイル、塩ビシート

壁：クロスステックス(展示室)ナブコホ
 ワイト、ビニールクロス、布クロス

天井：岩綿吸音ボード AEP、ボード塗
 装、アルミパネル

設計 谷口建築設計研究所

監理 丸亀市建築課

施工 谷口建築設計研究所

建築工事 ㈱鹿島建設

電気設備工事 ㈱栗原工業

機械設備工事 ㈱川崎設備工業

工期 平成元年11月21日着工

平成3年6月20日竣工

3階 ● 展示室 C 642.74㎡

Gallery C

カスケードプラザ

Cascade Plaza

カフェレスト MIMOCA

Café MIMOCA

会議室

Conference Room

2階 ● 展示室 A 285.66㎡

Gallery A

展示室 B

Gallery B

ミュージアムホール

Museum Hall
 170席(舞台照明・音響・映像設備完備)

造形スタジオ

Creative Studio

ワークショップ

Room for Workshop

美術図書室

Art Library

ロッカー室

Locker Room

1階 ● 案内所 195.20㎡

Information

ミュージアムショップ

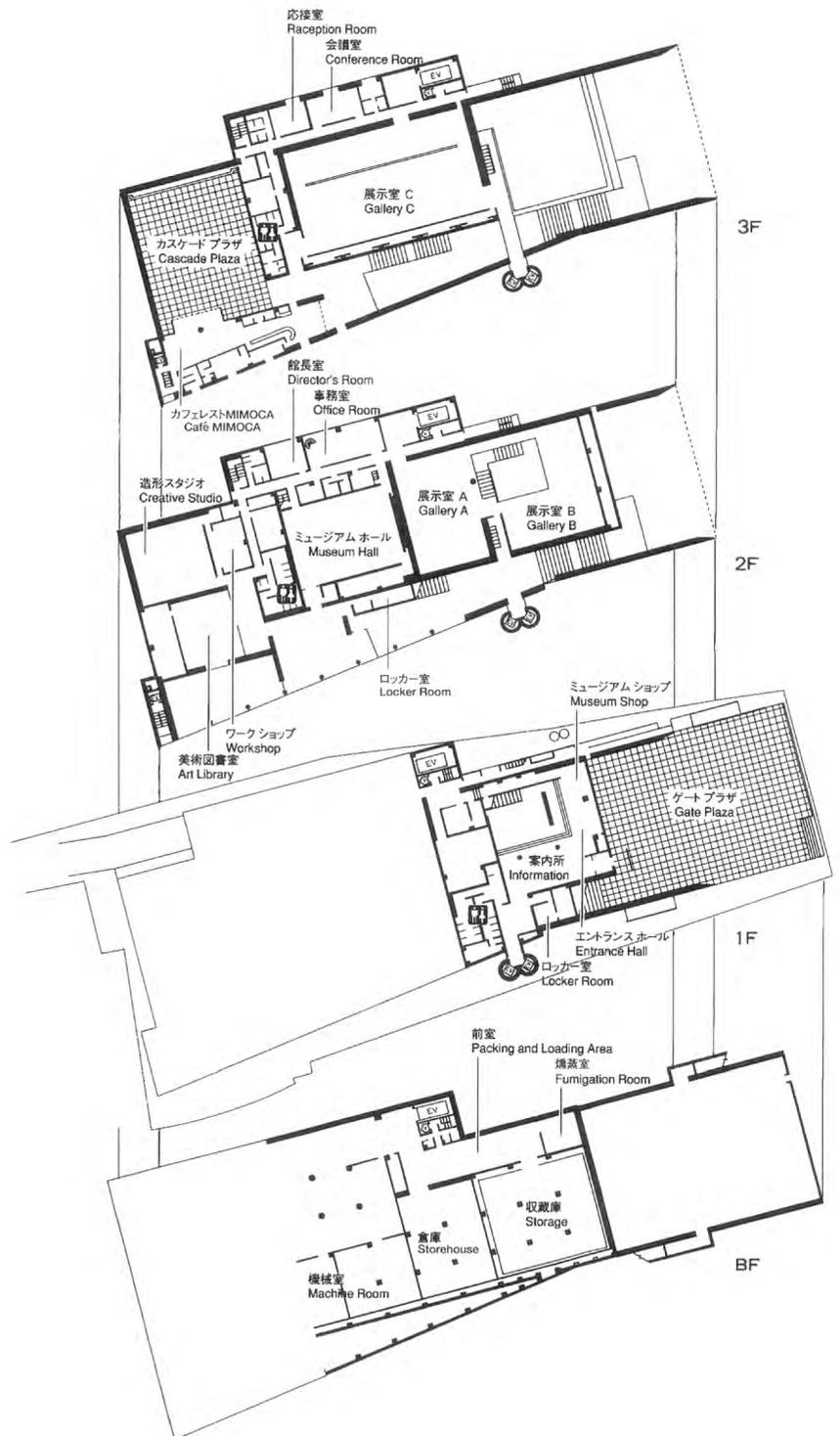
Museum Shop

ロッカー室

Locker Room

BF ● 収蔵庫 373.64㎡

Storage



IX

利用案内

開館時間 休館日 観覧料

10時～18時（入館は17時30分まで）

年末12月25日～31日、および展示替え等による臨時休館日（会期中無休）

特別展：その都度料金設定

常設展：一般 300円（団体240円）

大学生 200円（団体160円）

無料 高校生以下または18歳未満、丸亀市内に在住の65歳以上、各種障害者手帳をお持ちの方

割引 20名以上の団体 2割引

交通案内

□鉄道（JR）

JR丸亀駅より徒歩1分

東京駅－（新幹線で約3時間20分）－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

博多駅－（新幹線で約1時間40分）－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

高松駅－（予讃線快速で約30分）－丸亀駅

□飛行機

高松空港より、タクシー約40分／乗合タクシー約50分／リムジンバス約75分

岡山空港より、リムジンバス約30分－岡山駅－（松山または高知方面行特急で約40分）－丸亀駅

□高速バス

東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡より丸亀駅まで直通運行

□車

本州方面から

（瀬戸大橋経由）瀬戸中央自動車道 坂出北ICより約15分

（神戸淡路鳴門自動車道経由）高松自動車道 坂出ICより約15分

四国内の高速道路から

高松自動車道 坂出IC・善通寺ICより約15分

駐車場◆JR丸亀駅前地下駐車場（2時間無料）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館年報 2011-2014

平成30年3月 印刷

平成30年3月 発行

編集・発行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
香川県丸亀市浜町80-1 TEL(0877)24-7755

印刷 平和写真印刷株式会社
香川県丸亀市土器町北1-18 TEL(0877)23-1300

